

茅ヶ崎みんなの食と元気と歯っぴい計画

資料1

(第3次茅ヶ崎市食育推進計画、第2次茅ヶ崎市健康増進計画、第2次茅ヶ崎市歯及び口腔の健康づくり推進計画)

進捗管理表(令和5年度～令和7年度)

目次

進捗管理表の見方

評価基準一覧

評価結果一覧

第3次茅ヶ崎市食育推進計画(施策1、施策2、施策3)

	通し番号
施策1 ■ 食の生産、流通、安全への理解	… 1～14
施策2 ■ 食文化の体験と継承、共食の推進	… 15～追加4
施策3 ■ 生きる力としての食生活の基礎づくり	… 34～追加1

第2次茅ヶ崎市健康増進計画(施策1、施策2)

	通し番号
施策1 ■ 【一次予防】生活習慣の改善、心身機の維持・向上	… 1～追加7
施策2 ■ 【二次予防】生活習慣病の早期発見・早期治療と重症化予防の推進	… 60～追加3

第2次茅ヶ崎市歯及び口腔の健康づくり推進計画(施策1、施策2)

	通し番号
施策1 ■ 【一次予防】生涯を通じた歯と口の健康づくりの推進	… 1～追加3
施策2 ■ 【二次予防】歯科口腔保健対策の推進	… 14～21

【施策1】食の生産、流通、安全への理解

【行政の主な取組】

- ・食の生産、流通、安全への理解に関するイベントや教室、体験を通じた普及啓発
- ・学校・保育所での食の生産、流通、安全への理解に関する取組

各計画の施策ごとに
同じ表を作成します。

進捗管理表の見方

事業を計画していたが天候やその他の事態により中止した場合の理由、実施内容に記載しきれないデータ参照元等は、「備考」欄に記載いただきます。今後の対応・対策等があれば「課題及び翌年度へ向けた改善点」欄に記載いただきます。

指標の達成状況に対する評価 /4 取組内容に対する評価 /4 取組評価点

通し 番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合は はその他)	取組の分類 ※リストから選択 (該当ない場合は はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考	
						指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意見 を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実施 者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果が あったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				取組 評価点 ①+②
1	食品ロス	普及啓発	健康増進課	事業名:食品ロス削減の啓 発 内容:広報紙やサイネージ、 Twitterなどを活用し、普及啓 発を実施する。	R5	実施回数	1	1	100	4	無	実施内容:広報紙とサイネージ(ロビー、エレベータ)を活用し、普及啓発を実施した。 評価:食品ロス削減のために家庭でできることについて、周知することができ、啓発につながった。	4	8	普及啓発の手段について検討が必要である。若い世代にも関心を持ってもらえるよう、SNSを活用した普及啓発に力を入れていく。		
					R6							実施内容: 評価:					

目標値に対する「実績値」を記載します。
評価点①は、指標の達成状況(%)を評価基準一覧により出した点数です。実績値を入力すると、指標の達成状況(%)と評価点①(1~4)が自動で入力されます。

目標値に対する実績を記載しています。
評価点①は、指標の達成状況(%)を評価基準一覧により出した点数です。実績値を入力すると、指標の達成状況(%)と評価点①(1~4)が自動で入力されます。
※事業内容等を実施前に変更した場合は、実施予定だった事業の評価は全て「-」表記とします。変更後の事業について評価点を入力してください。
※目標値設定後に事業を中止した場合は、評価点を入力してください。

参加者意見は、アンケート結果や参加者の声を指します。
評価点②は、令和7年度の取り組み内容について、参加者の意見や実施者の評価を踏まえ、各計画の施策を進める取組として成果があったか評価基準一覧の1~4の点数をプルダウンから選択します。
※事業内容等を実施前に変更した場合は、実施予定だった事業の評価は全て「-」表記とします。変更後の事業について評価点を入力してください。
※目標値設定後に事業を中止した場合は、評価点を入力してください。

令和7年度の指標の達成状況に対する評価点①(実績に対する評価)と、取組内容に対する評価点②(内容・成果に対する評価)の合計が自動で計算されます。
※事業内容等を実施前に変更した場合は、実施予定だった事業の評価は全て「-」表記とします。変更後の事業について評価点を入力してください。
※目標値設定後に事業を中止した場合は、評価点を入力してください。

茅ヶ崎みんなの食と元気と歯っぴい計画

(第3次茅ヶ崎市食育推進計画、第2次茅ヶ崎市健康増進計画、第2次茅ヶ崎市歯及び口腔の健康づくり推進計画)

進捗管理表の評価基準一覧

指標の達成状況に対する評価

指標の達成状況	評価点
各事業の目標値に対し90%以上の達成	4
各事業の目標値に対し70%以上90%未満の達成	3
各事業の目標値に対し50%以上70%未満の達成	2
各事業の目標値に対し50%未満の達成	1

実施内容に対する評価

達成度	評価点
各計画の施策を進める取組として約90%以上の成果があった	4
各計画の施策を進める取組としておおむね(約70%以上90%未満の)成果があった	3
各計画の施策を進める取組としての成果があがらなかったが、今後調整することで成果が見込める	2
各計画の施策を進める取組としての成果があがらなかったため、今後取組の見直し・大幅改変が必要である	1

茅ヶ崎みんなの食と元気と歯っぴい計画

(第3次茅ヶ崎市食育推進計画、第2次茅ヶ崎市健康増進計画、 第2次茅ヶ崎市歯及び口腔の健康づくり推進計画)

令和7年度事業 評価結果一覧

評価点①は、指標の達成状況に対する評価(施策ごとの評価点総数を事業数で割った平均値)

評価点②は、実施内容に対する評価(施策ごとの評価点総数を事業数で割った平均値)

取組評価点は、施策ごとの取組評価点の総数を事業数で割った平均値

計画名	施策 ()内は、事業の通し番号	評価点① (4点満点)	評価点② (4点満点)	取組評価点 (8点満点)	まとめ	評価 (計画の指標及び目標に対する評価)
第3次茅ヶ崎市食育推進計画	【施策1】 食の生産、流通、安全への理解 事業数:14※ (No. 1~14)	3.8 <small>R5 3.7 R6 3.6 評価点計 /事業数 50/13</small>	3.7 <small>R5 3.7 R6 3.7 評価点計 /事業数 48/13</small>	7.5 <small>R5 7.4 R6 7.3 評価点計 /事業数 98/13</small>	<p>食の生産について4件、食の流通について3件、食の安全について4件、食品ロスについて2件の取組が実施されました。</p> <p>食の安全については、食中毒の講習会の実施やちらし配布、相談対応等により普及啓発が行われています。</p> <p>SNSやデジタルサイネージなどを活用した啓発も行われ、教室などに参加できない層に対しての情報発信も実施されています。</p> <p>農業・漁業に関連した取組については、天候の影響により実施内容が変動する特性がある中で、SNSを活用した適時適切な情報発信を行いながら実施されました。あわせて、保育園、小学校においては、地場産物を活用した献立の提供回数が増加しています。</p>	<p>食の生産、流通、安全の各分野において取組が実施されており、普及啓発は着実に進んでいると考えられます。</p> <p>地場産物の活用や体験型の取組の実施により食の生産に対する理解を深める機会が提供されています。</p> <p>また、ちらし配布やインターネットを活用した周知など、教室やイベントに限らない普及啓発も行われており、今後も興味関心を高めるためにも取組の強化・継続が重要と考えます。</p>
	【施策2】 食文化の体験と継承、共食の推進 事業数:24※ (No. 15~追加4)	4.0 <small>R5 3.9 R6 3.7 評価点計 /事業数 60/15</small>	3.9 <small>R5 3.7 R6 3.6 評価点計 /事業数 59/15</small>	7.9 <small>R5 7.6 R6 7.3 評価点計 /事業数 119/15</small>	<p>食文化の体験と継承では、公民館においてみそ作りやおせち作りなど、日本の伝統的な食文化を体験する講座や、異国料理の調理実習などが実施されました。また、市内小学校ではそらまめのさやむきや米作り体験など、食に関する体験活動が行われました。</p> <p>共食の推進では、子ども食堂への支援や父子を対象とした料理教室の実施、保育園での給食試食会の実施により、食を通じた交流や情報交換の機会が設けられました。情報発信の手段としてSNS等の活用も行われています。</p> <p>今後も幅広い層に対しての知識の発信及び、実際の体験や食事を共にできる機会の充実を図っていきます。</p>	<p>食文化の体験については、各公民館や青少年会館に加え、小学校においても体験活動が実施されており、調理や行事食、異国料理に関わる体験を通じて理解を深める機会が提供されています。</p> <p>共食の推進については、保育園や子ども食堂、父子料理教室等を通じ、地域や家庭において食事を共にする機会の提供につながる取組が実施されています。</p> <p>今後も、こうした実践的な取組を通じて、食文化の継承と共食の推進を図っていきます。</p>
	【施策3】 生きる力としての食生活の基礎づくり 事業数:19※ (No. 34~追加1)	3.9 <small>R5 3.9 R6 3.8 評価点計 /事業数 66/17</small>	3.9 <small>R5 3.9 R6 3.7 評価点計 /事業数 66/17</small>	7.8 <small>R5 7.8 R6 7.5 評価点計 /事業数 132/17</small>	<p>相談事業や講座、料理教室など、子どもから高齢者まで対象者に応じた食育の取組を実施しました。子育て世代に対しては、離乳食教室を実施するとともに、教室後に個別相談の機会を設け、離乳食や偏食、食物アレルギー等に関する保護者への情報提供を行いました。成人期・高齢期に対しては、講演会や料理講座において生活習慣病予防やフレイル予防をテーマとした内容を実施し、日常生活での食事の工夫や栄養に関する知識の普及を図りました。</p> <p>また、子どもを対象とした事業では、収穫体験や調理体験、買い物や献立作成を取り入れた体験型の食育を実施しました。</p> <p>さらに、学校や保育所では給食日よりや掲示物等を通じた食育活動が行われるとともに、市内中学校ではデリバリー方式による給食が全校で開始され、給食を活用した食育の取組が進められました。加えて、パネル展示やサイネージ、広報紙等の各種媒体を活用し、食生活改善に関する普及啓発を行いました。</p>	<p>講座や料理教室、講演会、相談事業などを通じて食生活に関する知識の普及啓発を行うとともに、学校・保育所での食育活動や体験型の取組を実施しました。中学校では全校で給食提供が開始され、給食を生きた教材とした食育を推進する環境が整いました。</p> <p>これらの取組により、市民が食と健康の関係について理解を深め、食生活の大切さを学ぶ機会の提供につながりました。今後も、各世代に応じた食育の取組を推進し、健康づくりにつながる食生活の実践を支援していきます。</p>

計画名	施策 ()内は、事業の通し番号	評価点① (4点満点)	評価点② (4点満点)	取組評価点 (8点満点)	まとめ	評価 (計画の指標及び目標に対する評価)
第2次茅ヶ崎市健康増進計画	<p>【施策1】 【一次予防】生活習慣の改善、心身機能の維持向上</p> <p>事業数:67 ※ (No. 1~追加7)</p>	<p>3.8</p> <p>R5 3.7 R6 3.6 評価点計 /事業数 173/45</p>	<p>3.9</p> <p>R5 3.7 R6 3.7 評価点計 /事業数 175/45</p>	<p>7.7</p> <p>R5 7.3 R6 7.3 評価点計 /事業数 348/45</p>	<p>健康に関する講演会や体を動かす教室などのイベントを市内各所で開催するとともに、各種健康月間や週間に合わせてホームページやSNS等による情報発信を行い、ライフステージに応じた健康づくりの推進に取り組みました。</p> <p>また、健康に関する多様な相談に対応できる体制の充実を図り、生活習慣病予防やこころの健康、栄養、禁煙などの分野において相談対応を行い、必要な支援につなげることで市民の不安や課題の軽減に努めました。</p> <p>さらに、健康上の懸念がある方への個別アプローチを行うなど、対象者一人ひとりに働きかけながら健康づくりの支援を実施しました。</p> <p>概ねどの事業も計画に基づき実施することができ、参加者からも一定の評価を得ました。</p> <p>引き続き健康づくりに関する事業を継続するとともに、市民ニーズに応じた取組を進めていきます。</p> <p>参加者の固定化や新規参加者の確保に対応するため、講演会などのテーマに新規性を持たせるとともに、定員管理、周知方法の見直しを図り、より多くの市民が参加しやすい運営に努めます。</p>	<p>令和7年度においては、健康に関する普及啓発に力を入れ、市民に対して健康づくりに関する情報を広く発信することができました。</p> <p>健康に関するイベントの評価は概ね高くなっています。</p> <p>一方で、事業内容の見直しや変更に伴い、イベント等の開催回数や機会が減少している状況も見られます。</p> <p>今後は、地域で抱える健康課題や市民ニーズを踏まえた事業内容の検討を行うとともに、健康づくりへの関心が低い層も含め、市民の健康に対する関心や意識を高める取組を進めていきます。</p>
	<p>【施策2】 【二次予防】生活習慣病の早期発見・早期治療と重症化予防対策の推進</p> <p>事業数:12 (No. 60~追加3)</p>	<p>3.7</p> <p>R5 3.6 R6 3.5 評価点計 /事業数 41/11</p>	<p>3.8</p> <p>R5 3.8 R6 3.7 評価点計 /事業数 42/11</p>	<p>7.5</p> <p>R5 7.4 R6 7.2 評価点計 /事業数 83/11</p>	<p>乳幼児健康診査、妊産婦健康診査、児童健康診断、がん検診、特定健康診査、健康診査等を実施し、対象者に応じた受診勧奨を行い、疾病の早期発見・早期治療および重症化予防に取り組みました。また、案内文の記載方法の工夫、SNSやポスター等の多様な媒体を活用し、健診の重要性や実施期間について普及啓発を行い、計画的な受診の促進に努めました。</p> <p>健診等の受診率について、一部で成果目標をやや下回る結果となったものの、評価点は向上しており、取り組みに対して一定の成果が見られました。</p>	<p>成果目標である健診受診率はそれぞれ1歳6か月児健康診査98.6%(目標96%以上)、3歳6か月児健康診査:93.2%(目標96%以上)、特定健康診査:32.0%(目標39%)、健康診査:39.8%(目標41%)、乳がん:7.9%(目標9.7%)</p> <p>令和7年度、受診率向上に向けた周知・勧奨を行いました。目標達成出来たのは1歳6か月健康診査のみです。</p> <p>このため、受診勧奨通知の内容の見直しや受診の必要性を伝えるメッセージを入れる等を検討し、受診率向上に向けた取組の強化が必要です。</p>

計画名	施策 ()内は、事業の通し番号	評価点① (4点満点)	評価点② (4点満点)	取組評価点 (8点満点)	まとめ	評価 (計画の指標及び目標に対する評価)
第2次茅ヶ崎市歯及び口腔の健康づくり推進計画	【施策1】 【一次予防】生涯を通じた歯と口の健康づくりの推進 事業数:16※ (No. 1～追加3)	3.9 R5 3.9 R6 3.6 評価点計 /事業数 47/12	3.8 R5 3.7 R6 3.7 評価点計 /事業数 46/12	7.8 R5 7.6 R6 7.4 評価点計 /事業数 93/12	歯と口の健康づくりの普及啓発を目的として、講座・イベントの開催、保育施設等での口腔衛生活動、フレイル予防事業等を実施しました。健康づくりスタート講座や歯科イベントでは、歯科医師や歯科衛生士による講話や口腔機能測定、歯科相談等を行い、歯周病と生活習慣病の関連やオーラルフレイル予防に関する理解促進を図りました。また、フレイルチェック事業では参加者が増加し、新規参加者も多く、広く市民への普及啓発につながりました。 一方で、一部事業は未選定等により実施に至らなかったものの、実施した事業では概ね目標を達成し、市民が口腔の健康について考える機会の提供や、健康づくり意識の向上に寄与しました。	多くの事業で実施回数や参加状況が概ね目標どおりとなり、平均評価点も計画どおり進んでいる水準となりました。講座やイベントでは体験型の取組により歯科保健に関する理解の向上が見られ、フレイルチェック事業では参加者増加など普及啓発の効果が確認されました。 以上より、施策は概ね計画どおり推進されていると評価します。
	【施策2】 【二次予防】歯科口腔保健対策の推進 事業数:8 (No. 14～21)	3.9 R5 3.5 R6 3.8 評価点計 /事業数 31/8	3.9 R5 3.8 R6 3.9 評価点計 /事業数 31/8	7.8 R5 7.3 R6 7.8 評価点計 /事業数 62/8	乳幼児健診や妊婦歯科健康診査、保育施設での歯科健診等の実施により、歯科疾患の早期発見・早期対応に取り組みました。乳幼児健診では高い受診率を維持し、養育者への歯科保健指導を通じて継続的な口腔健康管理を支援しました。また、重度う蝕リスクのある児や支援が必要な家庭に対しては、保健師等と連携した育児支援を行いました。 さらに、口腔がん検診や歯科健康診査の実施、関係団体との情報共有等により、地域における歯科保健体制の強化を図りました。一部事業では受診率が目標値に達していないものもありますが、広報や受診勧奨の取組を継続しながら、歯科保健対策の推進に取り組みました。	乳幼児健診や施設健診など多くの事業で実施体制を維持し、各指標の目標値に対して、着実に推移しています。また、歯科疾患の早期発見や保護者への指導の機会は確保されていることから、歯科保健の取組は充実しています。 一方で、成人歯科健診では受診率が目標に達していないため、周知方法の工夫など受診促進の取組が今後の課題として挙げられます。

【※】

<評価点①><評価点②>及び<取組評価>

- ・食育推進計画(施策1):No.1の事業は令和7年度に関しては実施予定がなく指標設定がないため、評価点の平均値を算出する際には含みません。
- ・食育推進計画(施策2):No.15.16.21.22.23.24.27.28の事業は令和7年度に関しては実施予定がなく指標設定がないため、評価点の平均値を算出する際には含みません。
- ・食育推進計画(施策3):No.34.44の事業は令和7年度に関しては実施予定がなく指標設定がないため、評価点の平均値を算出する際には含みません。
- ・健康増進計画(施策1):No.10.12.14.15.20.21.22.23.25.28.29.30.31.45.49.50.51.52.追加4の事業は令和7年度に関しては実施予定がなく指標設定がないもの、No.47.48の事業は【健増】施策2通し番号追加2.追加3の健康診断等の実施の取組として変更するものは、評価点の平均値を算出する際には含みません。
- ・健康増進計画(施策2):No.68は実施予定がなく指標設定がないため、評価点の平均値を算出する際には含みません。
- ・歯及び口腔の健康づくり推進計画(施策1):No.4.5.6.9の事業は令和7年度に関しては実施予定がなく指標設定がないため、評価点の平均値を算出する際には含みません。

【施策1】食の生産、流通、安全への理解

【行政の主な取組】

- ・食の生産、流通、安全への理解に関するイベントや教室、体験を通じた普及啓発
- ・学校・保育所での食の生産、流通、安全への理解に関する取組

指標の達成状況に対する評価

3.8 / 4

取組内容に対する評価

3.7 / 4

7.5 / 8

通し番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合はその他)	取組の分類 ※リストから選択 (該当ない場合はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			課題及び翌年度へ向けた改善点	実施場所	備考	
						指標	目標値	実績値	指標の達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有無 ※「有」の場合は意見を踏まえて評価を記入 ※「無」の場合は実施者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果があったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				取組評価点 ①+②
1	食の生産	イベント	体験学習センター	事業名: タケノコ掘り体験 実施内容: 雑木林でタケノコ掘り体験を行う。	R5	実施回数	1	2	100	4	有	実施内容: 親子でふれあいながら、竹林で普段できない体験を通して、五感で野外活動の楽しさを感じ自然の恵みをいただく。 評価: 参加者は夢中に掘っていたが最初はなかなかとることができずとどまっていたが、コツを掴むと親子で4本以上収穫でき、収穫の喜びを感じており成果があった。	4	8	事業計画をたて募集をして、今回は天候にも恵まれよくできたが、タケノコはほかの野菜などに比べて発育が異常に早く安定して収穫日(事業日)を読むことが難しい。	行谷の竹林	令和6年度は、指定管理者が実施主体となる。
					R6	記載なし (制度変更による)											施設の指定管理制度導入のため、記載対象外とする(事業は継続実施)
					R7	記載なし (制度変更による)											
2	食の生産	教室	南湖公民館	事業名: 子どもの広場～さつまいもを掘って焼いたものを食べよう！～ 実施内容: 公民館の畑に植えたさつまいもの収穫体験をする。収穫したさつまいもを焼き芋にして食す。	R5	実施回数	1	1	100	4	無	実施内容: 自分で掘ったさつまいもを焼き芋にして食べる。 評価: 作物の栽培や収穫する喜びを体験する。	4	8	建物内の床を汚してしまうことが多い。令和6年度は、内容を変更して焼き芋ではない事業で実施予定。	南湖公民館	
					R6	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容: 小学生を対象に、自分たちで2月にじゃがいもを南湖公民館の畑に植え付けを行い、6月に育ったじゃがいもを収穫してカレーを調理、実食。 評価: 作物の栽培や収穫を体験する喜びを体験することができた。 食に関する興味を持ち、今後自ら野菜を育てたり料理をしたいという気持ちも育むことができた。	4	8	以前は1班10人×3班=計30人定員だったものを、1班4人×3班=定員12人としたことで、調理中の怪我等子どもの様子を見ながら丁寧に実施することができたため、翌年度も同じように実施することが望ましい。	南湖公民館	事業名: 子どもの広場～じゃがいもを育ててカレーを作ろう！～に変更となりました。昨年度の反省を生かし食材と料理が変更となったものの、事業の目的や実施方法等に大きな変更はありません。
					R7	実施回数	1	1	100	4	有	内容: 公民館の敷地内にじゃがいもを植え、収穫し、カレーを作る講座。 評価: 異なる学年、地域の子ども同士が交流したこと、また栽培から調理という初めての体験ができた。	4	8	生育過程についての学びをさらに深めたい。	南湖公民館	
3	食の生産	その他	農業水産課	事業名: 援農ボランティア制度 実施内容: 高齢化や人手不足を感じている農家のため、農業に興味のあるボランティアに農作業の手伝いをしていただく制度を実施する。	R5	活動人数	32	34	100	4	無	実施内容: 高齢化や人手不足を感じている農家のため、農業に興味のあるボランティアに農作業の手伝いをしていただく制度を実施した。 評価: 農家の人手不足の解消、農業に興味を持つ市民の活動の場とすることができた。	3	7	コロナ禍以降、ボランティア希望者に対し、受け入れ希望が少ない状況となっている。登録農家へのヒアリングを行い、需要と供給を考慮しつつ事業を継続する必要がある。	市内全域	
					R6	活動人数	35	37	100	4	無	実施内容: 高齢化や人手不足を感じている農家のため、農業に興味のあるボランティアに農作業の手伝いをして頂くマッチング制度を実施した。 評価: 農家の人手不足の解消、農業に興味を持つ市民の活動の場とすることができた。	4	8	コロナ禍以降、ボランティア希望者に対し、受け入れ希望が少ない状況となっている。登録農家へのヒアリングを行い、需要と供給を考慮しつつ今後の事業の継続について検討する必要がある。	市内全域	
					R7	活動人数	35	20	57	2	無	実施内容: コロナ禍以降ボランティア希望者に対し受け入れ希望が少ない状況が続いていたが、一度ボランティアに登録すると自動的に登録が継続される状況にあったため、ボランティアの登録継続について意向調査を行った。 評価: ボランティア活動希望者の状況を把握することができた。	3	5	特になし。	市内全域	

通し番号	取組 ※リストから選択 (該当しない場合はその他)	取組の分類 ※リストから選択 (該当しない場合はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた改善点	実施場所	備考
						指標	目標値	実績値	指標の達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有無 ※「有」の場合は意見を踏まえて評価を記入 ※「無」の場合は実施者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果があったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				
4	食の生産	その他	保育課	事業名: 野菜等の栽培 実施内容: 園のプランターなどで野菜等を栽培し、収穫までを行う。	R5	実施施設数	59	68	100	4	無	実施内容: 5歳児が秋にサツマイモを栽培。収穫してスイートポテトにして食べた。 評価: 栽培から収穫までの一連の過程を知ることが出来た。自分たちで調理まで出来たことで、食を身近に感じることができ、通常より良く食べた。	4	8	・限られた敷地の中で、畑やプランターの置き場をどこにするのか。 ・気候の変化等で収穫ができない食材もあり、栽培する食材選定について工夫する。	保育所、幼稚園	
					R6	実施施設数	59	64	100	4	無	実施内容: 3歳児はナス、ピーマンを栽培しナポリタンづくりを、4歳児はじゃがいもといんげんを栽培しカレー作りを、5歳児もじゃがいもを栽培しポテトグラタンづくりをして食べた。給食の食材としてだけでなく、家庭にもおすそ分けした。 評価: 栽培から収穫までの一連の過程を知りだけでなく、どんな料理に野菜を使うかのイメージができ、保育所のみの活動だけでなく家庭への食育に一部つながった。	4	8	・年間食育計画どおり、各クラスわらわいをたてて栽培・収穫・調理をできるとよいと考える。 ・プランターなどの場所の確保、家庭へのおすそわけなどさらに拡大できるとよいと考える。	保育所、幼稚園	
					R7	実施施設数	65	60	92	4	有	園庭に畑を作り野菜の栽培、ポップコーンになるトウモロコシを栽培しイベント時に食べた。 夏野菜は暑さが過ぎでうまく生育せず、近隣の畑でお願いしているサツマイモも不良のため芋ほりが中止となった。 園庭はないが、フチトマトをプランターで育て、トマトゲチャップ作りをした。 じゃがいも掘り、さつまいも掘りを体験し、様々なクッキング保育を行った。 食への興味が湧き、友だちと会話しながら食べていた。	3	7	特になし。	保育園、幼稚園	
5	食の流通	イベント	農業水産課	事業名: 地産地消に関するイベント(果樹持ち寄り品評会、農産物直売会、フラワーマルシェ、ちがさきSeaSideマルシェ等) 実施内容: 茅産茅消に関するイベントを開催することで、茅産茅消の啓蒙を実施する。	R5	実施回数	36	29	81	3	無	実施内容: メール配信のタイミングを工夫したり、広報誌などを活用して開催周知を行った。 評価: 多くの方に茅ヶ崎産の農畜水産物に対する関心を持っていただくことができ、茅産茅消の啓蒙につながった。	3	6	農業・漁業とも天候の影響を受けやすく、特に夏場の開催については検討を要する。	市役所 イオン茅ヶ崎中央店 茅ヶ崎漁港駐車場多目的広場 藤沢市長久保公園	中止(台風、豪雨、猛暑、雪で開催が中止になった回がそれぞれあった)
					R6	実施回数	32	27	84	3	無	実施内容: ポスター、広報紙、HP、SNS、デジタルサイネージ等を活用し、広く開催周知を行った。 評価: 多くの方に茅ヶ崎産の農畜水産物に対する関心を持っていただくことができ、茅産茅消の啓蒙につながった。	3	6	イベント周知について、開催当日の天候のみでなく、継続的な気候が作物の生育に影響するため、イベント開催の日程や実施の可否が直前にならないと分からないイベントもあり、また、イベントでの取り扱い品目等について知りたいとの要望もあるが同じ理由から事前周知の対応が難しいため、紙媒体とあわせて電子媒体や庁内放送等の即時性のある広報手段を活用し、引き続き効果的な広報方法を検討してゆく。	市役所、茅ヶ崎漁港駐車場多目的広場、さがみ農業協同組合茅ヶ崎ビル、イオン茅ヶ崎中央店、藤沢市長久保公園、小学校	中止(悪天候、作物の生育不良で開催が中止になった回があった)
					R7	実施回数	30	30	100	4	無	実施内容: ポスター、広報紙、HP、SNS、デジタルサイネージ等を活用し、広く開催周知を行った。 評価: 多くの方に茅ヶ崎産農畜水産物に対する関心を持っていただくことができ、茅産茅消の啓蒙につながった。	4	8	農畜水産物に関するイベントについては開催当日の天候のみでなく継続的な気候が影響するため、イベント開催の日程や実施の可否が直前にならないと分からないイベントも多い。また、イベントでの取り扱い品目等について知りたいとの要望もあるが同じ理由から事前周知の対応が難しいため、紙媒体とあわせて電子媒体や庁内放送等の即時性のある広報手段を活用し、引き続き効果的な広報方法を検討してゆく。	市役所、茅ヶ崎漁港多目的広場、道の駅湘南ちがさき、イオン茅ヶ崎中央店、小学校、保育園	

茅ヶ崎みんなの食と元気と歯っぴい計画

【施策1】食の生産、流通、安全への理解

通し 番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合は その他)	取組の分類 ※リストから選択 (該当ない場合は その他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考
						指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意見 を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実施 者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果があったかを評 価 事業の実施過程や実施結果の評 価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				
6	食の流通	教室	青少年会館	事業名:チリメンモンスターを 探せ 実施内容:チリメンジャコに混 じる小さなエビやカニ・稚魚な ど様々なものを選択し、チリ メン図鑑パンフレットを参考 に標本を作る。	R5	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:講座で使うチリメンジャコが食べているものと 異なり、小さなエビやカニ・稚魚など様々なものが混じっ ていることを理解し、それらを選択し、チリメン図鑑パン フレットを参考に標本を作った。 評価:チリメンジャコ(しらす干し)を利用して海の生きもの の生態を学び、私たちの暮らしとのつながりを考える ことで、自然環境と食の流通の大切さを伝えられた。	4	8	選別に夢中になりやすい参加者へ、ロ にずるチリメンジャコの違いや、新鮮 な食べ物が流通により手に入りやすくな ったことなど食育につながる内容に、 興味を持ってもらえる工夫が必要と考 えている。	青少年会館	
					R6	実施回数	1	16	100	4	有	実施内容:チリメンジャコに混じった小さなエビやカニ、 稚魚などをピンセットで採り自分だけの標本づくりを実 施。さらに今回は公益財団法人かながわ海岸美化財団 協力のもと、マイクロプラスチックの展示やパネルを掲 示し、海の自然環境の大切さを学んだ。 評価:チリメンジャコを通して海の生き物の生態を学び、 私たちの暮らしとのつながりを考えることで、海の自然 環境と食の流通の大切さを学んだ。	4	8	参加者からのチリメンモンスターへの質 問に対して、講師となる会計年度任用 職員の見識を向上し、多種多様な 回答ができるようにする。	青少年会館	
					R7	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:チリメンジャコに混じった小さなエビやカニ、 稚魚などをピンセットで採り自分だけの標本づくりを実 施し、海の自然環境の大切さを学んだ。 評価:チリメンジャコを通して海の生き物の生態を学び、 私たちの暮らしとのつながりを考えることで、海の自然 環境と食の流通の大切さを学んだ。	4	8	チリメンモンスターを使い、「海の生態 系→漁業→食材→加工流通→ 食卓→選択(買い方・食べ方)」を伝え たいが、標本づくりの「探索・分類」に 集中しており、食育への橋渡しが弱い ところが課題である。 食育につながる「問い」や「振り返り」も 含めていきたい。	青少年会館	
7	食の安全	教室	健康増進課	事業名:食の安全・安心に関 するリスクコミュニケーション 事業 実施内容:神奈川県食の安 全・安心協議会と共催で食の 安全・安心をテーマとした講 座を実施する。 ※要望調査により、実施でき ない年度が生じることがある ため、その際は展示等で普 及啓発を実施する。	R5	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:8月28日食品表示セミナー「知っておきたい 食品表示のルール〜健康な食生活のために」を開催 (参加者54名)。その後「食品表示で健康づくりのリー フレットを作成し、公共施設・公立保育所保護者等に配 布した。 評価:セミナー参加者のアンケートから、各表示事項の 基準や目的等を学べたことにより、満足度が高かったこ とが伺えた。	4	8	食に関する安全・安心について継続的 に取り上げ、市民に周知していく。	保健所及びオンライン (併用)	
					R6	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:1月28日食の安全・安心基礎講座「正しく知 ろう!食品添加物〜その役割と安全性〜」を開催(参加 者45名)。講師:(一社)日本食品添加物協会。 評価:講座参加者のアンケートからは、講座前と比べ て、食品添加物の理解度がとても深まった及びある程 度深まった人が合わせて9割。 無意味に食品添加物を不安視するのではなく、基本を 学び現状を知ること、安全性を自分なりに判断するこ とが大切と思われた参加者が多かった。	4	8	食に関する安全・安心について継続的 に取り上げ、市民に周知していく。	保健所及びオンライン (併用)	
					R7	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:9月30日食の安全・安心基礎講座「身近な ところに潜む食中毒〜家庭でできるかしこい予防法」を 開催(参加者18名)。講義と手洗い実習。 講師:国立大学法人東京海洋大学 木村 凡名 教授。 評価:講座参加者のアンケートから、講座前に比べて食 の安全・安心の理解がとても深まった及びある程度深 まったが合わせて94%であった。参加者は手洗い実習 により、普段の手洗いがいかに不十分であったかを知 り、衛生管理の重要性を改めて理解した。	4	8	食に関する安全・安心についてテーマ をかえながら継続的に取り上げ、市民 に周知していく。	男女共同参画推進セン ター(いごりあ)	

通し 番号	取組 ※リストから選択 (該当しない場合 はその他)	取組の分類 ※リストから選択 (該当しない場合 はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考
						指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意見 を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実施 者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果があったかを評 価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				
8	食の安全	普及啓発	市民相談課	事業名:食の安全・安心講座 実施内容:食材の活用方法 等、食の安全・安心につい て、市民へ周知する。	R5	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:適正な食品の選択をするための大切な情報 源である食品表示の基本と併せて、遺伝子組換え食品 や機能性表示食品、添加物の表示などについて学び、 食の安全・安心への理解を深める。 評価:食品表示を理解し、商品を選択する際に表示内 容を活用出来るよう、情報提供が出来た。	3	7	引き続き、関係団体等との連携を図 り、食の安全に関する普及啓発を実施 していく。	保健所 オンライン	
					R6	実施回数・ 啓発回数	1	1	100	4	無	実施内容:適正な食品の選択をするための大切な情報 源である食品表示の基本と併せて、遺伝子組換え食品 や機能性表示食品、添加物の表示などについて学び、 食の安全・安心への理解を深める。 評価:食品表示を理解し、商品を選択する際に表示内 容を活用出来るよう、チラシ配架等による情報提供が 出来た。	3	7	実施方法をチラシ配架等の方法へ変 更し、食材の活用方法等、食の安全・ 安心について市民に周知していく。	市役所	
					R7	実施回数・ 啓発回数	1	1	100	4	無	実施内容:適正な食品の選択をするための大切な情報 源である食品表示の基本と併せて、遺伝子組換え食品 や機能性表示食品、添加物の表示などについて学び、 食の安全・安心への理解を深める。 評価:食品表示を理解し、商品を選択する際に表示内 容を活用出来るよう、チラシ配架等による情報提供が 出来た。	3	7	実施方法をチラシ配架等の方法へ変 更し、食材の活用方法等、食の安全・ 安心について市民に周知していく。	市役所	
9	食の安全	普及啓発	衛生課	事業名:食品衛生知識の普 及啓発 実施内容:食中毒の注意喚 起や予防等の食品衛生の知 識の普及啓発を実施する。	R5	実施回数	3	3	100	4	無	実施内容:民間団体等に対する食品衛生知識の普及 啓発 評価:市民のニーズに応じた資料を作成する等、工夫し て実施した。	4	8	特になし	保健所	
					R6	実施回数	3	2	67	2	無	実施内容:民間団体等に対する食品衛生知識の普及 啓発 評価:市民のニーズに応じた資料を作成する等、工夫し て実施した。	3	5	管内住民及び関係団体への周知方法 を見直した。	保健所	
					R7	実施回数	2	2	100	4	無	実施内容:民間団体等に対する食品衛生知識の普及 啓発 評価:市民のニーズに応じた資料を作成する等、工夫し て実施した。	4	8	引き続き、関係団体等との連携を図 り、食の安全に関する普及啓発を実施 していく。	保健所	
10	食の安全	その他	地域保健課	事業名:栄養表示等普及啓 発及び活用推進事業 実施内容:栄養成分表示に 係る相談及び指導、誇大表 示等の禁止に係る表示等適 正化指導を実施する。	R5	実施件数	9	9	100	4	無	実施内容:栄養成分表示に係る相談及び指導、誇大表 示等の禁止に係る表示等適正化指導を実施した。 評価:食品表示法、健康増進法に基づき、食品製造・販 売業者に対して適正な栄養成分表示を行うよう指導し、 食の安全につなげることができた。令和5年度について は、誇大表示等に係る相談はなかった。	4	8	引き続き衛生課との情報共有や随時 消費者庁への確認を行い、栄養成分 表示に係る相談及び指導、誇大表示 等の禁止に係る表示等適正化指導を 実施する。	保健所	
					R6	実施件数	10	5	50	2	無	実施内容:栄養成分表示に係る相談及び指導、誇大表 示等の禁止に係る表示等適正化指導を実施した。 評価:食品表示法、健康増進法に基づき、食品製造・販 売業者に対して適正な栄養成分表示を行うよう指導し、 食の安全につなげることができた。令和6年度について は、誇大表示等に係る相談が1件、不適正表示に係る 指導が1件あった。	4	6	引き続き衛生課との情報共有や随時 消費者庁への確認を行い、栄養成分 表示に係る相談及び指導、誇大表示 等の禁止に係る表示等適正化指導を 実施する。	保健所	
					R7	実施件数	10	46	100	4	無	実施内容:栄養成分表示に係る相談及び指導・助言、 誇大表示等の禁止に係る表示等適正化指導を実施し た。 評価:食品表示法、健康増進法に基づき、食品製造・販 売業者に対して適正な栄養成分表示を行うよう指導、助 言を行い、食の安全につなげることができた。令和7年 度については、誇大表示等の禁止に係る相談・指導は 0件、不適正表示に係る指導は4件あった。「道の駅 湘南がさき」の開設に伴い、対応件数が大きく増加し た。	4	8	引き続き衛生課との情報共有や随時 消費者庁への確認を行い、栄養成分 表示に係る相談及び指導・助言、誇大 表示の禁止に係る表示等適正化指導 を実施する。	保健所	令和8年3月31日 いっぱい対象期間となる ため、最終的な実績は 令和8年4月1日に再度 入力し、ご連絡いたしま す。

茅ヶ崎みんなの食と元気と歯っぴい計画

【施策1】食の生産、流通、安全への理解

通し 番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合は その他)	取組の分類 ※リストから選択 (該当ない場合は その他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考
						指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意見 を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実施 者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果があったかを評 価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				
11	学校・保育 所での食の 生産	その他	学務課	事業名：学校給食における地 場産物の使用促進 実施内容：地産地消の推進 と、児童が地元の農産物に ついて学ぶきっかけとするた め、学校給食の食材に地場 産物を積極的に活用する。	R5	地元農作物 を使用した 給食提供回 数	57	76	100	4	無	実施内容：市内農家の協力のもと、地元農作物(4種 類)を市立小学校19校にて提供することができた。 評価：当初目標としていた回数以上の地元農作物を提 供することが出来、児童たちにも地産地消の取組につ いて周知することができた。	4	8	異常気象が続くと、農作物の収穫量へ 直結するため、学校給食へ提供でき るよう引き続き市内農家と連携を進め たい。	市立小学校19校	
					R6	地元農作物 を使用した 給食提供回 数	57	95	100	4	無	実施内容：市内農家の協力のもと、地元農作物(5種 類)を市立小学校19校にて提供することができた。 評価：当初目標としていた回数以上の地元農作物を提 供することが出来、児童たちにも地産地消の取組につ いて周知することができた。	4	8	異常気象が続くと、農作物の収穫量へ 直結するため、学校給食へ提供でき るよう引き続き市内農家と連携を進め たい。	市立小学校19校	
					R7	地元農作物 を使用した 給食提供回 数	57	95	100	4	無	実施内容：市内農家の協力のもと、地元農作物(5種 類)を市立小学校19校にて提供することができた。 評価：当初目標としていた回数以上の地元農作物を提 供することが出来、児童たちにも地産地消の取組につ いて周知することができた。	4	8	異常気象が続くと、農作物の収穫量や 収穫時期のずれへ直結するため、学 校給食へ提供できるよう引き続き市内 農家及び学校と連携を進めたい。	市立小学校19校	
12	学校・保育 所での食の 流通	その他	保育課	事業名：地産地消の推進 実施内容：給食提供する食 材について、地場産野菜を積 極的に活用する。	R5	実施施設数	40	52	100	4	無	実施内容：生産者から野菜を直接仕入れている園や、 地産地消の食育活動として、JAや農家さんから仕入れ るなどして、茅ヶ崎市産の野菜を積極的に給食で提供 した。こうした場所とつながりが無い保育園(新しい保 育園や給食を委託している園)は実施できない園があっ た。 評価：地元野菜を使うことで子どもたちも野菜により親し みを持つことが出来た。	3	7	保育園の地域とのかかわりや、給食を 委託している保育園は細かな地域ま で把握できていない園も見られた。ま ずは、地域の把握を徹底する必要があ る。	保育所、幼稚園	
					R6	実施施設数	40	48	100	4	無	実施内容：生産者から野菜を直接仕入れている園や、 地産地消の食育活動として、JAや農家さんから仕入れ るなどして、茅ヶ崎市産・神奈川県産の 野菜を積極的に給食で提供した。給食を委託してい る園や物価高騰で例年より地場産物を発注できなかった 園、また近くの八百屋さんが閉店し 気軽に頼めなくなった等実施できない園があった。 評価：地元野菜を使うことで子どもたちも野菜により親し みをもつことができた。また農家さんとのつながりや新し いメニュー開発にもなった。	3	7	地域把握を徹底する必要がある。また 物価高騰が続き、なかなか地場産物が 購入できていないことがわかった。よ り地元農家やJAとの関わりを持つ必要 があると考える。	保育所、幼稚園	
					R7	実施施設数	50	63	100	4	有	給食の食材は近所の八百屋や農家、茅ヶ崎漁港より仕 入れをしており、地産地消と食育を掛け合わせて取り組 んでいる。子供たちで八百屋に買い物に行くこともあ る。 市栄養士作成メニューを参考にして積極的に地産地消 を意識して推進している。	3	7	今年度も物価高騰が続き、茅ヶ崎市産 のものを購入できない園、未実施の園 が多数みられる中、保育課より献立原 案を寄附している園については、参考 に実施している園もある。 引き続き、低価格で行える地産地消を 推進していく。	保育園、幼稚園	

通し 番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合 はその他)	取組の分類 ※リストから選択 (該当ない場合 はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考
						指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意見 を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実施 者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果があったかを評 価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				
13	食品ロス	普及啓発	資源循環課	事業名：食品ロス削減の啓 発 実施内容：様々な機会や媒 体を活用し、普及啓発を実施 する。	R5	啓発回数	2	2	100	4	有	実施内容：①環境フェアでの周知啓発、②駅前での周 知啓発 ・ホームページ公表[①] ・庁舎内チラシ掲示[①] ・SNS(Line、Twitter(X)、Facebook)[①] ・広報掲示板[①] ・食品ロス削減月間にあわせて周知活動(駅前でのの ぼり旗の掲出、啓発用ポケットティッシュの配布)[②] 評価：食品ロス削減のために家庭や企業でできること について、周知することができ、啓発に繋がった。	4	8	ごみの減量に寄与することとなるため 啓発対象者の拡大を検討する。 (具体的には、子ども向けの食品ロス 削減における啓発・教育や食へ残しな ど食品ロス削減に取組みむ飲食店の 登録制度の立ち上げなどを検討す る。)	市役所、オンライン	
					R6	実施回数	2	4	100	4	有	実施内容：市及び民間事業者が主催する各種イベント への参加、食品関連イベントでのフードドライブ実施支 援 ①歯っぴいデーでの啓発 ②イオン茅ヶ崎中央店の食品ロス削減イベントでの啓 発 ③環境フェアでの啓発 ④みんなの消費生活展での啓発 ⑤KIグランプリでのフードドライブ実施支援 評価：食品ロス削減について、様々な機会を活用し周 知啓発することができた。	4	8	今年度策定の「食品ロス削減推進計 画」に基づき、飲食店組合を通じ、 「30秒運動」や「トキキーバック」の普及啓 発に取り組んでいく。	市役所、企業、オンライン	
					R7	実施回数	2	4	100	4	無	事業内容：市及び民間事業者が主催するイベントへの 参加 ①イオン茅ヶ崎中央店での啓発 ②環境フェアでの啓発 ③みんなの消費生活展(オンライン)での啓発 ④食品ロス啓発プロジェクトへの参加(X) 評価：食品ロス削減について、様々な機会を活用し周 知啓発することができた。	4	8	策定した「食品ロス削減推進計画」に 基づき、イベント等での情報発信・普及 啓発の取り組みを継続して実施してい く。	市役所、企業、オンライン	
14	食品ロス	普及啓発	健康増進課	事業名：食品ロス削減の啓 発 実施内容：展示やサイネージ 等を活用し、食品ロス削減に 関する普及啓発を実施する。	R5	実施回数	1	3	100	4	無	実施内容：10月の食品ロス削減月間に合わせ、ロビー やエレベーターサイネージを活用し、周知を実施した。 また、環境政策課の事業(ちがき環境フェアなど)にて ポスターを展示(2回)した。 評価：家庭でできる食品ロスを削減するポイントにつ いて周知できた。ポスターの展示に合わせ、こどもが家庭 で取り組めるワークシートを配架することができた。	4	8	食育推進の観点から、家庭でできる削 減ポイントを明確に周知することが課 題である。引き続き、ポイントをおさえた周知を実施 していく。	市役所、図書館	
					R6	実施回数	1	3	100	4	無	実施内容：10月の食品ロス削減月間に合わせ、ロビー やエレベーターサイネージを活用し、周知を実施した。 また、環境政策課の事業(ちがき環境フェアなど)にて ポスターを展示(2回)した。 評価：家庭でできる食品ロスを削減するポイントにつ いて周知できた。食品ロス量を毎日おにぎり1個分と記載 し、市民が分かりやすい媒体作成を心がけた。ポスター の展示に合わせ、こどもが家庭で取り組むことができる ワークシートを作成し、配架できた。	4	8	食品ロスの問題を身近に捉えてもら う必要がある。引き続き、市民が分 かりやすい媒体を作成し、周知を実施 していく。	市役所、図書館	
					R7	実施回数	3	3	100	4	無	実施内容：10月の食品ロス削減月間に合わせ、ロビー やエレベーターサイネージを活用し、周知を実施した。 また、環境政策課の事業(ちがき環境フェアなど)にて ポスターを展示(2回)した。 評価：家庭でできる食品ロスを削減するポイントにつ いて周知できた。ポスターの展示に合わせ、こどもが家庭 で取り組むことができるワークシートを作成し、配架でき た。	4	8	食品ロスの問題をより身近に感じ、具 体的な行動につなげてもらうことが必 要である。引き続き、市民に分かりや すい媒体を活用し、実践を促す周知を 実施していく。	市役所、図書館	

【施策2】食文化の体験と継承、共食の推進

【行政の主な取組】

- ・食文化の体験と継承※、共食の推進に関するイベントや教室、体験を通した普及啓発
- ・学校・保育所での食文化の体験と継承、共食の推進に関する取組

※食文化の体験と継承は、食事のマナーを含む。

指標の達成状況に対する評価	4 / 4	取組内容に対する評価	3. 9 / 4	7. 9 / 8
---------------	-------	------------	----------	----------

通し番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合はその他)	取組の分類 ※リストから選択 (該当ない場合はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			課題及び翌年度へ向けた改善点	実施場所	備考	
						指標	目標値	実績値	指標の達成状況(%)	評価点①	参加者意見の有無 ※「有」の場合は意見を踏まえて評価を記入 ※「無」の場合は実施者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果があったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価(工夫・改善した点等を記入)	評価点②				取組評価点①+②
15	食文化の体験と継承	教室	小和田公民館	事業名:あずきがゆづくり 実施内容:茅ヶ崎に伝わる民話「一つ目小僧」にちなんだ風習を再現してあずきがゆを作る。	R5	参加者数	8	0	0	1	無	実施内容: 評価:	1	2	5年度の実施無し テーマと講師の選定を再調整する予定		中止(栽培していた小豆が収穫できなかったこと、また講師を予定していた博物館職員の調整がつかなかったため)
					R6	実施予定なし											削除(他事業実施のため)
					R7	実施予定なし											
16	食文化の体験と継承	教室	鶴嶺公民館	事業名:子どもの広場 実施内容:子どもの広場(年5回)の事業の中で、行事食等を作る。	R5	実施回数	2	2	100	4	有	実施内容:小学生を対象に、9月に「月見だんごを作ろう」、2月に「おやつ作り教室」を行い、一緒に食事をしながら参加者同士の交流を図る事業を実施した。 評価:「家で家族に作ってみたい」という意見をいただいたり、初めて会った子と話したという参加者もいたり、行事食等の料理体験を通じて、他者とのコミュニケーションの場を作ることができた。	4	8	今後も、行事食の体験に関する事業として、継続して開催する。	鶴嶺公民館	
					R6	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:小学生を対象に、9月に「月見だんごを作ろう」を行い、一緒に食事をしながら参加者同士の交流を図る事業を実施した。 評価:「ほかにもお団子を家で作ってみたい」という意見をいただいたり、初めて会った子と話したという参加者もいたり、行事食等の料理体験を通じて、他者とのコミュニケーションの場を作ることができた。	4	8	子どもの広場は、子ども同士の交流を目的とした事業のため、目的に即した内容を、協力団体と検討している。検討のなかで、行事食に関するコンテンツは次年度実施しないこととした。	鶴嶺公民館	
					R7	実施予定なし											

通し番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合はその他)	取組の分類 ※リストから選択 (該当ない場合はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた改善点	実施場所	備考
						指標	目標値	実績値	指標の達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有無 ※「有」の場合は意見を踏まえて評価を記入 ※「無」の場合は実施者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果があったかを評価	事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)				
17	食文化の体験と継承	教室	鶴嶺公民館	事業名:子育て応援講座 実施内容:子育て世代を対象に、旬の食材を使った料理や伝統的な食文化を体験できる機会を提供する。	R5	実施回数	1	0	0	1	無	実施内容:「子育て応援講座 美味しいだしで汁三菜」を企画したが、参加申込者が少なく、材料費の採算が合わず、最少催行人数に達しなかったため、中止とした。 評価:子育て支援センター等にチラシを配架したが申し込みが少なかった。広報の仕方に改善を必要がある。	1	2	子育て世代への広報活動として、SNSの活用を力を入れていく。	鶴嶺公民館	中止(最少催行人数に達しなかったため)
					R6	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:子育て世代を対象に、子育て応援プログラム「世界のお菓子で旅気分！」を実施した。市内在住のリトアニア出身の方を講師に招き、リトアニアの食文化を学んだ。 評価:「リトアニアの食文化に触れることができとても楽しかったです。」というリトアニアの食文化を知り、日本の食文化との比較をすることができた。また、これまで公民館を利用したことのない方も参加されており、参加者層の拡大を図ることができた。	4	8	今後も、食文化の体験に関する事業として、継続して開催する。	鶴嶺公民館	
					R7	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:子育て世代を対象に、子育て応援プログラム「世界のお菓子で旅気分！」を実施した。イギリス出身の方を講師に招き、イギリスの文化を学んだ。 評価:「やってみたかったクッキー作りだったので、とてもうれしかったです。上手にできました。家でも作ってみたいと思います。」などの意見をいただき、食文化に関心を持っていただく機会を作ることができた。	4	8	今後も、食文化の体験に関する事業として、継続して開催する。	鶴嶺公民館	
18	食文化の体験と継承	教室	鶴嶺公民館	事業名:つるみね健康レストラン 実施内容:管理栄養士による食事と健康に関する講義を受け、伝統食を作る。	R5	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:「つるみね健康レストラン 伝えたい!定番おせち料理」と題し、健康増進課の管理栄養士による食事と健康に関する講義の後に、茅ヶ崎市食生活改善推進団体からの指導のもと、おせち料理3品(伊達巻、田作り、ごぼう入りのしし鶏)を作る講座を実施した。 評価:「想像よりも手軽で、すごくおいしいおせち料理が私に作れるなんて感動です。」などの意見をいただき、食文化に関心を持っていただく機会を作ることができた。	4	8	今後も、行事食の体験に関する事業として、継続して開催する。	鶴嶺公民館	
					R6	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:「つるみね健康レストラン 伝えたいおせち 伝統とアレンジ」と題し、健康増進課の管理栄養士による食事と健康に関する講義の後に、茅ヶ崎市食生活改善推進団体からの指導のもと、おせち料理3品(伊達巻、田作り、和風ミートローフ)を作る講座を実施した。 評価:「普段ハードルが高くて作れないものをみんなで楽しくできたこと。思ったより手軽にできて家でも作りたいです」などの意見をいただき、食文化に関心を持っていただく機会を作ることができた。	4	8	今後も、行事食の体験に関する事業として、継続して開催する。	鶴嶺公民館	
					R7	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:「つるみね健康レストラン 伝えたい!お正月のおもてなし料理」と題し、健康増進課の管理栄養士による食事と健康に関する講義の後に、茅ヶ崎市食生活改善推進団体からの指導のもと、おせち料理3品(伊達巻、田作り、サーモンの押し寿司)を作る講座を実施した。 評価:「ぜひ今日のお節料理を作ってみたいと思います。」などの意見をいただき、食文化に関心を持っていただく機会を作ることができた。	4	8	今後も、行事食の体験に関する事業として、継続して開催する。	鶴嶺公民館	

茅ヶ崎みんなの食と元気と歯っぴい計画

【施策2】食文化の体験と継承、共食の推進

通し番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合はその他)	取組の分類 ※リストから選択 (該当ない場合はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた改善点	実施場所	備考
						指標	目標値	実績値	指標の達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有無 ※「有」の場合は意見を踏まえて評価を記入 ※「無」の場合は実施者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果があったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				
19	食文化の体験と継承	教室	鶴嶺公民館	事業名:親子でみそ作り講座 実施内容:食に対する理解を深め、食生活を大事にする心を育てることを目的に、親子でみその作り方を学ぶ。	R5	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:食に対する理解を深め、食生活を大事にする心を育てることを目的に、親子でみその作り方を学ぶ講座を実施した。 評価:「勉強にもなって、自分ひとりではなかなかチャレンジできなかったことに、先生に教わりながら挑戦できて、親子ともとても楽しかったです。」などの意見をいただき、食育の推進につながった。	4	8	今後も、食文化の体験に関する事業として、継続して開催する。	鶴嶺公民館	
					R6	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:食に対する理解を深め、食生活を大事にする心を育てることを目的に、親子でみその作り方を学ぶ講座を実施した。 評価:「子どもの食育にもつながり、安心しておいしい味増がたべられるのが楽しみです。」などの意見をいただき、食育の推進につながった。	4	8	今後も、食文化の体験に関する事業として、継続して開催する。	鶴嶺公民館	
					R7	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:食に対する理解を深め、食生活を大事にする心を育てることを目的に、親子でみその作り方を学ぶ講座を実施した。 評価:参加者に実施したアンケートで、「みそがどのように作られているかわかりましたか?」という設問に対し、全員が「よくわかった!まあまあわかった」と回答があり、食育の推進につながった。	4	8	今後も、食文化の体験に関する事業として、継続して開催する。	鶴嶺公民館	
20	食文化の体験と継承	教室	鶴嶺公民館	事業名:異文化交流事業 実施内容:外国人の講師を招き、講師の国の料理を作り、食文化を体験する。	R5	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:「異文化交流講座『知ってみたい、よその国〜ドミニカ共和国〜』を開催し、ドミニカ共和国の郷土料理を作り、同国の文化歴史を学ぶ講座を実施した。 評価:「お料理も全く違い、新しいことを知った感じがす。自分でも少し調べてみようかなと思いました」などの意見をいただき、異国の食文化に関心を持っていただく機会を作ることができた。	4	8	今後も、食文化の体験に関する事業として、継続して開催する。	鶴嶺公民館	
					R6	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:「異文化交流講座『知ってみたい、よその国〜ペルー〜』を開催し、ペルーの郷土料理を作り、同国の文化歴史を学ぶ講座を実施した。 評価:「ペルーの食材には驚きました。食文化の豊かさに感動です。」などの意見をいただき、異国の食文化に関心を持っていただく機会を作ることができた。	4	8	今後も、食文化の体験に関する事業として、継続して開催する。	鶴嶺公民館	
					R7	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:「異文化交流講座『知ってみたい、世界の料理〜リトアニア〜』を開催し、リトアニアの郷土料理を作り、同国の文化歴史を学ぶ講座を実施した。 評価:参加者に実施したアンケートで、「リトアニアを身近に感じ、興味を持つことができましたか?」という設問に対し、全員が「興味を感じた・少し興味を感じた」と回答があり、食を通して異国の文化に関心を持っていただく機会を作ることができた。	4	8	今後も、食文化の体験に関する事業として、継続して開催する。	鶴嶺公民館	

通し番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合はその他)	取組の分類 ※リストから選択 (該当ない場合はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた改善点	実施場所	備考		
						指標	目標値	実績値	指標の達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有無 ※「有」の場合は意見を踏まえて評価を記入 ※「無」の場合は実施者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果があったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②						
21	食文化の体験と継承	教室	松林公民館	事業名:夏休みこどもパン教室 実施内容:こどもたちによる手作りパンづくりへの挑戦。	R5	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:保護者のいない環境でこども同士で力を合わせてパン作りをすることで、自分で考えて伝える術を身につける。 評価:食生活の大切さや、自分で作ることの楽しさを学んだ。	4	8	小学1、2年生には少し難しかったため、来年度からは3年生以上を対象とする。	松林公民館			
					R6	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:保護者のいない環境で、こども同士で力を合わせてパン作りを行うことで、自分で考えて伝える術を身につける。 評価:食生活の大切さや、自分で作ることの楽しさを学んだ。	4	8	小学3年生以上を対象としていたが、1、2年生の申し込みもあった。しかしながら、小学1、2には難しかったため今後の課題とする。	松林公民館			
					R7	選定されなかったため実施なし													
22	食文化の体験と継承	教室	松林公民館	事業名:初めての茶の湯体験 実施内容:茶道の基礎知識やマナー、持ち物などを覚えて実際に体験をする。	R5	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:日本の文化の作法を学ぶことにより、日常生活のストレス解消の一助とする。 評価:初めて茶道について学ぶ参加者もあり、日本の伝統的な文化を体験してもらったことができた。	4	8	送迎用マイクロバスと松下政経塾との日程調整が課題である。	松下政経塾			
					R6	実施回数	1	0	0	1	無	実施内容: 評価:	1	2	中止		中止(会場の都合のため)		
					R7	選定されなかったため実施なし													削除(開催事業に選定されなかったため)
23	食文化の体験と継承	教室	松林公民館	事業名:美味しいシソ入り梅干しづくり 実施内容:梅と塩とシソを使って梅干しの漬け方を学ぶ。	R5	実施回数	2	2	100	4	有	実施内容:松林公民館の近隣で取れた赤しそを使って、日本の伝統的な保存食である梅干しを作った。 評価:初めて作る参加者も多く、日本の伝統的な食文化を知ってもらった機会を提供することができた。	4	8	地元の材料で作る講座のため、材料確保が今後の課題である。	松林公民館			
					R6	実施回数	2	2	100	4	有	実施内容:松林公民館の近隣で取れた赤しそを使って、日本の伝統的な保存食である梅干しを作る。 評価:初めて作る参加者も多く、日本の伝統的な食文化を知ってもらった機会を提供することができた。	4	8	地元の材料で作る講座のため、材料確保が今後の課題である。	松林公民館			
					R7	選定されなかったため実施なし													削除(開催事業に選定されなかったため)
24	食文化の体験と継承	教室	松林公民館	事業名:季節のお菓子づくり 実施内容:初心者の手軽にできるデザートづくりに挑戦する。	R5	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:地産地消を促進し、季節のお菓子を作ることで、手作りの大切さや、自分で作る楽しさを学んだ。 評価:季節のお菓子づくりに興味を持ち、手作りの大切さを学んだ。	4	8	材料を冷やす時間や、焼く時間の調整が必要であった。	松林公民館			
					R6	実施なし													削除(開催事業に選定されなかったため)
					R7	選定されなかったため実施なし													削除(開催事業に選定されなかったため)

通し番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合はその他)	取組の分類 ※リストから選択 (該当ない場合はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた改善点	実施場所	備考		
						指標	目標値	実績値	指標の達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有無 ※「有」の場合は意見を踏まえて評価を記入 ※「無」の場合は実施者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果があったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②						
25	食文化の体験と継承	教室	香川公民館	事業名:味噌作り教室 実施内容:通常の味噌作りより多い量の粕を使い味噌の仕込み体験する。保存方法やカピの対処法等を楽しく学ぶ。	R5	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:味噌(発酵食品)がなぜ体にいいのか。味噌の作り方、保存の方法を学んだ。 評価:参加者が講座の内容を理解し、味噌を作ることができた。	4	8	参加人数を募集より多く受けてしまった。作業台を追加するなどに対応した。	香川公民館			
					R6	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:味噌(発酵食品)が体にいいのか、味噌の作り方や保存方法を学んだ。また、親子で一緒に作ることで食育を進める。 評価:参加者が講座の内容を理解し、親子の食育の推進につながった。	4	8	参加者の対象の精査。	香川公民館			
					R7	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:味噌(発酵食品)がなぜ体にいいのか。味噌の作り方、保存の方法を学んだ。 評価:参加者が講座の内容を理解し、味噌を作ることができた。	4	8	今年度は対象を18歳以上としたが、子どもの食育にもなるため、親子で参加したいと要望があった。開催方法を検討する。	香川公民館			
26	食文化の体験と継承	教室	香川公民館	事業名:発酵を学ぼう 実施内容:健康のために腸活をすすめる一環として、発酵食を学ぶ。生糞をつかった塩糞や醤油糞の作り方や保存方法などを学ぶ。	R5	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:発酵食品がなぜ体にいいかを学んだ。 評価:参加者が講座の内容を理解し、糞を作ることができた。	4	8	HPでの周知方法の改善。参加人数の精査。	香川公民館			
					R6	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:醤油・塩麹・玉ねぎ麹作ると同時に発酵食がなぜ体にいいのかを学ぶ 評価:参加者が発酵食について理解を深め、発酵食を使った調理法を学ぶことができた。	4	8	参加人数の精査。	香川公民館			
					R7	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:そら豆使い、発酵調味料の豆板醤作ると同時に発酵食がなぜ体にいいのかを学ぶ 評価:参加者が発酵食について理解を深め、発酵食を使った調理法を学ぶことができた。	4	8	そら豆の最盛期が過ぎていた。使用する食材の旬の時期を詳細に把握したうえで、開催時期を検討する。	香川公民館			
27	食文化の体験と継承	教室	体験学習センター	事業名:そば打ち教室 実施内容:講師の指導のもとそば打ちをし、自分で調理したそばを食べる体験を行う。	R5	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:講師の直接の指導でそば打ちをし、日本の食文化である「そば」の打ち立て茹でたてを食べる体験をする。自分で調理したそばを食べる喜びを参加者で分かち合う。 評価:講座をきっかけに家庭でもそば打ちをしたいとの声も多く成果はあった	4	8	電話による申し込みのみの為、参加者名、住所、電話番号等の聞き取りが大変だった。また、電話回線が1本のため、申し込みが集中した初日は業務に支障があった。申し込みフォームを使用できない方への配慮をしながら、次回の講座からは申し込みフォームを活用したい。	体験学習センター	令和6年度は、指定管理者が実施主体となる。		
					R6	記載なし (制度変更による)													施設の指定管理制度導入のため、記載対象外とする(事業は継続実施)
					R7	記載なし (制度変更による)													施設の指定管理制度導入のため、記載対象外とする
-	食文化の体験と継承	教室	体験学習センター	事業名:強力粉を使った料理体験 実施内容:強力粉を使った料理づくりを行う。	R5	実施回数	1	0	0	-		実施内容: 評価:	-	-		体験学習センター	変更(食文化の体験として古来からある大豆から発酵食品としてある味噌の方が適しているため、事業名と内容を変更した。(通し番号28:寒仕込み味噌づくり教室)		
					R6	記載なし (制度変更による)												施設の指定管理制度導入のため、記載対象外とする	
					R7	記載なし (制度変更による)												施設の指定管理制度導入のため、記載対象外とする	

通し番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合はその他)	取組の分類 ※リストから選択 (該当ない場合はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた改善点	実施場所	備考		
						指標	目標値	実績値	指標の達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有無 ※「有」の場合は意見を踏まえて評価を記入 ※「無」の場合は実施者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果があったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②						
28	食文化の体験と継承	教室	体験学習センター	事業名:寒仕込み味噌づくり教室(強力粉を使った料理体験から変更) 実施内容:味噌作り体験を通して、手間をかけて手作りする楽しさや美味しくて体に良い発酵食品の魅力を再発見するなど、日本の伝統食や身近な食文化について考える。	R5	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:工程ごと、また豆を潰す器具が無い場合の義理かかの手を、ポイントごとに参加者の手を止め丁寧な説明で、味噌づくりをハードルが高いものと捉えなくて気軽に毎年取り組んで欲しい事を伝えた。随所で食の大事さや手作りを楽しむ知恵などが披露され、日々食を大切に家族で食を楽しんで生活するためのヒントとなった。 評価:またやって欲しいと意見が多く成果はあった。	4	8	多くの参加希望が想定される講座は、先着ではなく抽選の方がよいのではとの声があった。	体験学習センター			
					R6	記載なし(制度変更による)													施設の指定管理制度導入のため、記載対象外とする
					R7	記載なし(制度変更による)													
29	食文化の体験と継承	教室	青少年会館	事業名:子どもクッキング 実施内容:食材の旬と食べやすい調理を理解し、自身で作って食べる体験で食文化を学ぶ。	R5	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:健康増進課の管理栄養士から、野菜の旬と食べやすい調理を学び、カラフル蒸しパンを仲間と一緒に調理し味わった。 評価:小学生低学年がなじみやすいウイズで旬を学び、グループで協力し合う調理と実食で、食文化を伝えられた。	4	8	たくさんの応募があったが、調理でのサポートを要す低学年を対象とし定員を少なくしたため、参加できない方が多かった。 できるだけ多くの青少年に食文化の体験が可能となるように、内容、対象者、回数などを見直したい。	男女共同参画推進センターいこりあ			
					R6	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:管理栄養士の指導のもと、食育に関する講義を交えながら、節分が近いことから「大豆」を使ったお豆腐マフィンを親子で調理し味わった。 評価:講師考案のレシピを元にお豆腐、マフィンを調理したが、ニンジン、ホウレンソウを苦手とする子どもも多い中、「野菜が甘くて美味しかった」「嫌いな野菜が食べれて嬉しかった」などの声が多数挙がっており、野菜嫌いを克服する機会となった。	4	8	いこりあ調理室を使用したため、オープンが3か所故障していた。青少年会館に調理室がないため、来年度も事業実施にあたっては、いこりあ調理室を使用するため、オープン故障の改善を求めたい。	男女共同参画推進センターいこりあ			
					R7	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:管理栄養士の指導のもと、食育に関する講話を交えながら、お花見をテーマに、野菜と豆腐の3色団子と果汁の2色ゼリーを親子で調理し味わった。 評価:講師考案のレシピを元に調理をし、親子で、野菜や豆腐の活用で野菜嫌いの克服や健康に配慮することや、お花見の季節感を感じられる機会となった。	4	8	・講師によるレシピの調整で材料を工夫したが、物価高騰による食材の選定に苦慮した。 ・調理実習経験のない小学1~3年生とその保護者を対象としたが、より多くの青少年に食文化の体験と継承ができる様、内容・対象者・回数等を見直したい。	男女共同参画推進センターいこりあ			

茅ヶ崎みんなの食と元気と歯っぴい計画

【施策2】食文化の体験と継承、共食の推進

通し番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合はその他)	取組の分類 ※リストから選択 (該当ない場合はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた改善点	実施場所	備考
						指標	目標値	実績値	指標の達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有無 ※「有」の場合は意見を踏まえて評価を記入 ※「無」の場合は実施者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果があったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				
30	共食の推進	教室	多様性社会推進課	事業名: 男性の家事・子育て・介護への参画を進めるための講座 実施内容: ワーク・ライフ・バランス(家庭・仕事・地域参加・趣味の充実)の実現に向けて、男性を対象とした料理や子育てに関する講座を実施する。 ※R5は父子クッキングを実施する。R6年度以降は、料理以外の講座を開催する可能性がある。	R5	実施回数	1	1	100	4	無	実施内容: ワーク・ライフ・バランス(家庭・仕事・地域参加・趣味の充実)の実現に向けて、料理講座に父子で参加することにより、固定的役割分担意識をなくし、男性の家事育児への促進及び父子との触れ合いを目的とし父子で参加できる料理講座を実施した。 評価: 男性の家事育児への積極的な参加へのきっかけづくりにつながった。	4	8	本年度は、岡崎市とのゆかりのまち提携協定締結から40周年を迎えたことに合わせ、岡崎市の名産品の八丁味噌を使ったメニューとすることとした。翌年度以降の啓発手法(講座内容等)については未定。	男女共同参画推進センターいこりあ	
					R6	実施回数	1	0	0	1	無	実施内容: 評価:	1	2	中止		中止 (多様性社会推進課の個別計画である茅ヶ崎市ジェンダー平等推進計画の基本目標「ワーク・ライフ・バランスの促進として、男性の家事・子育て・介護への参画を進めることを目標に定めておりますが、令和6年度は別の基本目標に重点を置いて講座を実施したため、男性を対象とした料理や子育てに関する講座は実施しておりません。)
					R7	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容: ワーク・ライフ・バランス(家庭・仕事・地域参加・趣味の充実)の実現に向けて、男性を対象とした料理や子育てに関する講座「食べておいしく!自由研究にもつながり〜い」と題し、たまごの科学お料理教室を実施しました。身近な食材である頭のもつ「タンパク質の熱変化」という化学変化を体験的に学びながら、料理初心者でも楽しめるような簡単な調理法で、化学のおいしさの両方に触れる内容とし、化学の切り口で父親にも料理に興味を持ってもらうとともに、子どもと一緒に体験することで家庭での回復と定着を目標として講座を実施しました。 評価: 参加は3組(定員8組)で、参加した児童は1年生の男の子が2名、3年生の女の子が1名でありました。料理の前のたまごクイズでは、親も子どもも初めて知ることが多かったようで、講師の説明をうなずきながら聞いていました。また、子どもたちが控えめながらも発言したり、父親と相談しながら一生懸命考えを考えていました。調理に入ると、子どもたちは少し緊張しながらも、講師が説明した通りの手順で材料を混ぜたり注いだり、それぞれ懸命に取り組んでいました。父親たちはみな普段から料理をしているようで、手慣れた様子で子どもたちをサポートしていました。火を怖がる子、炒めたご飯をこぼしてしまふ子、最後まで集中力が続かない子、色々な子どもがいましたが、自分たちで作ったオムライスとプリンをほおばる親子は、みな口々においしくいながら笑顔がありました。中には、「今日の晩ご飯にお家で作りたい!」と言いながら帰っていった子もあり、家庭での回復を目的の一つとしていたので、当初の目標は達成できたと感じました。参加者アンケートの結果、講座の満足度について非常に満足と回答した方が割合が66.7%、満足と回答した方の割合が93.3%でありました。	3	7	料理の講座は事前準備に手間がかかることに加え、実習室の都合上定員に限りがあります。さらに今回は参加者が3組と少なかったのですが、参加さえしていただければ非常に高い満足感を得ていただける内容であると、アンケートの結果を見て改めて感じました。反省点としては、前日及び当日のキャンセルが4組あったため、必要な費用の徴収ができません。非生に購入していただいた食材が余ってしまったことです。今後料理の講座を実施するにあたっては、直前のキャンセルを踏まえた食材量の購入をお願いし、当該が消耗品費で食材を購入するなどの対応策を検討し、講師の同意を得ながら実施する必要があると感じました。	男女共同参画推進センターいこりあ	

茅ヶ崎みんなの食と元気と歯っぴい計画

【施策2】食文化の体験と継承、共食の推進

通し番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合はその他)	取組の分類 ※リストから選択 (該当ない場合はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた改善点	実施場所	備考
						指標	目標値	実績値	指標の達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有無 ※「有」の場合は意見を踏まえて評価を記入 ※「無」の場合は実施者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果があったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				
31	共食の推進	その他	こども政策課	事業名:こども食堂事業 実施内容:子どもの孤食を減らし、地域における居場所づくりと子育て支援を目的に、子どもやその保護者へ無償または低額で食事の提供を行う子ども食堂を運営する団体に対し経費を補助する。	R5	実施回数	96	130	100	4	無	実施内容:地域でのこどもの居場所づくりの推進と継続的な活動を支援することを目的に、こどもに対し、地域で食卓、地域住民との交流を通じた「こどもの居場所づくり」に関する活動を行う団体に対して支援事業を行う。 評価:開設に係る費用を補助する補助金の補助率1/2を撤廃し、10万円を上限とした事業実施に要した額とした。また、運営に係る補助金についても国の補助金を活用し、10月以降の事業実施分について、補助金の上限を12万円から100万円に引き上げた。	4	8	国庫補助金の継続が不透明なため国の動向を注視する必要がある。こども食堂の拡充及び安定的な運営が可能となるよう支援のあり方を検討する。		
					R6	実施回数	110	252	100	4	無	実施内容:こどもの孤食を減らし、こどもの地域における居場所づくりと子育て支援を目的に、こどもやその保護者に対し無償又は低額で食の提供等を行う団体に対して支援事業を行う。 評価:運営に係る補助金については、昨年度と同様に国庫補助金を活用し、年間100万円を上限に実施団体へ継続的に支援を行った。	4	8	国庫補助金について、国の動向を注視する必要がある。補助金活用する団体が増加していることを踏まえ、多くの団体に事業の効果が行き渡るよう、支援のあり方を検討する。	こども食堂を運営している団体によって実施場所が異なる	
					R7	実施回数	264	508	100	4	無	実施内容:こどもの孤食を減らし、こどもの地域における居場所づくりと子育て支援を目的に、こどもやその保護者に対し無償又は低額で食の提供等を行う団体に対して支援事業を行う。 評価:運営に係る補助金については、昨年度と同様に国庫補助金を活用し、年間50万円を上限に実施団体へ継続的に支援を行った。	4	8	国庫補助金については、引き続き国の動向を注視する。 また、各団体が自立的な運営を進められるよう、補助金のあり方を段階的に見直し、補助金への依存度を低減させる取り組みを継続して行う。	なし ※こども食堂を運営している団体によって実施場所が異なる。	実績値は3月末に確定するため、事前に各団体から確認した見込み値を入力しています。
32	学校・保育所での食文化の体験と継承	その他	学務課	事業名:学校教育活動を通じた食文化の体験と継承 実施内容:地域農業者の協力により近隣の田んぼを借りし米作りの体験や、そら豆のさやもぎの体験等を実施する。	R5	体験回数	19	19	100	4	無	実施内容:地域農業者の協力を得た米作り体験や、給食で使用する食材(そらまめ等)の加工を行うことで、食文化の体験を行った。 評価:米作りやそらまめのさやもぎ体験など、地域や家庭で行う機会が減ってきている経験を通して、子どもたちの豊かな心を育むことができた。	4	8	地域就農者の減少や、田んぼの管理など人的要因などが課題である。引き続き、地域関係者の協力を得られるよう良好な関係を築いていく。	市立小学校19校	
					R6	体験回数	19	19	100	4	無	実施内容:地域農業者の協力を得た米作り体験や、給食で使用する食材(そらまめ等)の加工を行うことで、食文化の体験を行った。 評価:米作りやそらまめのさやもぎ体験など、地域や家庭で行う機会が減ってきている経験を通して、子どもたちの豊かな心を育むことができた。	4	8	地域就農者の減少や、田んぼの管理など人的要因などが課題である。引き続き、地域関係者の協力を得られるよう良好な関係を築いていく。	市立小学校19校	
					R7	体験回数	19	19	100	4	無	実施内容:地域農業者の協力を得た米作り体験や、給食で使用する食材(そらまめ等)の加工を行うことで、食文化の体験を行った。 評価:米作りやそらまめのさやもぎ体験など、地域や家庭で行う機会が減ってきている経験を通して、子どもたちの豊かな心を育むことができた。	4	8	地域就農者の減少や、田んぼの管理など人的要因などが課題である。引き続き、地域関係者の協力を得られるよう良好な関係を築いていく。	市立小学校19校	
33	学校・保育所での共食の推進	普及啓発	保育課	事業名:保護者懇談会や給食だよりによる情報提供 実施内容:保護者懇談会や給食だよりとして、共食の大切さを保護者に伝える。	R5	実施施設数	79	73	92	4	無	実施内容:毎月保護者へ配布している給食だよりで行事の由来や人気の給食レシピを紹介した。 評価:給食だよりの内容を家庭で話すことで、保護者と園児が食の楽しみを知り、共有することが出来た。	3	7	保護者へ食に対する関心をさらに促すことができるよう、内容を工夫したり、電子データ等でも発信していく。	保育所、幼稚園	
					R6	実施施設数	79	76	96	4	無	実施内容:毎月保護者へ配布している給食だよりで行事の由来や配信アプリ(こどもん等)を使用し、人気の給食レシピ等を紹介した。給食試食会も懇談会にて4年ぶりに再開した。 評価:給食だよりの内容を家庭で話すことで、保護者と園児が食の楽しみを知り、共有することができた。	3	7	保護者へ食に対する関心をさらに促すことができるよう電子データ等でも発信していく。	保育所、幼稚園	
					R7	実施施設数	79	79	100	4	有	懇談会では、離乳食の進め方などのテーマで、管理栄養士が作成した資料とともに話をしながら、相談や情報交換をしている。 毎月園だよりの中で給食だよりのコーナーを設け、お月見や豆まきなど、日本の行事について食と絡めてお伝えしています。 今後ともドモンを含め対象者にわかりやすい媒体づくり、給食コーナー、おたよりの作成を各園で行い、こども育成部のインスタグラム等を通して情報提供を行い、物産高騰もあるが、懇談会の試食会等も継続して行えるようにしていく。	4	8		保育園、幼稚園	

通し番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合はその他)	取組の分類 ※リストから選択 (該当ない場合はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組評価点 (①+②)	課題及び翌年度へ向けた改善点	実施場所	備考
						指標	目標値	実績値	指標の達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有無 ※「有」の場合は意見を踏まえて評価を記入 ※「無」の場合は実施者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果があったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				
追加1	食文化の体験と継承	教室	青少年会館	事業名: お米の教室・お赤飯の食べ比べ 実施内容: 五つ星お米マイスターのお米の話を通じて、食についての正しい理解を深め、親子でお赤飯の食べ比べをして、日本のお米を身近に感じる。	R5	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容: 五つ星お米マイスターからお米の話とお赤飯の炊き方の違いを学び、お赤飯の食べ比べをして、親子のコミュニケーションを図った。 評価: お米の生産地ルーツ、うるち米ととも米の比較などお米の知識を学び、炊き方の異なる赤飯の食べ比べが、食文化について興味・関心を持ってもらえる機会となった。	4	8	当日は27名の参加者を予定していたが、急遽不参加となった方が多く、19名での実施となった。体調不良による不参加は仕方ないが、当日の参加率を確保するため、開催日数前にリマインドメールを送るなど工夫したい。	青少年会館	
					R6	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容: 五つ星お米マイスターからお米の話と、昔と現代のお米の炊き方を学び実際に食べ比べも行い、親子のコミュニケーションを図った。 評価: 昔の炊き方の「煮る、蒸す、焼く、蒸らす」など手法の違いを学び、炊き方の異なる赤飯の食べ比べが、食文化について興味・関心を持ってもらえる機会となった。	4	8	試食用の紙皿を講師の好意で準備いただいたが、エコの観点から何度でも使用可能なプラスチック製の皿を参加者自身が持参するよう変更する。	青少年会館	
					R7	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容: 五つ星お米マイスターからお米の話と、精米別の炊き方を学び、実際に食べ比べも行い、親子のコミュニケーションを図った。 評価: 精米率の異なる「玄米」、「分つき米」、「白米」の炊き方を学び、「米ぬか」を使用した作ったオリジナルのふりかけとともに食べ比べて、それぞれ味・香り・仕上がりが違うことを実感することができた。 親子でお米について学び、コミュニケーションを図ることができた。	4	8	講師が提供する試食の際の使い捨て紙皿などを環境配慮商品とするなど改善したが、取り分けた後に、参加者が食べる試食を入れる容器や、お土産として持ち帰るふりかけの人物については、参加者自身が使いやすく軽めの容器類をご自宅から持参いただくことを募集の際から周知するなどして、排出量を減らすことができるよう環境面を考慮していきたい。 より多くの青少年の参加を促すため、広報の方法を工夫したい。	青少年会館	
追加2	食文化の体験と継承	教室	青少年会館	事業名: 親子で手軽に楽しむ日本茶教室 実施内容: 日本茶アドバイザーを講師から日本茶を学び、数種類の日本茶の飲み比べて、日本茶の正しい知識を理解し、おいしく淹れる方法を学ぶ。	R5	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容: 日本茶アドバイザーから日本茶を学び、数種類の日本茶の飲み比べをし、自宅で手軽においしく淹れる方法を理解した。 評価: 日本茶を、自宅でおいしく淹れる方法を知ること、食文化について興味・関心を持ってもらえる機会となった。	4	8	新規事業ではあったが、集客率が思ったよりも伸びなかったため、参加対象者について年齢や組み合わせの緩和・拡大、また、内容の再検討を考えた。	青少年会館	
					R6	実施回数	1	33	100	4	有	実施内容: 日本茶アドバイザーより身近なお茶の豆知識を学ぶとともに、「煎茶」「ほうじ茶」の飲み比べを実施し、自宅で簡単に美味しいお茶を淹れるコツを学んだ。 評価: 急須からお茶を淹れて飲む経験が少ない子ども達にとって、「煎茶」「ほうじ茶」を茶葉から急須に淹れ、飲み比べる経験は大変貴重な経験であった。自宅で簡単に淹れる内容であり、食文化に関心を持つ良い機会となった。	4	8	講師が講座慣れしていないこともあり、参加者から出た質問事項を全体に共有することができていなかった。翌年度は講師にその点を共有し、全体で共有できるように改善していきたい。	青少年会館	
					R7	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容: 日本茶アドバイザーより身近なお茶の豆知識を学ぶとともに、「煎茶」「ほうじ茶」の飲み比べを実施し、自宅で簡単に美味しいお茶を淹れるコツを学んだ。 評価: 急須からお茶を淹れて飲む経験が少ない子ども達にとって、「煎茶」「ほうじ茶」を茶葉から急須に淹れ、飲み比べる経験は大変貴重な経験であった。自宅で簡単に淹れる内容であり、食文化に関心を持つ良い機会となった。	4	8	日本茶の「淹れ方・五感体験」が中心となっているので、「日常の飲み物の選択」「健康」「文化・地域」「共食」といった食育の振り返りもできるようにしたい。	青少年会館	

通し 番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合は その他)	取組の分類 ※リストから選択 (該当ない場合は その他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考		
						指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意 見を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実 施者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果 があったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②						
追加3	食文化の体験と継承	教室	南湖公民館	事業名:料理教室 実施内容:簡単で美しく、見た目も華やかな料理をつくり、異文化のメニューを加えることで日常の食卓に彩りを添える。	R5	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:「おうちフレンチ 秋の味覚ポルチーニ並 薫る手打ちタリアテッレ」身近な食材で簡単おうちフレンチを作る。 評価:手軽に作れるフレンチの魅力を知ることができ、意外に知らない料理の基本も学ぶことができた。	4	8	異なる食文化について学ぶ機会を設け、発信していく。	南湖公民館			
					R6	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:「 Honolulu気分でおノリジャス!! THE ハワイごはん」ハワイの代表的な料理を作り、ハワイを身近に感じる。簡単で美しく、見た目も華やかな異文化のメニューを加えることで日常の食卓に彩りを添える。 評価:普段、作らないような料理にチャレンジすることで、料理の知識が増え、料理が楽しいと感じることができた。ハワイ料理が家庭での食卓を彩るメニューのレパートリーのひとつとなった。	4	8	異なる食文化について学ぶ機会を設け、発信していく。	南湖公民館			
					R7	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:世界の食文化への理解を深めるとともに、普段作らないような「おもてなし料理」のスキルを習得する。 評価:全員が料理をつくりあげ、またアンケートにて半数が家でも実践したいと回答した。	4	8	調理だけでなく、食文化への理解度を高めるための工夫が必要である。	南湖公民館			
追加4	食文化の体験と継承	教室	南湖公民館	事業名:和菓子作り教室 実施内容:地域の和菓子屋さんの店主を講師に招き、和菓子の文化や作り方を学ぶ	R5												実施なし		
					R6														実施なし
					R7	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:「心なごむ ほっこり和菓子作り教室」地域の和菓子屋さんの店主を講師に招き、和菓子の文化や作り方を学ぶ 評価:アンケートによる満足度は100%。和菓子を食べながら、地域住民と店主との会話が弾み、地域の新しいつながりを作ることにつながった。	4	8	改善:より和菓子の歴史や文化などの講義を充実させ、学習成果を深める必要がある。	南湖公民館			

【施策3】生きる力としての食生活の基礎づくり

【行政の主な取組】

- ・生きる力としての食生活の基礎づくり※に関するイベントや教室、体験を通じた普及啓発
- ・学校・保育所での生きる力としての食生活の基礎づくり※に関する取組

※生きる力としての食生活の基礎づくりとは、食と健康に関する取組

例)朝食の摂取やバランスのとれた食事などの健全な食生活の基本を身につける取組、栄養バランスに配慮した食事の目安等についての情報提供等を行う取組、健康と食事の関係に関心を持てるような取組、生活習慣病予防につながる食生活の実践が可能となるような情報及び機会提供の取組 など

指標の達成状況に対する評価		3. 9 / 4		取組内容に対する評価		3. 9 / 4		7. 8 / 8									
通し番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合はその他)	取組の分類 ※リストから選択 (該当ない場合はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			課題及び翌年度へ向けた改善点	実施場所	備考	
						指標	目標値	実績値	指標の達成状況(%)	評価点①	参加者意見の有無 ※「有」の場合は意見を踏まえて評価を記入 ※「無」の場合は実施者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果があったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価(工夫・改善した点等を記入)	評価点②				取組評価点①+②
34	生きる力としての食生活の基礎づくり	イベント	こども政策課	事業名:子育て支援センターにおける食育相談 実施内容:市内4か所の子育て支援センターにおいて、栄養士相談を実施する。	R5	実施回数	24	24	100	4	無	実施内容:市内4か所の子育て支援センターで栄養士相談を実施。 評価:離乳食や偏食等に悩んでいる保護者の悩みを相談できる機会を提供することができ、信頼できる食の提供に関する情報提供ができた。	4	8	より多くの方が利用できるよう、相談事業の周知活動に努める。	茅ヶ崎駅北口子育て支援センター、茅ヶ崎駅南口子育て支援センター、香川駅前子育て支援センター、浜竹子育て支援センターのびのび	
					R6	実施回数	24	24	100	4	無	実施内容:市内4か所の子育て支援センターで栄養士相談を実施。 評価:離乳食や偏食、アレルギーに悩んでいる保護者が多く、個別に悩み相談できる機会を提供することができ、信頼できる食の提供に関する情報提供ができた。	4	8	より多くの方が利用できるよう、相談事業の周知活動に努める。 ・2ヶ月に1回行っていた栄養士相談を、令和7年度以降は、月1回行えるよう相談体制の強化を図る。	茅ヶ崎駅北口子育て支援センター、茅ヶ崎駅南口子育て支援センター、香川駅前子育て支援センター、浜竹子育て支援センターのびのび	
					R7	記載なし(制度変更による)											
35	生きる力としての食生活の基礎づくり	教室	高齢福祉課	事業名:介護予防講演会(栄養) 実施内容:高齢者の健康状態等を踏まえてテーマを決め、介護予防に関する講演等を実施する。	R5	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:管理栄養士より、フレイルとその予防ポイントを解説。またグループでカードを使った食事メニューを作成した。最後に呼吸筋体操を実施し、終了した。 評価:アンケートから参加者のほとんどが大変参考になったと、今後も自身で続けられそうという回答があったことから、今回の講演会をきっかけにフレイル予防のきっかけ作りができた。	4	8	健康増進課の栄養教室のテーマと開催時期が同時期になってしまったので、次年度は連携を取って、被らないテーマで実施していく。また過去にやっていた調理実習の実施を含め、次年度の実施内容を検討していく。	地域医療センター	
					R6	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:市販のお惣菜を活用して簡単にできる健康レシピの紹介、フレイル、たんぱく質の摂取量等の話を盛り交せながら、実際にデモ調理を実施。作ったおかずを試食した。 評価:アンケートでは自宅で活かせるかという問いに全員がとても活かせると回答しており、継続性のある講演会となったと評価できる。	4	8	申し込み者16名に対して、当日参加者は8名と、当日キャンセルが多かった。事業の周知が早かったこともあり、参加までに期間がある中で忘れてしまっていた可能性もある。直前で連絡をするなど、工夫が必要だと感じた。	男女共同参画推進センターいこりあ	
					R7	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:健康長寿を支える栄養・食生活の基礎知識を学び、ご自身、ご家族、ご友人など隣人、地域に住む方の健康を保つことを目標に講演会を開催。フレイル予防、食品と栄養素の関係、どう食べるのかの工夫まで、実践しやすい内容となった。 評価:アンケートでは今後活かせる内容だったかという問いに対し、84.2%が「とても活かせる」と回答しており、今回の講演会をきっかけに、栄養について考えるきっかけづくりができた。	4	8	今後取り上げてほしいテーマをアンケートから聴取しているため、地域の健康課題や市民のニーズに合わせた講演会の実施内容について、検討していく。健康増進課と連携を図りながら、内容が重ならないようにしていく。	地域医療センター	

茅ヶ崎みんなの食と元気と歯っぴい計画

【施策3】生きる力としての食生活の基礎づくり

通し番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合はその他)	取組の分類 ※リストから選択 (該当ない場合はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			課題及び翌年度へ向けた改善点	実施場所	備考	
						指標	目標値	実績値	指標の達成状況(%)	評価点①	参加者意見の有無 ※「有」の場合は意見を踏まえて評価を記入 ※「無」の場合は実施者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果があったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点②				取組評価点①+②
36	生きる力としての食生活の基礎づくり	教室	こども育成相談課	事業名:離乳食講習会 事業内容:離乳食についての基本的な知識の普及と10倍がゆの実演、離乳食の見本の展示を行う。	R5	参加組数	220	201	91	4	有	実施内容:離乳食についての基本的な知識の普及と10倍がゆの実演、離乳食の見本の展示を行った。 評価:離乳食についての基本的な知識の普及を行った。実演や見本の展示により、離乳食の進め方や乳児期の発達への理解につながった。	4	8	引き続き離乳食についての基本的な知識の普及に取り組んでいく。	地域医療センター	
					R6	参加組数	220	213	100	4	有	実施内容:離乳食についての基本的な知識の普及と10倍がゆの実演、離乳食の見本の展示を行った。 評価:離乳食についての基本的な知識の普及を行った。実演や見本の展示により、離乳食の進め方や乳児期の発達への理解につながった。	4	8	引き続き離乳食の基本的な知識の普及に取り組んでいく。	地域医療センター	
					R7	参加組数	220	192	87	3	無	実施内容:離乳食についての基本的な知識の普及と10倍がゆの実演、離乳食の見本の展示を行った。 評価:離乳食についての基本的な知識の普及を行った。実演や見本の展示により、離乳食の進め方や乳児期の発達への理解につながった。	3	6	引き続き離乳食の基本的な知識の普及に取り組んでいく。	地域医療センター	令和8年2月時点
37	生きる力としての食生活の基礎づくり	教室	健康増進課	事業名:栄養改善教室 実施内容:健康づくりや生活習慣病予防のため、高血圧、高血糖予防等、テーマに合わせた講話を実施する。 (講義のみ、調理実施つき、親子食育教室)	R5	実施回数	8	9	100	4	有	実施内容:各テーマ(血圧、血糖値、フレイル、夏バテなど)に合わせた講話と1日分の食事チェックを実施した。実施回数の内1回をセミナーとして開催した。 評価:アンケートより、改善点が見つかったとの声が多く、参加者の食生活改善のきっかけとすることができた。	4	8	1食分(主食・主菜・副菜が揃った食事)の調理実習だけでなく、副菜などの1品料理の調理実習を新たに実施し、減塩のコツなどを伝えていく。	保健所、市役所、男女共同参画推進センターいこり	
					R6	実施回数	6	7	100	4	有	実施内容:各テーマ(血圧、血糖値、貧血など)に合わせた講話と1日分の食事チェック、調理実習(1食分の調理を1回、1品料理を2回実施)を実施した。 評価:開催時間や内容の検討を行い、より多くの方の申込みにつながることができた。アンケートより、改善点が見つかったとの声が多く、参加者の食生活改善のきっかけとすることができた。	4	8	定期的に栄養教室を開催し、栄養改善への取組を行う。1品料理の調理実習は開催時間や内容を見直し、次年度も継続して実施していく。	保健所、市役所、男女共同参画推進センターいこり	
					R7	実施回数	12	12	100	4	有	実施内容:各テーマ(血圧、血糖値、貧血)に合わせた講話と一日分の食事チェック、調理実習(1食分の調理を1回、1品料理を2回)を実施した。 評価:定期的な実施、オンデマンド配信の活用により、多くの方の申込みにつながることができた。アンケートより、改善点が見つかったとの声が多く、参加者の食生活改善のきっかけとすることができた。	4	8	定期的な栄養教室を開催し、その中で1食分の調理実習を取り入れるなど、実践的な内容の充実を図り、食生活改善を推進する。	保健所、市役所、男女共同参画推進センターいこり	
38	生きる力としての食生活の基礎づくり	教室	健康増進課	事業名:ちがさき健康づくり講座(食生活改善推進員養成講座) 実施内容:自らの健康づくりと地域での市民による食生活改善活動を推進するため、食生活と健康に関する養成講座を実施する	R5	受講生	20	19	95	4	有	実施内容:全11回とグループ毎の自主企画講座を3回実施した。講義や調理実習、運動、施設見学、グループワークなどにより、健康について多角的に学ぶ講座を開催した。 評価:健康を多角的な視点から学ぶ講座とすることができ、自ら及び周囲の健康について改めて見直すきっかけとすることができた。受講生の社会参加を促すこともできた。	4	8	食生活改善推進団体の会員数減少が課題である。受講生に活動の様子が分かるよう、団体が関与する調理実習を1回から2回とする予定である。	保健所等	
					R6	受講生	20	20	100	4	有	実施内容:全11回とグループ毎の自主企画講座を3回実施した。講義や調理実習、運動、施設見学、グループワークなどにより、健康について多角的に学ぶ講座を開催した。 評価:健康を多角的な視点から学ぶ講座とすることができ、自ら及び周囲の健康について改めて見直すきっかけとすることができた。受講生の社会参加を促すこともできた。	4	8	食生活改善推進団体の会員数減少が課題である。講座終了後の団体への入会者を増やすため、受講対象者に「食育や生活習慣病予防を学び、地域で健康づくりの活動をしたい方」を追加して募集を行う予定である。地域で活動を行う上で必要な知識を身につけられるよう講座内容についても見直しを行っている。	保健所、男女共同参画推進センターいこり等	
					R7	受講生	20	22	100	4	有	実施内容:講義、調理実習、運動実技、施設見学、グループワーク等と組み合わせ、健康について多角的に学ぶ講座を年11回実施した。 評価:対象者を「修了後に地域で健康づくり活動を行いたい方」と明確にしたこと、食生活改善推進団体茶渡会加入への不安軽減のため、講座内で茶渡会との交流の機会を複数回設けたことで、修了生の約60%を食生活改善推進団体茶渡会への入会につながることができた。また、グループワークに敵立作成を取り入れることで、修了後に地域でのボランティア活動へ実践的に活かせる内容となるよう工夫した。	4	8	講座生の途中離脱を防止するため、実施期間や講座内容について検証を行い、必要な見直しを図る。	保健所、男女共同参画推進センターいこり、総合体育館等	

通し番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合はその他)	取組の分類 ※リストから選択 (該当ない場合はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた改善点	実施場所	備考
						指標	目標値	実績値	指標の達成状況(%)	評価点 ①	参加者意見の有無 ※「有」の場合は意見を踏まえて評価を記入 ※「無」の場合は実施者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果があったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				
39	生きる力としての食生活の基礎づくり	教室	小和田公民館	事業名:夏野菜尽くし 実施内容:公民館の庭で栽培した野菜の収穫体験と夏野菜カレーの調理実習	R5	延べ参加者数	20	12	60	2	有	実施内容:公民館で栽培したじゃがいも、トマト、ズッキーニなどを収穫し、調理した。 評価:調理だけでなく野菜の栽培収穫も体験することで、生きる力としても食生活の基礎作りにつながる取組となった。	4	6	野菜の収穫時期と日程を合わせることで難しい。栽培に必要な人手をボランティア等で確保することも検討している。	小和田公民館	
					R6	延べ参加者数	20	16	80	3	有	実施内容:公民館で栽培したじゃがいも、トマト、ズッキーニ等を収穫し調理した。 評価:調理だけでなく野菜の栽培収穫も体験することで、生きる力としても食生活の基礎作りにつながる取組となった。	3	6	野菜の収穫時期と日程を合わせることで難しい。栽培に必要な人手をボランティア等で確保することも検討している。	小和田公民館	
					R7	参加人数	16	14	88	3	有	実施内容:公民館で栽培した夏野菜を収穫し、調理、実食した。 評価:調理だけでなく野菜の収穫も体験をすることで、生きる力としても食生活の基礎作りにつながる取組みとなった。 また、可食部についても学び食品ロスについて考え行動するきっかけづくりとなった。	3	6	猛暑で収穫量が例年より少なかったため、実施時期をずらして育てやすい野菜を選び、実施する。	小和田公民館	実習室の調理台数と講師の数を鑑み、目標(定員)を16に修正して実施した。
40	生きる力としての食生活の基礎づくり	教室	鶴嶺公民館	事業名:夏休み親子料理教室 実施内容:管理栄養士による食事と健康に関する講義を受け、親子で料理を作る。	R5	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:健康増進課の管理栄養士による食事と健康に関する講義の後に、茅ヶ崎市食生活改善推進団体の指導のもとピザと2色ゼリーを作る。 評価:「栄養士さんのお話をきけて、苦手な野菜へのチャレンジする姿が見られました。」などの意見をいただき、またアンケート回答者全員が「楽しかった」と回答した。楽しみながら、健康と食事の関係に関心を持っていただく機会を作ることができた。	4	8	今後も、食生活の基礎づくりに関する事業として、継続して開催する。	鶴嶺公民館	
					R6	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:こども育成相談課の管理栄養士による食事と健康に関する講義の後に、茅ヶ崎市食生活改善推進団体の指導のもと料理(パスタカレー、ハワイ風トロピカルゼリー)を作る。今年度は、姉妹都市友好協定締結10周年事業として、デザートメニューを決定した。 評価:「家では食べない野菜も全部食べました。とてもうれしかったです。みんなで料理をする楽しさを知ることができたようにとても良かったです。」などの意見をいただき、健康と食事の関係に関心を持っていただく機会を作ることができた。	4	8	今後も、食生活の基礎づくりに関する事業として、継続して開催する。	鶴嶺公民館	
					R7	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:こども育成相談課の管理栄養士による食事と健康に関する講義の後に、茅ヶ崎市食生活改善推進団体の指導のもと料理(ピザ、スープ、デザート)を作る。「食」への意識を深めることを目的に実施する。 評価:「座学から実習の流れが知識をもって取り組めたり、無駄のない動きができてとてもよく、取り組みやすかったです。家族以外の大人の方にかかわって何かを一緒に作り上げるといった良い経験になりました。」などの意見をいただき、食事を通じた交流の機会を作ることができた。	4	8	今後も、食生活の基礎づくりに関する事業として、継続して開催する。	鶴嶺公民館	
41	生きる力としての食生活の基礎づくり	教室	松林公民館	事業名:献立のない料理教室 実施内容:買い物から献立まで自分たちで考えて料理を行う。	R5	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:買い物、献立を考える、調理すること全てを子どもたちが行うことにより、自ら考える力を養った。 評価:自分たちで考えて作ることで、自主性を育むことが出来た。また、食生活の大切さを知ることが出来た。	4	8	買い物に時間がかかるため、時間配分の調整が必要。	松林公民館	
					R6	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:買い物、献立を考える、調理すること全てを子どもたちが行うことにより、自ら考える力を養う。 評価:自分たちで考えて作ることで、自主性を育むことが出来た。また、食生活の大切さを学ぶことが出来た。	4	8	買い出しに時間がかかるため、時間調整が必要である。	松林公民館	
					R7	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:買い物、献立を考える、調理することすべてを子どもたちが行うことにより、自ら考える力を養う。 評価:自分たちで考えて作ることで、自主性を育むことが出来た。また、食生活の大切さを学ぶことが出来た。	4	8	近隣の店舗が閉店したため実施内容を再考する。	松林公民館	

通し 番号	取組 ※リストから選 択 (該当ない場合 はその他)	取組の分類 ※リストから選 択 (該当ない場合 はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考	
						指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意 見を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実 施者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果が あったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				取組 評価点 ①+②
42	生きる力としての食生活の基礎づくり	教室	南湖公民館	事業名: RAKURAKUクッキング 事業内容: 減塩料理、栄養学、地産地消等をテーマに料理講座を実施。	R5	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容: 野菜摂取についての栄養講座と野菜たっぷりのエスニック調理実習 評価: 一日の塩分摂取量と野菜摂取量は常に周知している。	3	7	11月実施の場合は酷暑の時期にリハーサルになってしまったため、食中毒対策として次回は2月後半に実施する。	南湖公民館	
					R6	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容: 管理栄養士より体の内から元気になる食事のポイントを伝える栄養教室と、「ヘルシー中華～薬膳風～」の調理実習、試食交流。 評価: 一日の塩分摂取量、野菜接種目標量を用出し、日常から意識を高める必要性を再確認することができた。毎日の食事に「薬膳」の知恵を取り入れ、健康的な食生活を目指したいという気持ちを持ってもらうことができた。	4	8	昨年度の反省を生かし、リハーサル本番を下半期に実施できたことはよかったが、一方で直前に南湖公民館の給湯器が故障しお湯が使用できなくなったため利用者から不満の声があった。事業のスムーズな運営のためにも日ごろから施設維持管理を徹底する。	南湖公民館	
					R7	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容: 薬膳の考え方にに基づき、栄養素、カロリー、塩分、脂質などに配慮したレシピを学ぶ料理講座。 評価: 栄養への意識が高まった参加者は86%、参加者同士の交流が深まったとの意見は100%	4	8	特になし。	南湖公民館	
43	生きる力としての食生活の基礎づくり	普及啓発	こども政策課	事業名: 食に関する情報提供 実施内容: 幼児が作れる料理や、離乳食やおやつレシピ等を掲載し、食に関する情報を提供する。	R5	事業数	1	1	100	4	無	実施内容: 「子育てガイドブック愛」に離乳食レシピを掲載する。 評価: 「子育てガイドブック愛」に食事だけでなくおやつとしても楽しめる月齢別の4種類の離乳食レシピを掲載した。	4	8	より多くの方へ情報発信ができるよう周知活動に努める。乳幼児全戸訪問事業にて情報提供を行う。	子育てガイドブック愛	
					R6	事業数	1	1	100	4	無	実施内容: 「ちがさき子育てガイドブック 2024年度版」に離乳食レシピを掲載する。 評価: 月齢別の4種類の離乳食レシピ及び料理のイメージがつきやすいよう、写真を交え掲載した。	4	8	より多くの方へ情報発信ができるよう周知活動に努める。	ちがさき子育てガイドブック	
					R7	事業数	1	1	100	4	無	実施内容: 「ちがさき子育てガイドブック 2025年度版」に離乳食レシピを掲載する。 評価: 月齢別の4種類の離乳食レシピ及び料理のイメージがつきやすいよう、写真を交え掲載した。	4	8	より多くの方へ情報発信ができるよう周知活動に努める。	子育てガイドブック2025年度版	

通し 番号	取組 ※リストから選 択 (該当ない場合 はその他)	取組の分類 ※リストから選 択 (該当ない場合 はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考
						指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意 見を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実 施者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果が あったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				
44	生きる力としての食生活の基礎づくり	普及啓発	こども育成相談課	事業名:妊婦の食生活改善に関する普及啓発(YouTubeを含む) 実施内容:妊婦期の食生活の改善を目的に、ホームページやYouTubeを活用し、妊娠中に必要な栄養素についてやおすすめのメニュー等の発信を実施する。→Youtube等動画配信による普及啓発はR5年度で終了し、R6年度以降は対面での開催を行う。	R5	実施回数	4	4	100	4	無	実施内容:妊婦期の食生活の改善を目的に、ホームページやYouTubeを活用し、妊娠中に必要な栄養素についてやおすすめのメニュー等の発信を実施した。 評価:ホームページやYouTubeを活用し、妊娠中に必要な栄養素についてやおすすめのメニュー等の発信を実施することが出来た。	4	8	来年度からは、対面での開催を目標に取り組み。 R7年度以降中止	男女共同参画推進センターいこりあ	
					R6	参加組数	12	6	50	2	有	実施内容:妊婦期の食生活の改善を目的に、マタニティクッキングを年3回開催した。 評価:妊婦期は体調が不安定であろうことや、産体に入るまで仕事を続けている妊婦の増加等の理由から参加者集めに苦慮した。参加された方からは、改めて食事について考えるいい機会になったと好評を得た。	1	3			
					R7	事業内容の変更のため実施なし											
45	生きる力としての食生活の基礎づくり	普及啓発	健康増進課	事業名:食育(食育月間)の啓発 実施内容:6月の食育月間やその他期間において、展示や広報紙等を活用し、食育に関する普及啓発を実施する。	R5	実施回数	2	3	100	4	無	実施内容:展示、サインージ、LINE配信を活用して、食事の基本などについて周知した。 評価:さまざまな媒体を活用し、食生活の見直しを促すことができた。展示では、食生活などに関する資料を配架し、自宅での食育推進を促した。	4	8	今後さまざまな媒体を用いて啓発し、目を引くような媒体を作成し、周知する。 今後新たな情報を盛り込みながら、周知する。知識の定着を図るため、各媒体等を活用して周知を実施していく必要がある。 新たな情報を適宜取り入れながら、展示や講演会を活用した普及啓発及び食育に関する周知の充実を図るとともに、より多くの市民に情報が届くよう展示場所についても検討を行う。	市役所	
					R6	実施回数	2	2	100	4	無	実施内容:展示を通して、食事の基本などについて周知した。エレベーター、ロビーサインージを活用して、果物の摂取目標量を周知した。 評価:健康日本21(第3次)で果物の摂取量改善が目標の一つとして掲げられ、重点的に周知をした。果物の摂取目標量をテーマとしたYouTube動画を作成し、合わせて周知した。	4	8			
					R7	実施回数	2	3	100	4	無	実施内容:展示やエレベーターサインージを通して、食事の基本に関すること、ロビーサインージでは共食に関することや野菜に関する講演会を実施した。 評価:講演会は認知度が高い企業と連携したことで、70名以上の参加を得られた。また20~30歳の参加があり、幅広い年代層に普及啓発ができた。	4	8			

通し 番号	取組 ※リストから選 択 (該当ない場合 はその他)	取組の分類 ※リストから選 択 (該当ない場合 はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考
						指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意 見を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実 施者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果が あったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				
46	生きる力としての食生活の基礎づくり	普及啓発	健康増進課	事業名:食生活改善(食生活改善普及運動月間)の普及啓発 実施内容:9月の食生活改善普及運動月間やその他の期間において、展示や広報紙等を活用し、健全な食生活の基本が身につくための普及啓発を実施する。	R5	実施回数	2	2	100	4	無	実施内容:野菜の摂取目標量に関する動画を作成し、YouTubeにアップした。広報9/1号にて動画の告知と、野菜を食事に取り入れる4つのポイントを紹介した。展示も実施した。 評価:野菜の1日の摂取目標量を告知することができた。1食分の望ましい野菜の量について、写真で伝えた。	4	8	今後もさまざまな媒体を用いて啓発し、目を引くような媒体を作成し、周知する。	市役所	
					R6	実施回数	2	3	100	4	無	実施内容:ホームページで月間の重点目標に関する項目を周知した。広報9/1号にて、果物の摂取目標量を周知した。展示では、健康増進普及月間と合わせて、食生活に関するパネル展示を行った。 評価:果物の摂取目標量は、食育月間に引き続き周知を行い、情報が多くの方に行き渡るようにした。展示期間中に市民ふれあいプラザの140インチモニターを活用し、広く周知できた。	4	8	今後も新たな情報を盛り込みながら、周知を行っていく。	市役所	
					R7	実施回数	2	3	100	4	無	実施内容:健康増進普及月間と合わせて食生活に関するパネル展を行った。ホームページでは、月間の重点目標の告知、広報紙9/1号で減塩に関する特集記事を作成し、食生活改善に関する周知を行った。 評価:展示期間中に市民ふれあいプラザの140インチモニターを活用し、広く周知することができた。	4	8	様々な媒体を用いて、誰もが内容を正しく理解できるように周知を行っていく。	市役所	
47	生きる力としての食生活の基礎づくり	普及啓発	学校教育指導課	事業名:食習慣の改善に向けた取組1 実施内容:食について考える場を設けるために、毎月19日を「食育の日」と定め、教師用解説付きの食育啓発ポスターを各小中学校に配付する。	R5	実施回数	6	6	100	4	無	実施内容:食育ポスターの掲示 評価:市内の児童・生徒が描いた食育ポスターを各小中学校に掲示することにより、食について考えるきっかけとなった。	4	8	食育ポスターに選ばれた児童・生徒への通知をしっかりと行う。	市立小学校19校 市立中学校13校	
					R6	実施回数	5	5	100	4	無	実施内容:食育ポスターの掲示 評価:市内の児童・生徒が描いた食育ポスターを各小中学校の実情に合わせて昼食時間に黒板に掲示することにより、食について考えるきっかけとなった。	4	8	中学校給食が段階的にスタートしたため、食育ポスターの周知を図る。	市立小学校19校 市立中学校13校	
					R7	実施回数	7	8	100	4	無	実施内容:食育ポスターの掲示 評価:市立小・中学校の児童・生徒が描いた食育ポスターを各小・中学校に掲示することにより、食について考えるきっかけとなった。	4	8	食育ポスターに選ばれた児童・生徒への通知を確実にを行う。	市立小学校19校 市立中学校13校	

通し 番号	取組 ※リストから選 択 (該当ない場合 はその他)	取組の分類 ※リストから選 択 (該当ない場合 はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考
						指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意 見を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実 施者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果が あったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				
48	学校・保育 所での生き る力としての 食生活の基 礎づくり	その他	保育課	事業名: 保育園給食や弁当 を活用した食育の実施 実施内容: 給食だよりによる 食に関する情報の提供や、 調理員や保育士による食育 活動を通して食に関する基 礎を学ぶ場を設ける。	R5	実施施設数	79	72	91	4	無	実施内容: 外部講師を派遣した食育講座を実施した。 食育の絵本や栄養に関するパネルで講義を実施。 評価: 食育後の園児の給食への意識が向上したことから、 保育士や栄養士、調理員も食育の大切さを改めて意 識する機会となった。	3	7	食育の講座について、申込み人数が少 なかったため興味を持ってもらえるよ うな働きかけを保護者へしていく必要が ある。食育の絵本の紹介の機会を増や していく。	保育園、幼稚園	
					R6	実施施設数	79	76	96	4	無	実施内容: 外部講師を派遣した食育講座を実施した。園 で食育の絵本や栄養に関するパネルでの講義の実施 や、畑を活用し親子収穫体験を行った。 評価: 食育後の園児の給食への意識が向上したことから、 保育士や栄養士、調理員も食育の大切さを改めて意 識する機会となった。	3	7	食育の講座について、申込み人数が少 なかったため、興味を持ってもらえるよ うな働きかけを保護者へしていく必要が ある。年間食育計画や指導案を考 え、茅ヶ崎市全体で共有できるとよい。	保育園、幼稚園	
					R7	実施施設数	79	79	100	4	有	実施内容: その日のメニューの写真(離乳食・幼児食)を 毎日掲示するとともに、献立や食育だよりを毎月配布し ている。園内には食育コーナーを設け、その日に使用し た食材が体に与えるよい影響について、栄養の三つの要 素を用いて紹介している。また、各地方の郷土食や世界 の料理を毎月の献立に取り入れ、日本地図や世界地 図、地域や国の文化をマグネットで掲示し、子どもたち にわかりやすく伝えている。献立の中で人気のメニューに ついてはレシジを作成し、定期的に配布している。 茅ヶ崎消費メニューの日には食材を紹介し、食事中に食材 について話題にする機会を設けている。園内の食育チ ームが定期的にレシジャー役となり食育集会を実施する とともに、保育課の栄養士による出張食育を行っている。ま た、備前食提供の日には提供前の状態を見せるほか、 乾物のビフォー・アフターの掲示などを行っている。 評価: 食材や料理、地域の食文化等を紹介する取組を通 じて、子どもたちが食に関心を持つきっかけとなると ともに、食事を通じた親子の会話につながっている。また、食 材の紹介や体験的な取組により、食材や食文化への理 解を深める機会となっている。	4	8	食育への意識が各園で同じ方向をむけ るよう、引き続き情報交換会などでテ マにして、共有していく。	保育園、幼稚園	
49	学校・保育 所での生き る力としての 食生活の基 礎づくり	その他	学務課	事業名: 学校給食を活用した 食育の実施 実施内容: 学校栄養士によ る給食ニュースや給食だより による食に関する情報の提 供や、授業や給食指導を通 じて食に関する指導を実施 する。	R5	延べ実施回 数	209	209	100	4	無	実施内容: 学校栄養士が作成する「給食だより」等を通じ て、食材や食文化等の情報提供や、授業等を通じた指導 を通して、食育を実施した。 評価: 当初定めた目標値どおり、実施することができた。	4	8	SNSを中心に根拠に乏しい食情報や 健康情報が溢れている現状において、 給食ニュースや給食だより等を通して、 子ども達自ら【正しい食生活】を身に 着けられるよう指導を行っている。	市立小学校19校	
					R6	延べ実施回 数	209	209	100	4	無	実施内容: 学校栄養士が作成する「給食だより」等を通じ て、食材や食文化等の情報提供や、授業等を通じた指導 を通して、食育を実施した。 評価: 当初定めた目標値どおり、実施することができた。	4	8	SNSを中心に根拠に乏しい食情報や 健康情報が溢れている現状において、 給食ニュースや給食だより等を通して、 子ども達が正しい知識を持ち、食に興 味を持っていくように指導を行っている。	市立小学校19校	
					R7	延べ実施回 数	209	209	100	4	無	実施内容: 学校栄養士が作成する「給食だより」等を通じ て、食材や食文化等の情報提供や、授業等を通じた指導 を通して、食育を実施した。 評価: 当初定めた目標値どおり、実施することができた。	4	8	SNSを中心に根拠に乏しい食情報や 健康情報が溢れている現状において、 給食ニュースや給食だより等を通して、 子ども達が正しい知識を持ち、食に興 味を持っていくように指導を行っている。	市立小学校19校	

通し番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合はその他)	取組の分類 ※リストから選択 (該当ない場合はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた改善点	実施場所	備考		
						指標	目標値	実績値	指標の達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有無 ※「有」の場合は意見を踏まえて評価を記入 ※「無」の場合は実施者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果があったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②						
50	学校・保育所での生きる力としての食生活の基礎づくり	その他	学務課	事業名: 中学校給食実施事業 実施内容: デリバリー方式による中学校給食を新たに実施し、安全で安心な栄養バランスのとれた給食を提供する。給食の献立や食材等を題材に、栄養バランスや食の安全、地産地消の推進、食文化の継承など幅広い食に関する指導を実施する。	R5	調理事業者の決定	R6.3まで	決定	100	4	有	実施内容: 関係職員により構成される企画提案者選考会議において、参加事業者より提出のあった提案書等の審査を行い、優先交渉権者を決定した。 評価: 当初定めた目標値どおり、実施することができた。	4	8	より良い給食の提供に向け調理事業者との協議・連携を密に図るとともに、生徒・保護者に対する周知を強化し給食の利用を促す。				
					R6	給食を実施する中学校数	6	6	100	4	有	実施内容: 令和6年10月17日から市内6中学校でデリバリー方式で選択制の給食を開始しました。 評価: 令和6年10月から令和7年2月までの生徒の喫食率は、約62%となっています。開始前のアンケート調査による利用ニーズは、喫食率75%程度でしたので、それを下回る結果となっています。学校によっては、70%を超えるところもあるため、学校ごとの取組分析し、今後の喫食率の向上につなげていきたいと考えています。	3	7	喫食率の向上に向けて、各学校で取り組んでいる好事例を横展開するとともに、魅力のある献立づくりを研究します。地元農業従事者とコミュニケーションをとるなどして、地産地消を推進していきます。	市内6中学校(梅田、鶴が台、栢須賀、中島、円蔵、萩園)			
					R7	給食を実施する中学校数	13	13	100	4	有	実施内容: 令和6年度に給食を開始した市内6校に加え、令和7年5月から残る7校についてもデリバリー方式による給食を開始しました。 評価: 令和7年4月から令和8年1月までの喫食率は、約62%となっています。開始前のアンケート調査による保護者の利用ニーズは、喫食率75%程度でしたので、それを下回る結果となっています。茅ヶ崎市内の農業生産者の方との連携を進め、茅ヶ崎産の野菜の使用頻度を増やしています。こうした給食を生きた教材とした食育を推進し、喫食率の向上に努めていく必要があると評価しています。	4	8	喫食率の向上に向けて、さらなる茅産・茅消の推進など農業生産者の皆さまや農業関係団体との情報共有や目合わせを推進する必要があります。	なし			
51	学校・保育所での生きる力としての食生活の基礎づくり	その他	学校教育指導課	事業名: 食習慣の改善に向けた取組2 事業内容: 食に関する指導の全体計画の充実と活用を図るため、栄養教諭を中心としたネットワークによる食育の推進を行う。	R5	実施学校数	32	32	100	4	無	実施内容: 栄養教諭が学校訪問して、学校の食育担当者に食育推進や年間計画の指導、児童・生徒に向けた講演会等の開催を実施した。 評価: 栄養教諭を中心としたネットワーク構築につながった。	4	8	栄養教諭が増員されることにより栄養教諭の負担軽減と、各小中学校における食育推進の充実を図る。				
					R6	実施学校数	32	32	100	4	無	実施内容: 栄養教諭が学校訪問して、学校の食育担当者に食育推進や年間計画の指導、児童・生徒に向けた講演会等の開催を実施した。 評価: 栄養教諭を中核としたネットワーク構築につながった。	4	8	栄養教諭が増員されたことから、栄養教諭の負担軽減と、各小中学校における食育推進の充実を図る。	市立小学校19校 市立中学校13校			
					R7	実施校数	32	32	100	4	無	実施内容: 栄養教諭が学校訪問して、食育担当者に食育推進や年間計画の指導、児童・生徒に向けた講演会等を開催した。 評価: 栄養教諭を中心としたネットワーク構築につながった。	4	8	栄養教諭が増員されることにより栄養教諭の負担軽減と、各小・中学校における食育推進の充実を図る。	市立小学校19校 市立中学校13校			
追加1	生きる力としての食生活の基礎づくり	教室	高齢福祉課	事業名: 頭と体の元気アップ教室 実施内容: 地域支援事業の一般介護予防事業普及啓発事業として、虚弱傾向及び認知機能の低下が生じやすい高齢者を対象に、おおむね4か月で柔軟体操や筋力の向上に向けた運動、及び認知機能の低下の予防にかかるプログラムなど、複合的な機能の向上を目指す教室	R5												実施なし		
					R6														実施なし
					R7	実施回数	20	22	100	4	有	実施内容: 高齢者に必要な運動、認知症予防、栄養、口腔の4つの視点から、13回のコースで予防的アプローチを行う。そのうち、栄養については1教室につき、2回実施した。 評価: 教室前後の体力測定時の問診では食品数の摂取が増える傾向にあった。参加者からは食事が基本であること等を学んだとの感想が多かった。	4	8	教室の中で栄養にかかるプログラムの回数を増やすことは難しいので、内容の充実を図れるよう、受託事業者と相談していきたい	市民会館他委託事業者会場等7会場	当初10教室の予定だったが、参加者が多く1教室増やしたため、11教室(各2回)で実施。		

【施策1】【一次予防】生活習慣の改善、心身機能の維持・向上

【行政の主な取組】

- ・健康に関するイベントや教室、学校教育などを通じた普及啓発
- ・健康に関する相談体制の充実
- ・妊娠期～乳幼児期の健康管理体制の整備
- ・子どもから高齢者までの予防接種の実施
- ・健康づくりのための環境整備

指標の達成状況に対する評価	3.8 / 4	取組内容に対する評価	3.9 / 4	7.7 / 8
---------------	---------	------------	---------	---------

通し 番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考
					指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意見 を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実施 者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果が あったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				
1	健康に関する イベントや 教室	高齢福祉課	事業名:介護予防講演会 実施内容:介護予防に関する 知識の普及啓発のため、 講演会等を行う。(高齢者の 健康に関する内容、栄養、歯 科)	R5	実施回数	4	4	100	4	有	実施内容:歯科、栄養、お出かけ、心の健康の4つの テーマで実施。 評価:各回で、定員に対し、半数以上の参加があり、 またアンケート結果からほとんどの参加者から参考にな ったと回答があり、介護予防に関する知識の普及 や取組のきっかけづくりにつながった。	4	8	高齢者のこころの健康をテーマにしたと ころ、多くの参加希望があり、ニーズが 高いように感じた。次年度もこころの健 康に関するテーマを検討していく。	地域医療センター	
				R6	実施回数	4	4	100	4	有	実施内容:歯科、栄養、お出かけ、心の健康の4つの テーマで実施。 評価:“耳の聞こえ”に関する講演会(テーマではおで かけ)と、“心の健康”の講演会は定員を超える申し込み があり、急速増員対応するなどニーズに沿ったテ マになったと考えられる。	4	8	昨年度ニーズの高かった心の健康、今 年度初めて挑戦した耳の聞こえ等、 ニーズに沿った事業展開ができたと思 えられるので、次年度も引き続き市民 にとって魅力のあるテーマを設定してい きたい。	地域医療センター 男女参画推進センターい ごりあ	
				R7	実施回数	4	4	100	4	有	実施内容:フレイル予防、歯科、心の健康、栄養の テーマで実施。 評価:それぞれのテーマで、測定やグループワークな ど講話以外の内容を組み込むことで、参加者の満足 度や理解度が高かった。また心の健康では地域の居 場所づくりが見つかるようチラシなどの配布し、参加 者が地域に参加する意見などがあり、目的に応じた 反応があった。	4	8	大きなテーマは例年通り実施したが、 講師の職種や分野などを変えながら企 画したことで参加者の満足度が高かつ た。今後、介護予防やフレイル予防に 関連する栄養、歯科を実施していく。ま た高齢者のうつ対策として社会参加や 心の健康に関するテーマも継続してい く。	地域医療センター	

通し 番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合は その他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考
					指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意見 を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実施 者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果が あったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点を記入)	評価点 ②				
2	健康に関するイベントや教室	高齢福祉課	事業名:フレイル予防教室 実施内容:早期に虚弱の兆候に気づき、予防するために、フレイルサポーターによる簡易的なチェックを実施する。	R5	実施回数	10	10	100	4	無	実施内容:フレイルサポーターによるイレブンチェックと深層チェック、フレイルについての説明、介護予防体操を実施。 評価:コロナ禍明けで、今年度から深層チェックまですべてのフレイルチェックを実施し、参加者へのフレイル予防への啓発ができた。フレイルチェックの結果から他の事業等へつなげる取組ができなかったことが課題。	3	7	参加者数が少ないことが課題であり、周知方法や関係する事業との連携を図っていく。またフレイルチェックの結果から他への事業や包括などの地域資源などにつなげる取組を強化していく必要がある。	公民館やコミュニティセンター等の公共施設	
				R6	実施回数	10	10	100	4	無	実施内容:フレイルサポーターによるイレブンチェックと深層チェック、フレイルについての説明、介護予防体操を実施。 評価:昨年度と同じ事業内容だが、周知方法を健康増進課と連携した結果、参加者が大幅に増加した。また7割近くが新規参加者のため多くの市民にフレイルの啓発ができた。また測定結果からフレイルハイリスク者の電話かけを行い、必要に応じて介護予防事業や包括支援センターなどの相談先などにつなげた。	4	8	令和7年度にフレイルサポーターの養成講座を実施予定。サポーターの増員に伴い、会場を増やし、さらに参加者を増加を目指す。また早期にハイリスク者を見つけ、個別対応を進めていく。また講演会や市内ショッピングセンターでのイベントなどを通じてフレイルの普及と事業の周知を進めていく。	公民館やコミュニティセンター等の公共施設	
				R7	実施回数	13	14	100	4	無	実施内容:フレイルサポーターによるフレイルに関する測定とフレイルの説明と予防方法等を実施する。 評価:昨年度よりも参加者が増加し、1会場追加で実施した。また半分以上が初めての参加者で多くの市民にフレイルの啓発ができた。またフレイルハイリスク者の把握にもつながり、必要に応じて介護予防事業や包括支援センターなどにつなげ、効果的に介護予防へつなげることができた。	4	8	次年度より高齢者の一体的実施におけるポピュレーションアプローチ事業は、フレイルチェック事業で実施していく。これに伴い今年度はサポーターの養成を行い、大幅にサポーター数が増えた。今後はサポーターが活動できるような会場数の増加や地域の高齢者の集いの場などに出張できるようサポーターへの教育等が必要となる。	公民館やコミュニティセンター等の公共施設	
3	健康に関するイベントや教室	高齢福祉課	事業名:転倒予防教室 実施内容:介護が必要とならないように転倒骨折予防の運動と、高齢者支援リーダーによる介護予防体操の普及を行う。	R5	実施回数	209	209	100	4	無	実施内容:介護予防のために、身体機能の向上を目的とした運動や介護予防に関する情報提供などを行う。 評価:会場によっては、定員を上回る参加希望者がおり、一部の会場で定員を引き上げた。しかし参加者が定員の半数程度しか参加しない会場もあった。	3	7	会場の環境や委託事業者の実施内容によって参加者に偏りが見られる。事業者による実施内容の大きな差がないよう、事業者説明会での説明や道庁会場の順かしを行い、提供内容の質が落ちないよう努める。また参加希望者が増えるよう周知等を強化していく。	公民館やコミュニティセンター等の公共施設及び事業者会場2か所	実績値の算出:19会場×11か月分
				R6	実施回数	220	220	100	4	無	実施内容:介護予防のために、身体機能の向上を目的とした運動や介護予防に関する情報提供などを行う。 評価:会場によっては、定員を上回る参加希望者がおり、2会場で定員を引き上げた。しかし参加者が定員の半数程度しか参加しない会場もあった。	3	7	事業者による実施内容の差は依然としてあるものの、昨年度問題視していた体力測定の実施方法については今年度事業者説明会での説明を徹底したことで改善していると評価できる。	公民館やコミュニティセンター等の公共施設及び事業者会場2か所	実績値の算出:20会場×11か月分
				R7	実施回数	220	220	100	4	無	実施内容:介護予防のために、身体機能の向上を目的とした運動や介護予防に関する情報提供などを行う。 評価:年度当初に、複数会場で定員超過が発生し、その対応を検討する一歩となった。申し込み不要という特性上、参加者の共通認識の普及が課題となったが、電話対応の際に受付時間を守ることの徹底を促したり、チラシの表記方法を変更する等したこと、徐々に理解も深まり、後半はスムーズな運営となった。	4	8	定員超過になる会場もあれば、著しく参加者数の少ない会場もある。定員数を適切に見定める必要がある。	公民館やコミュニティセンター等の公共施設及び事業者会場3か所	実績値の算出:20会場×11か月分

通し 番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合 はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考
					指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意 見を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実 施者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果が あったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				
4	健康に関するイベントや教室	高齢福祉課	事業名:歌体操教室 実施内容:主に介護予防とした、歌体操ボランティアによる体操教室で、曲を歌いながら体操を行う。	R5	実施会場数	21	22	100	4	無	実施内容:歌体操ボランティアによる歌体操「ねほし」を身近な会場(自治会館など)で実施する。 新規会場として、ハマミーナ(4月)茅ヶ崎地区コミセン(9月)、身体障害者福祉協会(農協ビル)(9月)で実施した。 評価:継続して参加している方が多く、介護予防につながっていると考える。またボランティアの健康増進にもつながっている。	4	8	キャンセル待ちの会場も多くなっており、新設会場の増設のためボランティアの養成を実施する予定。ニーズの高い地区から会場を開設していく。	自治会館など身近な会場	
				R6	実施会場数	23	24	100	4	無	実施内容:歌体操ボランティアによる歌体操「ねほし」を身近な会場(自治会館など)で実施する。 新規会場として、釜田自治会館(9月〜)で実施した。 評価:継続して参加している方が多く、介護予防につながっていると考える。またボランティアの健康増進にもつながっている。	4	8	ボランティアが不足している会場や、参加者が満員でキャンセル待ちとなっている会場、未開設地区もある。既存会場のボランティアを増やすことや、新規会場開設のため、ボランティアの養成を実施していく必要がある。	自治会館など身近な会場	
				R7	実施会場数	25	25	100	4	無	実施内容:歌体操ボランティアによる歌体操「ねほし」を身近な会場(自治会館など)で実施する。 新規会場として、海岸地区コミュニティセンター(10月〜)で実施した。 評価:市内13地区に対して25会場の開設に至り、平均して1地区当たり2会場程度の会場数が確保されたこととなる。引き続き現在の会場数を維持するとともに、地区のニーズに合わせて展開していく必要がある。	4	8	最初のボランティア養成からまもなく10年経過する時期であり、ボランティアの高齢化が課題である。複数会場でボランティア不足となっており、続けているボランティアも少ない人数の中で運営していくというプレッシャーを感じてしまっている人もいる。新規ボランティアの養成、若年層の確保も目指していく必要がある。	自治会館など身近な会場	
5	健康に関するイベントや教室	高齢福祉課	事業名:公園体操 実施内容:高齢者ボランティアによる事業で、市内の公園でちがさき体操等の体操を行う。	R5	実施回数	12	9	75	3	無	実施内容:茅ヶ崎中央公園にて、月1回、高齢者支援リーダーによる準備体操、呼吸筋体操、輪っか体操、ちがさき体操を実施した。 評価:実施したすべての回で、予定されていたすべての体操を高齢者支援リーダーによって実施し、参加者への介護予防の取組を行うことができた。	4	7	昨今の夏季における気温の上昇から安全確保のために、次年度は8月の実施を控える。また2月は祝日のため中止とするため、実施回数が10回となる。	第一カッターきいろ公園(中央公園)	
				R6	実施回数	10	17	100	4	無	実施内容:当初予定していた年間開催予定は10回(8月は猛暑で休みに、2月は祝日で休みにした)だったが、実績は8回。雨天や熱中症警戒アラートの発令により中止した。 天候の影響を鑑み、令和7年1月より屋内版の公園体操事業を開始。3会場、各3回開催実績がある。 評価:天候により実施可否を左右されてしまうという課題について、柔軟に対応することができたと評価する。	4	8	新規会場での参加者の確保が課題となっている。引き続き周知を徹底していく。	第一カッターきいろ公園(中央公園) 小出支所 ハマミーナ 浜須賀会館	実績値の内訳 ①公園体操(中央公園)8回/10回 ②公園体操IN屋内3回×3会場=9回
				R7	実施回数	44	36	82	3	無	実施内容:中央公園で開催する公園体操について、6月は雨天・7月は熱中症警戒アラート発令のため中止となった。昨年度より開始した屋内版の公園体操については、予定どおり実施した。 評価:実施した全ての回で、高齢者支援リーダーと参加者の介護予防の取組を実施できた。天候等の影響により中央公園を会場とした公園体操が中止となった月があったが、参加者の安全を確保しながら実施できたと評価する。	4	7	新規参加者の確保を目的とした広報を実施する。	第一カッターきいろ公園(中央公園) 小出支所 ハマミーナ 浜須賀会館	実績の算出日: R8.2.15 算出日以降の実施 予定回数:中央公園 1回、屋内版 5回

通し 番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合 はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考
					指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意見 を踏まえて評価を 記入 ※「無」の場合は実施 者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果が あったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				
6	健康に関するイベントや教室	こども育成相談課	事業名:たまごクラス	R5	参加者数	485	593	100	4	有	実施内容: (ママの日)妊婦中の生活、食事、口腔ケア等について、保健師・助産師・栄養士・歯科衛生士から講義を行い、基本的な知識の普及をした。 (パパママの日)保健師による指導を中心とした、父母でのグループワーク、オムツ替え等の体験を通して、子育ての基本的な知識の普及を行った。 評価:妊婦期の過ごし方や育児のイメージについて知識を普及することができた。	3	7	人気な講座のため、キャンセル待ちが多く発生している。今年度は対応策を検討しつつ、引き続き実施する予定である。	地域医療センター	目標値の内訳 (ママの日)85人 (パパママの日)200組 実績値の内訳 (ママの日)102人 (パパママの日)248組 (ママ247人、付き添い244人)
			実施内容:(ママの日)妊娠中の生活、食事、口腔ケア等についての基本的な知識の普及を行う。 (パパママの日)父母でのグループワーク、オムツ替え等の体験を通して、子育ての基本的な知識の普及を行う。	R6	参加者数	485	656	100	4	有	実施内容: 令和6年8月開催までは平日開催はママのみ、土曜日開催はパパママを対象とした。9月開催からは平日、土曜日共に参加者を絞らずママのみ、パパママどちらでも可とした。 (平日の日)妊婦中の生活、食事、口腔ケア等について、保健師、助産師、栄養士、歯科衛生士から講義を行い、基本的な知識の普及をした。 (土曜日の日)保健師による指導を中心とした、父母でのグループワーク、オムツ替え等の体験を通して、子育ての基本的な知識の普及を行った。 評価:妊婦期の過ごし方や育児のイメージについて知識を普及することができた。平日、土曜日にパパママの参加可としたことや申込方法を電子にしたことで参加希望者が参加できる機会が増加した	4	8	引き続き妊婦中の生活、食事、口腔ケア等についての基本的な知識の普及を行う。	地域医療センター	
				R7	参加者数	600	609	100	4	有	妊婦期の過ごし方や育児のイメージについて知識を普及することができた。平日、土曜日にパパママの参加可としたことや申込方法を電子にしたことで参加希望者が参加できる機会が増加した	4	8	口腔ケアについては、妊婦歯科健診の受診率が増加してきていることもあり、令和8年度は講義は中止とする。引き続き妊婦中の生活、食事等についての基本的な知識の普及を行う。	地域医療センター	令和8年2月時点
7	健康に関するイベントや教室	健康増進課	事業名:骨の健康度測定会	R5	延べ参加者数	96	87	91	4	有	実施内容:骨ウェーブ(手首)を用いた測定と結果説明、骨の健康を保つための講話を実施した。 評価:食事・運動・日光浴等、測定会に参加して取り組みたい改善ポイントが見つかったと声が多く、日常生活を見直す機会を提供することができた。	4	8	参加者の更なる行動変容を促すために、現在の測定メインの教室から講話メインの教室を企画・実施していく。	保健所	
			実施内容:骨の健康度の測定と専門職(管理栄養士または保健師)による測定結果の解説と骨粗しょう症予防のための講話を実施する。	R6	延べ参加者数	100	115	100	4	有	実施内容:骨ウェーブ(手首)を用いた測定会、管理栄養士と保健師による骨の健康を保つための講話を実施した。 評価:アンケート結果より、自身で取り組みたい食事や運動などの改善ポイントが見つかった方が91%であり、生活習慣を見直すきっかけを提供することができた。	4	8	参加者の更なる行動変容を促すために、専門職から具体的な対策についての講話を企画・実施していく。	保健所	
				R7	延べ参加者数	110	140	100	4	有	実施内容:骨ウェーブ(手首)を用いた測定会、管理栄養士と保健師による骨の健康を保つための講話を実施した。また、対象年齢を設けない教室に加えて、概ね65歳以下と働き世代を対象とした教室を日曜日に開催した。 評価:アンケート結果より、講座で学んだ内容を、今後の生活に取り入れたい方が97%であり、生活習慣を見直すきっかけを提供することができた。	4	8	参加者は高齢者が中心になっており、働き世代の参加が少ないことが課題である。働き世代への情報発信、参加しやすい環境づくりを検討する。	保健所、市役所	

通し 番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合は その他)	担当課	事業名と内容	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考	
				年度	指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意 見を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実 施者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果が あったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)					評価点 ②
8	健康に関するイベントや教室	健康増進課	<p>事業名:高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施(ポピュレーションアプローチ)</p> <p>実施内容:「高齢者のいきいき健康教室」を13圏域でそれぞれ1回ずつ通いの場からの依頼により実施する。保健師・管理栄養士・健康運動指導士・歯科衛生士によるフレイル予防や高齢者の健康に関する健康講話や運動、各職種による健康相談、測定を実施する。</p>	R5	実施回数	18	23	100	4	有	<p>実施内容:保健師・管理栄養士・健康運動指導士・歯科衛生士による「高齢者のいきいき健康教室」を市内13圏域でそれぞれ1回ずつ実施。さらに、地域サロン等通いの場からの依頼による健康教室を実施。</p> <p>評価:市民活動サポートセンター等への事業周知を行い、地域サロン等からの依頼が10件となり、フレイル予防を広く普及啓発することができた。</p>	4	8	より多くの市民にフレイル予防を普及啓発するため、13圏域でそれぞれ1回開催することに加え、市役所本庁舎での開催を1回増やし、商業施設での開催も実施していく。	市内13圏域の公共施設 市内商業施設(そら湘南茅ヶ崎) 地域サロン等の活動場所	
				R6	実施回数	25	27	100	4	有	<p>実施内容:保健師・管理栄養士・健康運動指導士・歯科衛生士による「高齢者のいきいき健康教室」を市内13圏域で実施すると共に、市内商業施設で「健康長寿のための講話と測定会」を開催した。さらに、食生活に課題を抱えている高齢者がいることを鑑み、高齢者向け「食生活見直しセミナー」を開催した。それに加え、地域サロン等通いの場からの依頼による健康教室を実施。</p> <p>評価:75歳以上の市民に通知するがん検診等の受診券に事業の案内チラシを同封することで、13圏域で開催する事業への参加者数も向上した。さらに、13圏域で各1回ずつ開催することに加え茅ヶ崎地区(市役所本庁舎)での開催を1回増やしたことや、商業施設で「健康長寿のための講話と測定会」の開催、高齢者向け「食生活見直しセミナー」を開催することで、実施回数が向上した。地区社会福祉協議会や茅ヶ崎市民活動サポートセンターへ事業説明を行ったことにより、地域サロン等の既存の高齢者の通いの場からの依頼件数が向上した。</p>	4	8	各種検診の受診券に事業の案内チラシを同封することや地区社会福祉協議会等への事業説明を継続していく。高齢者の健康づくりをより推進することができる内容を検討していく。	市内13圏域の公共施設 市内商業施設(そら湘南茅ヶ崎) 地域サロン等の活動場所	
				R7	実施回数	25	28	93	4	有	<p>実施内容:保健師・管理栄養士・健康運動指導士・歯科衛生士による「高齢者のいきいき健康教室」を市内13圏域で実施すると共に、市内商業施設で「健康長寿のための講話と測定会」を開催した。さらに、食をメインとした「食生活見直しセミナー」及び運動をメインとした「歩き方チェック教室(歩行分析)」を開催した。それに加え、地域サロン等通いの場からの依頼による健康教室を実施。</p> <p>評価:75歳以上の市民に通知するがん検診等の受診券に事業の案内チラシを同封することで、新規参加者の勧誘の効果が得られた。13圏域でそれぞれ1回ずつ開催については、参加者が参加しやすい会場の選定を行った。商業施設での開催では、フレイルを知らなかった方に知ってもらえなかった。また、高齢者向け「食生活見直しセミナー」と「歩き方チェック教室」をそれぞれ開催し、食及び運動を具体的に組みこんでもらうことができる取組みとなった。地区社会福祉協議会や茅ヶ崎市民活動サポートセンターへ事業説明を行った。</p>	4	8	次年度からは、高齢福祉課に移管していくこととなる。(変更)	市内13圏域の公共施設 市内商業施設(そら湘南茅ヶ崎) 地域サロン等の活動場所	次年度からは、高齢福祉課に移管していくこととなる。

通し番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた改善点	実施場所	備考
					指標	目標値	実績値	指標の達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有無 ※「有」の場合は意見を踏まえて評価を記入 ※「無」の場合は実施者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果があったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				
9	健康に関するイベントや教室	健康増進課	事業名:糖尿病予防イベント 実施内容:糖尿病予防に関する講演会等を実施する。	R5	参加者数	50	49	98	4	有	実施内容:茅ヶ崎市立病院と共催で講演会、血糖値測定、健康相談などを実施した。 評価:各専門職(医師、歯科口腔外科医・歯科衛生士、管理栄養士、理学療法士、薬剤師)から糖尿病予防に関する講演を聞くことができ、参加者の満足度が高かった。	4	8	イベント周知に合わせて、その他期間でも糖尿病予防に関する周知を実施していく。	市役所	
				R6	参加者数	50	50	100	4	有	実施内容:茅ヶ崎市立病院、保険年金課と連携し、各医療専門職による講演会(医師、歯科口腔外科医・歯科衛生士、管理栄養士、理学療法士)、血糖測定、健康相談などを実施した。 評価:各専門職からの講演により、糖尿病の理解を深める機会を提供できた。医師等による個別相談により、日頃の疑問を解消する機会を提供できた。	4	8	3課での事前打合せ等を密に行い、講演内容の更なる充実を目指していく。	市役所	
				R7	参加者数	50	41	82	3	有	実施内容:茅ヶ崎市立病院、保険年金課と連携し、各医療専門職による講演会(医師、歯科口腔外科医・歯科衛生士、管理栄養士、理学療法士)、血糖測定、健康相談などを実施した。 評価:各専門職からの講演により、糖尿病の理解を深める機会を提供できた。医師等による個別相談により、日頃の疑問を解消する機会を提供できた。	4	7	当日のキャンセル等があり、参加者が定員を下回った。今後は当日キャンセル等を想定した参加者管理や対応を検討する。	市役所	
—	健康に関するイベントや教室	小和田公民館	事業名:スキンケア、メイク講座 実施内容:花王との連携事業として、南湖公民館をメイン会場として小和田公民館はZOOM参加	R5	参加者数	10	0	0	—	無	実施内容: 評価:	—	—			変更(ZOOMでの実施では伝わりにくい内容であったため、テーマを変更した(通し番号10:おでかけ応援フレイル頻尿予防講座))
				R6	実施予定なし											削除(他事業実施のため)
				R7	他事業開催のため実施なし											削除(他事業実施のため)
10	健康に関するイベントや教室	小和田公民館	事業名:おでかけ応援フレイル頻尿予防講座(スキンケア、メイク講座から変更) 実施内容:花王との連携事業として、南湖公民館をメイン会場として小和田公民館はZOOM参加	R5	参加者数	20	6	30	1	有	実施内容:頻尿、尿漏れの原因と自分でできる予防体操、いざというときの尿もれパッドの使い方 評価:小和田公民館では、4月にも開催し、体操を実践した方から効果があったとの声もいただいた。	3	4	ZOOMでの5館連携に合わせた講座内容とすることが難しかったため、来年度以降はテーマを変えて実施予定。	小和田公民館	
				R6	実施予定なし											削除(他事業実施のため)
				R7	他事業実施のため実施なし											削除(他事業実施のため)

通し 番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合 はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考	
					指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意 見を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実 施者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果が あったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②					
11	健康に関するイベントや教室	小和田公民館	事業名:健康ハイキング 実施内容:歩く楽しさとマナーを学び、ウォーキングで健康増進を図る	R5	参加者数	15	18	100	4	有	実施内容:鎌倉の3大緑地を巡るハイキング 評価:鎌倉の穴場的な緑地を歩くことで、参加者が今後の生活でも活用できるコースを紹介し健康づくりにつながる取組ができた。	4	8	希望者が多く定員を増やして実施、一部参加者にはアップダウンきつく、途中リタイアも出たため、予めコースの歩数だけでなくアップダウンについても情報提供をしていく必要がある。	鎌倉		
				R6	参加者数	15	12	80	3	有	実施内容:海老名駅に集合し、遺跡も含めて周辺を散策した。 評価:他市について知れて楽しかった、いい運動になったなどの感想があった。 普段あまりわざわざ行かない場所を選んだことで、参加者の満足度の高い講座となった。	3	6	定員に満たなかったため、引き続き積極的な広報をします。	海老名		
				R7	参加人数	15	13	87	3	有	実施内容:一夜城を中心に若葉の小田原を散策し、季節の草木や自然の美しさを楽しみながらハイキングした。 評価:少しきつい行程だった、健康のために歩くことは必要だと理解していても一人では難しいのでみんなで歩いて楽しかった、心と体の健康づくりにつながった。 など参加者からの感想があった。	3	6	引率者の歩くスピードがやや遅く、後方の参加者と距離が空いてしまうことがあった。 途中で自己都合で別行動・離脱する方がいたため、予め市民活動保険が適用にならない可能性を説明しておいたほうがよい。 休憩予定の博物館や、お土産屋さんがお休みだったため、行程が一部変更となった。直前に休業等の情報を再確認しておく必要がある。	小田原周辺	18名の申込があったが、身内の不幸等による当日キャンセルが多くあった。	
12	健康に関するイベントや教室	小和田公民館	事業名:尿意切迫・頻尿の悩み改善と予防講座 実施内容:花王との連携事業として実施、尿漏れの原因、予防改善の体操、対処方法など	R5	参加者数	20	28	100	4	有	実施内容:尿漏れの原因と種類、予防の体操、対策として尿もれパッドの使い方など。 評価:定員を増やして実施、アンケートでも約8割の方が生活に取り入れてみたいことがあったと回答。	4	8		小和田公民館		
				R6	実施予定なし												削除(他事業実施のため)
				R7	他事業実施のため実施なし												削除(他事業実施のため)

通し 番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合 はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考
					指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意 見を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実 施者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果が あったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				
13	健康に関するイベントや教室	小和田公民館	事業名:元気アップ体操 実施内容:楽しい体操で健康増進を図る。年11回開催	R5	延べ参加者数	200	220	100	4	無	実施内容:5月から月1回、年11回実施、筋トレと音楽に合わせた体操を隔月で実施。 評価:申し込み無し、定員30名としたところ雨の日以外は20名以上の参加があった。コロナで外出が減っていたため体操教室の再開を待っていたという方が多い。	4	8	6年度は12回の開催としたい。	小和田公民館	
				R6	延べ参加者数	220	182	83	3	無	実施内容:4月から月1回、年12回実施、筋トレと音楽に合わせた体操を隔月で実施。 評価:固定化された参加者により一定数参加はあった。	3	6	新規参加者の開拓が課題である。広報の方法を検討します。	小和田公民館	
				R7	延べ参加者数	220	176	80	3	有	実施内容:4月から月1回、年12回実施、筋トレと音楽に合わせた体操を隔月で実施。 評価:予約不要で気軽に参加ができること、月によってトレーニング強度が選べることを評価されている。新規も20%程度参加している。	3	6	暑い時期に参加者が減少する傾向があるため、「夏バテ予防に！」など季節に応じた広報を打つことも検討する。	小和田公民館	3月まで毎月実施するため、1月分までの実績値です。
14	健康に関するイベントや教室	小和田公民館	事業名:安全に家庭介護 実施内容:腰を痛めない安全な介護を学ぶ	R5	参加者数	15	19	100	4	有	実施内容:介護事業者を講師に実際にベッドを使用して、体位の交換、立ち上がりや、車いすへの異動など、介護者に負担の無い動きについて指導。 評価:参加者の満足度は80%以上、介護を実際にしている方が多いが、これからのための受講も促したい。	4	8	女性が9割、介護実施者が多いため、男性にも参加いただくよう工夫したい。	小和田公民館	
				R6	参加者数	15	0	0	1	無	実施内容: 評価:	1	2	中止		中止(他事業実施のため)
				R7	他事業実施のため実施なし											

通し 番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合は その他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考	
					指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意 見を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実 施者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果が あったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②					
15	健康に関するイベントや教室	小和田公民館	事業名:脳トレコグニサイズ 実施内容:認知症予防や改善に効果のあるといわれるコグニサイズを学ぶ	R5	参加者数	20	0	0	1	無	実施内容: 評価:	1	2			中止(講師都合のため)	
				R6	実施予定なし												削除(講師を確保できなかったため)
				R7	講師の確保が難しいため実施なし												削除(他事業実施のため)
16	健康に関するイベントや教室	鶴嶺公民館	事業名:簡単エクササイズ講座 実施内容:シニアを対象に、老化防止(アンチエイジング)を目的とした運動や、肩こりや腰痛を予防する運動など、継続しやすいトレーニングやエクササイズを学ぶ講座を実施する。	R5	実施回数	2	1	50	2	有	実施内容:シニアを対象に、老化防止(アンチエイジング)を目的とした運動や、肩こりや腰痛を予防する運動など、継続しやすいトレーニングやエクササイズを学ぶ講座を4週連続で実施した。 評価:アンケートの「これからも自分の体の状態を自覚し運動を続けていきますか」という問いに対し、全員が「続ける」「できるだけ続ける」と回答し、シニアがフレイル予防に取り組める実践的な講座を実施することができた。	3	5	今後も、シニアの実践的な運動習慣の習得に関する事業として継続して開催する。	鶴嶺公民館	実施回数減少の理由(講師の都合)	
				R6	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:シニアを対象に、老化防止(アンチエイジング)を目的とした運動や、肩こりや腰痛を予防する運動など、継続しやすいトレーニングやエクササイズを学ぶ講座を3週連続で実施した。 評価:アンケートの「これからも自分の体の状態を自覚し運動を続けていきますか」という問いに対し、全員が「これからも続ける」「続けるよう努力する」と回答し、シニアがフレイル予防に取り組める実践的な講座を実施することができた。	4	8	今後も、シニアの実践的な運動習慣の習得に関する事業として継続して開催する。	鶴嶺公民館		
				R7	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:シニアを対象に、老化防止(アンチエイジング)を目的とした運動や、肩こりや腰痛を予防する運動など、継続しやすいトレーニングやエクササイズを学ぶ講座を3週連続で実施した。 評価:アンケートの「これからもトレーニングを続けていこうと思いますか」という問いに対し、全員が「続けていきます」「続けるよう努力します」と回答し、運動の習慣化を意識づける講座を実施することができた。	4	8	今後も、シニアの実践的な運動習慣の習得に関する事業として継続して開催する。	鶴嶺公民館		

通し 番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考
					指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意見 を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実 施者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果が あったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				
17	健康に関する イベントや 教室	鶴嶺公民館	事業名:肩こり・腰痛予防改善講座 実施内容:生活習慣の改善を目的に、肩こり・腰痛のメカニズムを知り、実際に身体を動かしてセルフケアのポイントを習得する講座を実施する。	R5	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:生活習慣の改善を目的に、肩こり・腰痛のメカニズムを知り、実際に身体を動かしてセルフケアのポイントを習得する講座を実施した。 評価:「不調なところは無理せず行うことが出来て良かったです。身体の部分は色々な所に通じていることが分かりました。」などの意見をいただき、自身の身体と向き合い、生活習慣による不調を予防する講座を実施することができた。	4	8	今後も、生活習慣の改善・予防に関する事業として継続して開催する。	鶴嶺公民館	
				R6	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:生活習慣の改善を目的に、腰痛・肩こり・腰痛のメカニズムを知り、実際に身体を動かしてセルフケアのポイントを習得する講座を実施した。昨年実施後のニーズを踏まえ、腰痛についても内容に盛り込んだ。 評価:「家で続けていきたい」などの意見をいただき、自身の身体と向き合い、生活習慣による不調を予防する講座を実施することができた。	4	8	今後も、生活習慣の改善・予防に関する事業として継続して開催する。	鶴嶺公民館	
				R7	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:生活習慣の改善を目的に、腰痛・肩こり・腰痛のメカニズムを知り、実際に身体を動かしてセルフケアのポイントを習得する講座を実施した。昨年実施後のニーズを踏まえ、腰痛についても内容に盛り込んだ。 評価:「家でも続けていきたい」などの意見を多数いただき、今回の講座で自身の身体と向き合う機会を創出でき、体調不調を予防する講座を実施することができた。	4	8	今後も、生活習慣の改善・予防に関する事業として継続して開催する。	鶴嶺公民館	
18	健康に関する イベントや 教室	鶴嶺公民館	事業名:体幹を鍛えるピラティス講座 実施内容:コロナ禍の運動不足解消を目的に、ピラティスの基本動作や、インナーマッスルを鍛え、姿勢の改善する動作を習得する講座を実施する。	R5	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:運動不足解消を目的に、ピラティスの基本動作や、インナーマッスルを鍛え、姿勢の改善する動作を習得する講座を実施した。 評価:「楽しくできたので、自宅で続けたい。」などの意見をいただき、運動習慣の契機となる講座を実施することができた。	4	8	今後も、運動不足解消に関する事業として継続して開催する。	鶴嶺公民館	
				R6	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:運動不足解消を目的に、ピラティスの基本動作や、インナーマッスルを鍛え、姿勢の改善する動作を習得する講座を実施した。 評価:「普段、全く運動をしていないので、とてもためになりました。」などの意見をいただき、運動習慣の契機となる講座を実施することができた。	4	8	今後も、運動不足解消に関する事業として継続して開催する。	鶴嶺公民館	
				R7	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:運動不足解消を目的に、ピラティスの基本動作や、インナーマッスルを鍛え、姿勢の改善する動作を習得する講座を実施した。 評価:参加者を実施したアンケートで、「今回のピラティスを自宅でも続けますか?」という設問に対し、90%が「続ける」と回答があり、自身の健康に対する意識の醸成を図ることができた。	4	8	今後も、運動不足解消と健康維持に関する事業として継続して開催する。	鶴嶺公民館	

通し 番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合 はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考	
					指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意見 を踏まえて評価を記入 ※「無」の場合は実施 者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果が あったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②					
19	健康に関するイベントや教室	松林公民館	事業名:演歌ピクス 実施内容:演歌のリズムに合わせて軽いエアロピクスを行う。	R5	実施回数	1	2	100	4	有	実施内容:高齢者を対象に演歌のリズムに合わせて軽いエアロピクス運動を行う。 評価:リズムに合わせての出しもOKな内容であったため、参加者の評価が高かった。	4	8	内容に変化を持たせながら、引き続き開催予定。	松林公民館		
				R6	実施回数	2	2	100	4	有	実施内容:高齢者を対象に演歌のリズムに合わせて、軽いエアロピクス運動を行う。 評価:高齢者に合わせた内容であったため評価が高かった。	4	8	内容に変化をもたせるようにする。	松林公民館		
				R7	実施回数	2	2	100	4	有	実施内容:高齢者を対象に演歌のリズムに合わせて、軽いエアロピクス運動を行う。 評価:高齢者に合わせた内容であったため評価が高かった。	4	8	同じ内容とならないよう内容に変化をもたせる。	松林公民館		
20	健康に関するイベントや教室	松林公民館	事業名:親子で体操 実施内容:親子でエアロピクス体操を行う。	R5	実施回数	1	0	0	1		実施内容: 評価:	1	2		松林公民館	中止(予定していた講師の都合がつかず、開催条件にある会場が確保できないことにより、開催継続は難しいと判断)	
				R6	実施なし												削除(開催事業に選定されなかったため)
				R7	選定されなかったため実施なし												削除(開催事業に選定されなかったため)
21	健康に関するイベントや教室	松林公民館	事業名:シニアのためのチェアヨガ 実施内容:椅子に座ったまま無理のないヨガ運動を行う。	R5	実施回数	2	2	100	4	有	実施内容:椅子に座ったまま、自分の呼吸で自分の身体と向き合い、無理のないヨガを体験する。 評価:サークル化の話が出るくらい評価が高かった。	4	8	連日の猛暑続きだったため、開催時間の精査が必要。	松林公民館		
				R6	実施回数	2	2	100	4	有	実施内容:椅子に座ったまま、自分の呼吸で自分の身体と向き合い、無理のないヨガを体験する。 評価:定員を超える申し込みがあり、非常に人気の講座である。	4	8	6月開催でも非常に暑かったため、もう少し涼しい時期に移行予定。	松林公民館		
				R7	講師の都合により実施なし												削除(他事業実施のため)
22	健康に関するイベントや教室	松林公民館	事業名:鍼灸師が教える簡単ストレッチ 実施内容:中医学に基づき、鍼灸師によるストレッチを学ぶ。	R5	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:中医学に基づき、鍼灸師によるツボ押し、血行を良くするストレッチを学んだ。 評価:慢性的な不調をそのままにすることなく、自分の身体に向き合い、健康意識を高めることが出来た。	4	8	簡単なストレッチなので、講師と内容を精査していく。	松林公民館		
				R6	実施回数	1	0	0	1	無	実施内容: 評価:	1	2	中止		中止(講師の都合のため)	
				R7	選定されなかったため実施なし												削除(開催事業に選定されなかったため)

通し 番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合は その他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考		
					指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意 見を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実 施者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果が あったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②						
23	健康に関するイベントや教室	松林公民館	事業名:健康ハイキング 実施内容:協力団体のガイドによる、山等へのハイキングを行う。	R5	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:森林の澄んだ空気や、美しい眺めを堪能し、歩くことで有酸素運動による健康作りを行った。 評価:歩く楽しさを感じながら、有酸素運動による運動不足解消につながった。	4	8	天候の影響を受けるため、開催時期等の精査が必要。	秦野市 震生湖周辺			
				R6	実施なし													削除(開催事業に選定されなかったため)
				R7	選定されなかったため実施なし													
24	健康に関するイベントや教室	松林公民館	事業名:健康講座 実施内容:シニア世代に特化した健康講話。	R5	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:睡眠と健康についての正しい知識を学び、各種健康測定機器を体験して自分の健康状態を知ることが出来た。 評価:健康チェックで自分の状態を知ることにより、生活習慣病等の予防につながった。	4	8	血管年齢測定に時間がかかり、講演時間が短くなってしまった。	松林公民館			
				R6	実施回数	2	2	100	4	有	実施内容:乳がん、骨密度、血管年齢について学ぶ 評価:参加者の多くが大変興味を示され、質問も多数行われ、大変好評であった。	4	8	内容が重ならないように講座内容の検討が必要	松林公民館			
				R7	実施回数	1	2	100	4	有	実施内容:骨粗しょう症予防講座 軽度認知障害(MCI)講座 評価:参加者の多くが大変興味を示され、質問も多数行われ、大変好評であった。	4	8	内容が重ならないよう講座内容を検討する。	松林公民館			
25	健康に関するイベントや教室	松林公民館	事業名:親子パフォーマンスアップ準備運動講座 実施内容:元トライアスロン選手に学ぶ親子での運動講座。	R5	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:運動のパフォーマンスを向上させ、怪我をしないようにするための準備運動を学ぶ。 評価:運動が苦手な子どもでも、楽しんでスポーツが出来るよう、親子で正しいストレッチを学んだ。	4	8	バランスゲームをするにあたり、部屋が少し狭かった。	松林公民館			
				R6	実施回数	1	0	0	1	無	実施内容: 評価:	1	2	中止		中止(講師の都合のため)		
				R7	選定されなかったため実施なし													削除(開催事業に選定されなかったため)

通し 番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合 はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考		
					指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意 見を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実 施者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果が あったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②						
26	健康に関する イベントや 教室	香川公民館	事業名:かがわ健康ウォーク 実施内容:ウォーキングの 楽しさを知り健康増進を図 る。	R5	実施回数	3	3	100	4	有	実施内容:市内の文化人の軌跡をたどる街歩き(2 回)と市外でスケッチを目的とした街歩き(1回) 評価:ウォーキングの楽しさを知り健康増進を図る とともに市内の文化に触れることができた。	4	8	延期が難しい事業のため、雨天時など の中止の有無など判断に迷うことがあ る。	香川公民館			
				R6	実施回数	3	2	67	2	有	実施内容:身近な運動として歩くことを習慣化できる きっかけをつくるため、ゆかりの地を散策する。 評価:文化や歴史を学びながら運動不足の解消を図 り、健康意識の向上につながった。	4	6	歴史や文化の知識を深めるために次 年度は産学を取り入れることを検討す る。	松下政経塾周辺、汐見 台、小田原市	今回は産学を実施しな かったため、実施回数が2 回となった。		
				R7	実施回数	3	3	100	4	有	実施内容:市内の文化人の軌跡をたどる街歩き(2 回)と市外でスケッチを目的とした街歩き(1回) 評価:ウォーキングの楽しさを知り健康増進を図る とともに市内の文化に触れることができた。また、参 加者同士の交流にもつながった。	4	8	スケッチについて夏の猛暑の時期に開 催したため、熱中症等の危険があっ た。開催時期を検討する。	鎌倉、市内東南部、市内 北部			
27	健康に関する イベントや 教室	香川公民館	事業名:シニアのための保健 体育 実施内容:高齢者の健康づく りと交流、高齢者支援リー ダーの活躍の場。	R5	実施回数	10	10	100	4	有	実施内容:高齢者の健康づくりと交流の場の提供 評価:体操を通じて、高齢者の健康づくりを行い、ま た、交流の場として実施ができた。	4	8	リピーターが多く参加いただいている が、毎回の参加人数が限られているた め、需要に対してどこまで対応できるか が課題となる。	香川公民館			
				R6	実施回数	10	10	100	4	有	実施内容:高齢者の健康づくりと交流の場の提供 評価:体操を含む体を動かす運動を行い、高齢者の 健康づくり推進や交流の場とすることができた。	4	8	毎回参加者がほぼ変わらないため、新 規の参加者が少ない。募集の方法や 周知の方法を検討が必要。	香川公民館			
				R7	実施回数	10	10	100	4	有	実施内容:高齢者の健康づくりと交流の場の提供 評価:運動を通じて、高齢者の健康づくりを行い、ま た、交流の場として実施ができた。 新たな取り組みとして、運動前に防犯講座や食育講 座を計3回実施。こちらも参加者から好評だった。	4	8	前年度に比べ、参加者が少し減少傾向 のため、周知を積極的に行う。	香川公民館			
28	健康に関する イベントや 教室	香川公民館	事業名:くらしの中の血流改 善講座(5館連携) 実施内容:健康、衛生等分野 における課題解決にむけた 講座。	R5	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:血流改善が健康に及ぼす影響について学 ぶ。 評価:血流改善の重要性を学んだ。	4	8	公民館5館をつないでの講座であつた が、Wi-Fi環境がよくなく、通信が不安定 となり、サテライト会場の一部講座が見 れないことがあつた。通信機器の確認 を徹底する。	香川公民館			
				R6	実施予定な し													削除(毎年実施内容を変 更するため)
				R7	他事業実施 のため実施 なし													削除(毎年実施内容を変 更するため)

通し 番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合は その他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考		
					指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意見 を踏まえて評価を 記入 ※「無」の場合は実施 者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果が あったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②						
29	健康に関するイベントや教室	体験学習センター	事業名:歩き方教室 実施内容:姿勢・歩き方の基本を学び健康寿命を延ばすことを目的に講座を実施する。	R5	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:シニアの方々が美しい姿勢や正しい歩き方を日常生活に取り入れることにより、身体に必要な筋力や持久力がつきアンチエイジング効果が得られ、健康寿命を延ばすことが期待できる内容で、講習前と後にビデオ撮影し自分のスタイルを確認できる講座スタイルで実施した。 評価:「事前、事後の違いを実感できてとても満足」と多くの参加者からの意見があり、成果は上がった。	4	8	講師が受講生の質問を一人ずつ丁寧に受けてくださったため、時間がかかり10分程度延長してしまっ。質問時間を早めに切り上げていただき終了後、個別に受けていただくなど願えば良かったと思う。	体験学習センター			
				R6	記載なし (制度変更による)													施設の指定管理制度導入のため、記載対象外とする (事業は継続実施)
				R7	記載なし (制度変更による)													
30	健康に関するイベントや教室	体験学習センター	事業名:3B体操教室 実施内容:気軽に楽しめる「3B体操」を体験することで、身体能力の向上や健康意識を高めることを目的に講座を実施する。	R5	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:体力的、身体的に不安を抱えている方もいるが、各自のペースで無理なく行うことができ、途中で体調不良を訴えることもなく無事に終了した。 評価:これを機に本格的に始めてみたい、また有意義な時間だったと意見が多く主体的な継続性が見込まれ成果は高かった。	4	8	シニアの方が対象なので、スローペースでまめに休憩を取り水分補給しながら実施したが、2時間が長いと感じる方もいたので、体験と称するのであれば1時間位の方が気軽に参加でき妥当であったと思う。	体験学習センター			
				R6	記載なし (制度変更による)													施設の指定管理制度導入のため、記載対象外とする
				R7	記載なし (制度変更による)													施設の指定管理制度導入のため、記載対象外とする
31	健康に関する普及啓発(学校教育などを含む)	保健企画課	事業名:禁煙サポート事業 実施内容:喫煙の健康影響について考えるきっかけづくりとして、相手の求めに応じて喫煙防止教育を行う。	R5	-	-	-	-	-	無	実施内容:健康教育開催の依頼は無かった。 評価:禁煙教育に対するニーズが低下しているため、今後も事業手法の検討が必要。	-	-	健康教育の依頼が到達した場合は実施できるような体制を継続していく。			指標ないため、評価なし	
				R6	依頼に対する実施率	100	0	0	1	無	実施内容:健康教育開催の依頼はなかった。 評価:禁煙教育に対するニーズが低下しているため、開催依頼がなかった。	1	2	令和5年度「国民健康・栄養調査」の結果から、現在習慣的に喫煙している者の割合は15.7%であり、この10年間で男女ともに有意に減少している。このことから、事業の継続についてを検討する時期に来ている。			全国的な喫煙者の減少から一定の教育効果はあったとして、令和7年度以降の事業実施は見合わせる。	
				R7	実施なし													削除(令和7年度以降の事業実施見合わせのため)

通し 番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合は その他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考
					指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意見 を踏まえて評価を 記入 ※「無」の場合は実施 者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果が あったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				
32	健康に関する普及啓発 (学校教育 などを含む)	地域保健課	事業名:栄養表示等普及啓 発及び活用推進事業 実施内容:消費者に対し栄養 成分表示の活用推進を実施 する。	R5	指導リーフ レット配架部 数	270	270	100	4	無	実施内容:消費者に対し栄養成分表示の活用推進を 実施した。 評価:活用推進のリーフレットについて新たに他の テーマの物2種類(①たべすぎた②どれにしようかな) を作成し、過去に作成した物と共に配布することで啓 発と啓発をした。また、リーフレットについては、ホーム ページにも掲載があり、必要に応じてダウンロードで できるようにした。	4	8	現在の配架場所は市政情報コーナー のみのため、公民館等へ配架場所拡 大をするとともに、実地調査時には事 業所へ配付し、更なる活用推進を図 る。	市政情報コーナー	
				R6	指導リーフ レット配架部 数	420	676	100	4	無	実施内容:消費者に対し栄養成分表示の活用推進を 実施した。 評価:配架場所を増やし、より多くの市民がリーフレ ットを目にする機会を作った。6種類のリーフレットを配 架することでそれぞれの興味に合わせた内容で栄養 成分表示の活用の普及啓発ができるようにした。ま た、市民を対象とした栄養成分表示の活用の講話も 実施できた。リーフレットについては、ホームページ にも掲載があり、必要に応じてダウンロードできるよ うにした。	4	8	リーフレットの配架に加え、講話依頼時 にも内容によっては栄養成分表示の活 用も絡めた話をし、より広く普及啓発を 図る。また、必要に応じて、実地調査時 に事業所等へ配付し、更なる活用推進 を図る。	市政情報コーナー 公民館5施設(小和田、鶴 嶺、松林、南湖、香川) 市体育館 男女共同参画推進セン ターいこりあ	
				R7	指導リーフ レット配架部 数	420	390	93	4	無	実施内容:消費者に対して栄養成分表示の活用推進 を実施した。 評価:栄養成分表示の活用推進を目的として作成し た6種類のリーフレットを公民館5施設、総合体育館、 市体育館、市役所市政情報コーナーに配架すること で、より多くの市民がリーフレットを目にする機会を 作った。また、給食施設の実地調査時に事業所へ リーフレットを配布することができた。リーフレットは、 ホームページにも掲載があり、必要に応じてダウン ロードできるようにしている。	3	7	リーフレットの配架に加え、講話依頼時 にも内容によっては栄養成分表示の活 用も絡めた話をし、より広く普及啓発を 図る。令和7年度はリーフレット配架開 始が遅れてしまったため、配架部数が 目標を下回ってしまった。次年度以降 は年度初めにリーフレットの配架が開 始できるように努める。	市政情報コーナー、公民 館5施設(小和田、鶴嶺、 松林、南湖、香川)、総合 体育館、市体育館	今後、追加配架する 可能性があるため、 数値の修正がある 場合には再入力し、 ご連絡します。
33	健康に関する普及啓発 (学校教育 などを含む)	保健予防課	事業名:自殺対策推進事業 実施内容:自死(自殺)に対 する偏見や誤解をなくし、正 しい理解を深めることを目的 に、キャンペーンなどを実施 する。	R5	実施回数	2	2	100	4	無	実施内容:市民ふれあいプラザにおける自殺対策の 展示、市民祭りにおける普及啓発 評価:令和5年9月ティッシュ付き普及啓発物を約3 00部配布できたため一定の普及啓発はできたと考え る。	4	8	展示の他、講演会などを実施し、幅広 い世代に向けて普及啓発を実施してい く。	市役所	
				R6	実施回数	2	2	100	4	無	実施内容:9月「自殺予防週間」、3月「自殺対策強化 月間」では、市のホームページ、本庁舎1階のディ ジタルサイネージ、SNS配信を活用して、自殺への誤解や 偏見を無くすため、正しい知識の普及啓発を行った。 評価:本庁舎1階のデジタルサイネージ、SNS配信に より幅広い世代に普及啓発ができた。	4	8	展示の他、講演会などを実施し、幅広 い世代に向けて普及啓発を実施してい く。	市役所	
				R7	実施回数	2	2	100	4	無	自殺予防週間での市民ふれあいプラザを活用し、 チラシやティッシュ配布等での相談窓口の周知。 自殺対策強化月間でのデジタルサイネージを活用し た相談先の周知、市役所及び関係機関へのポスター の配架。	4	8	特になし。	市役所、公民館や図書館 など公共施設等	
34	健康に関する普及啓発 (学校教育 などを含む)	健康増進課	事業名:健康増進普及月間 の啓発 実施内容:展示やホーム ページ、広報紙等を活用し、 健康増進に関する普及啓発 を実施する。	R5	実施回数	1	1	100	4	無	実施内容:健康増進に関するポスター展示及び資料 を配架した。 評価:運動、睡眠、生活習慣病などさまざまなテーマ を扱うことができた。9月は食生活改善普及運動月間 でもあるため、食事に関するポスターも合わせて展示 し、健康増進をより図ることができた。	4	8	今後もさまざまな媒体を用いて啓発し、 目を引くような媒体を作成し、周知す る。	市役所	
				R6	実施回数	1	1	100	4	無	実施内容:健康増進に関するポスター展示及び資料 を配架した。 評価:運動、睡眠、生活習慣病、禁煙、食生活改善な どさまざまなテーマを扱うことができた。ガイドライン の公表に伴い、新たなポスターを作成し、新しい情報 を周知することができた。	4	8	今後もさまざまな媒体を用いた啓発し、 目を引くようなポスター等を作成し、周 知する。	市役所	
				R7	実施回数	1	1	100	4	無	実施内容:健康増進に関するポスター展示及び資料 を配架した。 評価:運動、睡眠、生活習慣病、禁煙、食生活改善な どさまざまなテーマを扱うことができた。	4	8	今後もさまざまな媒体を用いて啓発し、 目を引くような媒体を作成し、周知す る。	市役所	

通し 番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合は その他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考
					指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意見 を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実施 者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果が あったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				
35	健康に関する普及啓発 (学校教育 などを含む)	健康増進課	事業名:健康に関する普及 啓発(項目:熱中症、女性の 健康、休養/心、禁煙、糖尿 病) 実施内容:各項目において展 示やサイネージ等を活用し、 普及啓発を実施する。	R5	実施項目数	5	5	100	4	無	実施内容:女性の健康、休養/心、禁煙、糖尿病につ いて、展示を実施した。熱中症は、予防の啓発、職員 向け熱中症対策研修を実施した。 評価:ポスター展示と合わせて、資料を配架し、健康 情報を持ち帰ることができるようにした。協定を締結し ている大塚製薬株式会社と連携し、熱中症予防に関 する啓発、研修を実施できた。	4	8	熱中症対策研修については、市民、地 域で活動されている方、施設管理関係 者などを主な対象とし、更なる熱中症対 策・対応の知識定着を目指す。	市役所 地域医療センター	
				R6	実施項目数	5	5	100	4	無	実施内容:女性の健康、休養/心、禁煙、糖尿病につ いて、展示を実施した。熱中症は、予防の啓発、市 民、地域で活動されている方、施設管理関係者など 向けに熱中症対策研修を実施した。女性の健康週間 では、更年期をテーマとしたセミナー、血圧測定・健康 相談会を実施した。 評価:ポスター展示と合わせて、資料を配架し、健康 情報を持ち帰ることができるようにした。協定を締結し ている大塚製薬株式会社と第一生命保険株式会社と 連携し、普及啓発を実施できた。	4	8	熱中症対策研修については、一般市民 を対象とする。また、前年度の研修受 講者を対象に熱中症対策スキルアップ 講座を開催し、スキル維持、活動を支 援し更なる熱中症対策の普及啓発を目 指す。	市役所	
				R7	実施項目数	5	5	100	4	無	実施内容:女性の健康、休養/心、禁煙、糖尿病につ いて、展示を実施した。熱中症対策研修、熱中症スキ ルアップ講座を実施した。女性の健康週間では、更年 期をテーマとしたセミナー、健康測定会・健康相談会 を実施した。 評価:ポスター展示と合わせて、資料を配架し、健康 情報を持ち帰ることができるようにした。協定を締結し ている大塚製薬株式 会社、茅ヶ崎市薬剤師会と連携し、普及啓発を実施 できた。	4	8	熱中症対策については、暑熱順化を体 験的に実施する教室を開催する。対象 者、実施方法を工夫し、より効果的な熱 中症対策の普及啓発を目指す。	市役所	
36	健康に関する普及啓発 (学校教育 などを含む)	学校教育指 導課	事業名:生活習慣の改善に 向けた取組 実施内容:「生きる力を育む 健康教育～早寝早起き朝こ はん～」というスローガンを掲 げ、「毎日朝食を食べる子10 0%」を目指した取組を推進 する。	R5	実施学校数	32	32	100	4	無	実施内容:「早寝早起き朝ごはんアンケート調査」対 象児童・生徒(小学校4年生・中学2年生) 評価:アンケートでは、朝食の喫食率や食事の内容に ついて状況を把握し、各家庭で「食」におけるコミュニ ケーションのきっかけになる資料を各家庭に配布し た。	3	7	Googleフォームを活用して、アンケート 調査を行う。学校に負担をかけないよう な日程で調整する。	市立小学校19校 市立中学校13校	
				R6	実施学校数	32	32	100	4	無	実施内容:「早寝早起き朝ごはんアンケート調査」対 象児童・生徒(小学4年生・中学2年生) 評価:アンケートでは、朝食の喫食率や食事の内容に ついて状況を把握し、各家庭で「食」におけるコミュニ ケーションのきっかけになる資料を各家庭に配布し た。	3	7	Googleフォームを活用して、アンケート 調査を行うとともに、学校に負担をかけ ないような日程で調整する。	市立小学校19校 市立中学校13校	
				R7	実施学校数	32	32	100	4	無	実施内容:「早寝早起き朝ごはんアンケート調査」対 象児童・生徒(小学校4年生・中学2年生) 評価:アンケートでは、朝食の喫食率や食事の内容に ついて状況を把握し、各家庭で「食」におけるコミュニ ケーションのきっかけになる資料を各家庭に配布し た。	4	8	Googleフォームを活用して、アンケート 調査を行うとともに、学校に負担をかけ ないような日程で調整する。	各学校においてオンライ ン	

通し 番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考
					指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意見 を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実施 者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果が あったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				
37	健康に関する相談体制の充実	地域保健課	事業名: 専門的栄養指導・食生活支援事業 実施内容: 各種疾病に伴う個別食生活相談及び訪問食生活相談を実施する。	R5	実施件数	10	7	70	3	無	実施内容: 各種疾病に伴う個別食生活相談を実施した。各種疾病に伴う個別食生活相談について、電話及び対面で実施した。訪問食生活相談については令和5年度は、依頼がなかった。 評価: 個別の食生活相談を実施することで、相談者の食生活支援を行うことが出来た。	4	7	生活習慣病についての相談以外にも、歯科の食事相談や保健予防課(バーキンソン等)から相談依頼があるため、他職種連携の上、取り組む。また、より専門性の高い相談に備え栄養士間で相談内容を共有することや個々の準備を行う。	保健所	
				R6	実施件数	10	4	40	1	無	実施内容: 各種疾病に伴う個別食生活相談を実施した。各種疾病に伴う個別食生活相談について、電話及び対面で実施した。訪問食生活相談については令和6年度は、依頼がなかった。 評価: 個別の食生活相談を実施することで、相談者の食生活支援を行うことが出来た。	4	5	生活習慣病についての相談以外にも、歯科の食事相談や保健予防課(バーキンソン等)から相談依頼があるため、他職種と連携し取り組む。また、より専門性の高い相談に備え栄養士間で相談内容を共有することや個々の準備を行う。	保健所	
				R7	実施件数	10	15	100	4	無	事業内容: 各種疾病に伴う個別食生活相談を電話及び対面で実施した。訪問食生活相談については、令和7年度は1件あった。 評価: 個別の食生活相談を実施することで、相談者の食生活支援を行うことができた。また、歯科職と連携することで、乳幼児の食べ方相談の対応件数が増え、目標値を上回った。	4	8	生活習慣病についての相談以外にも、歯科の乳幼児における食べ方相談や、保健予防課からの難病に関する相談依頼などがあるため、引き続き他職種と連携し取り組む必要がある。また、より専門性の高い相談に備え、担当者間で相談内容を共有することや個々の日ごろからの知識の更新を行う必要がある。	保健所、必要に応じて訪問先	令和8年3月31日いっぱいに対象期間となるため、最終的な実績は令和8年4月1日に再度入力し、ご連絡いたします。
38	健康に関する相談体制の充実	保健予防課	事業名: 酒害相談員によるアルコール個別相談 実施内容: アルコール問題を抱える本人及び家族が早期に支援機関につながらず、アルコール依存症に対する知識、理解を深め、正しい対応について学ぶことを目的として酒害相談員による個別相談を実施する。	R5	個別相談件数	12	5	42	1	無	実施内容: 酒害相談員によりアルコール問題を抱える本人及び家族の個別相談を実施した。 評価: アルコール問題を抱える本人及び家族に対して、アルコール依存症に関する知識、家族としての正しい接し方、対応方法を伝え、個別相談を実施できた。	2	3	周知方法を工夫して、更に対象者に相談の機会を周知できるよう、改善する。	保健所	
				R6	個別相談件数	12	10	83	3	無	実施内容: 酒害相談員によりアルコール問題を抱える本人及び家族の個別相談を実施した。また、「アルコール問題啓発週間」について、今年度初めてSNS媒体を活用し個別相談の周知を行った。 評価: 個々の状況に応じて臨時相談で対応を行い、相談日まで待たせず必要な支援を家族等に提供できた。	4	7	特になし。	保健所	
				R7	事業周知件数	6	12	100	4	無	実施内容: 酒害相談員によるアルコール問題を抱える本人及び家族の個別相談を実施した。寒川広報掲載 6回、茅ヶ崎広報掲載 6回 評価: 相談会の周知を行い、アルコール問題を抱える本人及び家族に対して、アルコール依存症に関する知識、家族としての正しい接し方、対応方法を伝え、個別相談を実施することができた。	4	8	特になし。	広報紙	

通し 番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合は その他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考
					指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意見 を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実 施者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果が あったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				
39	健康に関する 相談体制の 充実	保健予防課	事業名:こころの健康相談 実施内容:こころの健康に関 して相談に応じ、相談体制の 充実を図る。	R5	相談件数	1000	871	87.1	3	無	実施内容:精神科医師によるこころの健康相談につ いて、広報がさがきに記事を掲載、相談の機会を広く 周知し実施した。 評価:精神保健福祉士、保健師で相談者個々に応じ た相談対応を行うことが出来たと考える。	3	6	周知方法や時期を工夫して、更に幅広い 対象者に相談の機会を周知できるよ う、改善する。	保健所	
				R6	相談件数	1000	1019	100	4	無	実施内容:精神科医師によるこころの健康相談につ いて、広報がさがきに記事を掲載し、相談の機会を広く 周知し実施した。また、今年度は、メール、SNSを活 用した周知も行った。 評価:医師、精神保健福祉士、保健師で相談者個々 に応じた相談対応を行うことが出来たと考える。	4	8	特になし。	保健所	
				R7	事業周知件 数	12	23	100	4	無	実施内容:精神科医師によるこころの健康相談につ いて、広報がさがきに記事を掲載、相談の機会を広く 周知し実施。 茅ヶ崎広報紙掲載 6回 秦川広報紙掲載 12回 メール配信 5回 評価:周知を行い、相談者個々に応じた相談対応を 行うことが出来たと考える。	4	8	特になし。	広報紙、メール配信	
40	健康に関する 相談体制の 充実	保健予防課	事業名:包括相談会 実施内容:自死(自殺)は 様々な問題を抱えた末に起 こることを踏まえ、多職種連 携による相談会を行う。	R5	実施回数	1	1	100	4	無	実施内容:3月13日に「こころとくらしの相談会」と称し て、当保健所管内住民の様々な困りごと、悩みごと に関する相談を「相談員による相談」と「精神科医師 による相談」に対応した。 評価:参加者2名に対して、「相談員による相談」と「精 神科医師による相談」をそれぞれ実施し、個々の悩 みに応じた相談対応ができたと考え。	3	7	周知方法や時期を工夫して、更に幅広い 対象者に相談の機会を周知できるよ う、改善する。	保健所	
				R6	実施回数	1	2	100	4	有	実施内容:様々な困りごと、悩みごとを抱える方に対 して、多職種の専門相談員が相談を行い、必要に応 じて適切な支援に繋げる相談会を2回実施した。(神 奈川県主催、本市共催で1回。本市主催で1回) 評価:相談者の困りごとに応じた相談員を配置するこ とができ、適切な相談対応を多職種で行う事ができ た。	4	8	特になし。	茅ヶ崎市地域医療セン ター、保健所	
				R7	実施回数	1	1	100	4	無	実施内容:3月19日に「こころとくらしの相談会」と称し て、当保健所管内住民の様々な困りごと、悩みごと に関する相談を 「相談員による相談」と「精神科医師による相談」に対 応する。 評価:参加者3名(相談会開催前であるため、参加人 数は確定していない)に対して、 「相談員による相談」と「精神科医師による相談」をそ れぞれ実施し、個々の悩みに応じた相談対応を行う。	4	8	特になし。	茅ヶ崎市保健所	

通し 番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合 はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考
					指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意見 を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実 施者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果が あったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				
41	健康に関する 相談体制 の充実	保健予防課	事業名:難病相談会 実施内容:難病患者や家族 に対して療養に関する相談 会を行う。	R5	実施回数	1	7	100	4	無	実施内容:茅ヶ崎市:7月10日~7月14日、7月18日(6日間)9:00~16:00。集中更新と合わせて、希望のある方や困っていることや不安のある方を対象に、保健師が面接を実施した。 評価:難病相談については、6日間で51名の相談を保健師が伺った。昨年度よりも相談件数は少なかったが、1名あたり30分程度の時間をかけて相談を伺うことが多く、相談のニーズがある方については、全員お話しを聞くことができた。実際に疾患や治療、生活習慣、食事のこと、災害時のこと、サービス利用について等、様々なご相談があり、必要時健康指導や助言を行った。今年度も更新の申請時に質問票の記載をしていただき、困りごとがないかを伺っているため、相談につながりやすくなったと考える。継続的に支援が必要な方については情報共有を行い、支援を継続していく予定である。	3	7	今後も、多くの方が来所する機会である集中更新と同時に開催していく。また、質問票を活用し、不安のある方に対しては、面接を実施していく。	保健所	
				R6	実施回数	7	7	100	4	無	実施内容:7月8日~7月12日、7月16日、7月18日(7日間)。集中更新と合わせて、質問票を活用し、希望のある方や困っていることや不安のある方を対象に、保健師が面接を実施した。 評価:難病相談会では、7日間で保健師が46名の方の面接を実施した。相談は1名あたり30分程度の時間をかけて行うことが多く、相談のニーズのある方については、相談を受けることができた。実際に、「疾患や治療」、「生活習慣」、「食事のこと」、「災害のこと」、「サービス利用のこと」、「経済的な問題」など、様々なご相談があり、必要に応じて、健康指導や助言、関係機関の紹介などを行った。	4	8	今後も、多くの方が来所する機会となる「特定医療費(指定難病)受給者証」の集中更新時に難病相談会を開催していく。質問票で「困っていること」や「心配なこと」がある場合に、保健師の面接につながるよう質問票の見直しを行っていく。	保健所、寒川町役場	
				R7	実施回数	7	8	100	4	有	実施内容:茅ヶ崎市:7月7日~7月15日(7日間)9:00~16:00 寒川町:7月18(1日間)9:30~15:30 特定医療費(指定難病)医療受給者証の集中更新に合わせて難病相談会を開催。 難病相談会では、質問票で困っていることや心配なこと等がある方で、保健師の面接を希望する方と人工呼吸器を利用している方に対して、保健師の相談ブースへご案内し、8日間で55名の方の面接を実施した。相談は、1名あたり30分程度の時間をかけて行うことが多く、相談のニーズがある方については全員、話を聞くことができた。実際に「疾患や治療」「生活のこと」、「利用できるサービスのこと」、「就労のこと」、「災害時のこと」など、様々なご相談があり、必要時、健康指導や助言、関係機関やサービスの紹介、チラシの配布を行った。実際に、当事者や家族からは、「相談できて良かった」、「不安が軽減した」、「災害対策について考えてみたい」など声も聞かれた。	4	8	今後も、多くの方が来所する機会である特定医療費(指定難病)医療受給者証の集中更新に合わせて難病相談会を開催する。また、窓口で実施している質問票の内容の見直しを行い、不安のある方に対して相談につながりやすいような体制づくりを行う。	保健所、寒川町役場	

通し 番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合は その他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考
					指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意 見を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実 施者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果が あったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点を記入)	評価点 ②				
42	健康に関する 相談体制の 充実	健康増進課	事業名:禁煙サポート 実施内容:禁煙希望者に対し、個別面接と呼気中一酸化 探査濃度測定、その後約3 か月間禁煙指導を実施す る。	R5	事業周知回 数	1	1	100	4	無	実施内容:広報紙(6月1日号)にて事業の周知を実施 した。 評価:広報紙を活用した周知が実施できた。	4	8	相談窓口があることを市民に周知して いく。		
				R6	事業周知回 数	1	2	100	4	無	実施内容:6月1日号の広報紙による周知及びCOPD 教室にて周知を行った。 評価:広報紙を活用して周知したことに加え、COPD 教室でも周知活動を実施できた。	4	8	今後も、禁煙週間に合わせて6月1日号 の広報での周知を継続していく。	広報紙、保健所	
				R7	事業周知回 数	1	1	100	4	無	実施内容:6月1日号の広報紙による周知を行った。 評価:広報紙を活用して周知した。	4	8	今後も、禁煙週間に合わせて6月1日号 の広報での周知を継続していく。	広報紙、保健所	
43	健康に関する 相談体制の 充実	健康増進課	事業名:保健衛生相談 実施内容:電話及び面談に より、保健師、管理栄養士が 生活習慣の改善に向けた個 別相談を実施する。	R5	延べ相談者 数	50	50	100	4	無	実施内容:保健師、管理栄養士が電話及び来所によ る健康相談に対応した。 評価:生活習慣病に関する相談等に対応できた。相 談者の状況に応じて医療機関の受診を勧めた。	4	8	相談方法が電話の場合、明確に聞き取 りを行うことが重要である。対象者の希 望に応じて、資料の送付も継続実施し ていく。	電話、保健所	
				R6	延べ相談者 数	50	84	100	4	無	実施内容:保健師、管理栄養士が電話及び来所によ る健康相談に対応した。手紙での相談にも対応した。 評価:生活習慣病等に関する相談に対応できた。相 談者の状況に応じて医療機関の受診を勧めた。	4	8	相談方法が電話の場合、明確に聞き取 りを行うことが重要である。対象者の希 望に応じて、資料の送付も継続実施し ていく。また、気軽に相談できる環境づ くりを目指して、地域出張相談を企画 する。	電話、保健所	
				R7	延べ相談者 数	60	111	100	4	無	実施内容:保健師、管理栄養士が電話及び来所によ る健康相談に対応した。また、今年度より商業施設や 薬局、市役所を会場にして「出張健康相談」を実施し た。 評価:生活習慣病発症予防及び重症化予防としての 保健指導が行われた。相談者の状況に応じて、医療 機関の受診を進めた。「出張健康相談」は、通常の電 話相談にはない予防方法の確認や健康に何となく不 安な方の相談があり、生活習慣病予防としての成果 があった。	4	8	令和7年度から開始した「出張健康相 談」を継続し、気軽に相談できる環境づ くりを定着していく。	電話、保健所、商業施 設、薬局、市役所	実績値が2月末日 のため、3月分の相 談者数を3月末日に 入力
44	健康に関する 相談体制の 充実	健康増進課	事業名:高齢者の保健事業 と介護予防の一体的な実施 (ハイリスクアプローチ) 実施内容:75歳以上で健診 結果より低栄養予防が必要 な方と健診未受診等で健康 状態不明な方に対し、フレ イル、疾病予防、疾病の早期 発見のため、それぞれ個別 に文書通知と健康相談を実 施する。	R5	健康相談実 施率	75	84	100	4	有	実施内容:KDBシステムを活用して、低栄養状態ま たは健康状態不明の75歳以上の者を抽出し、電話ま たは対面(訪問、来所)での面談で保健指導を実施す る。 評価:低栄養状態の実施率は減少したものの、健康 状態不明では訪問での保健指導を取り入れたことで 実施率が増加した。	4	8	低栄養状態のアンケートの返信率が減 少したことが実施率の減少につながっ たため、ナッジ理論等を活用した通知 内容を検討する。	電話、保健所 対象者の自宅	実施率の算出方法 低栄養状態と健康状態不 明の指導実施者数÷各対 象者合計
				R6	健康相談実 施率	85	88	100	4	有	実施内容:KDBシステムを活用して、低栄養状態ま たは健康状態不明の75歳以上の者を抽出し、電話ま たは対面(訪問、来所)での面談で保健指導を実施す る。 評価:各通知にナッジ理論を活用したり保健指導を受 けるメリットを記載することで、昨年度と比較して低 栄養状態、健康状態不明共に実施率が増加した。	4	8	より多くの対象者に保健指導を実施す るため、アンケートの返信率を向上させ る対策を講じる必要がある。	電話、保健所 対象者の自宅	実施率の算出方法 低栄養状態と健康状態不 明の初回指導実施者数÷ 各対象者合計
				R7	健康相談実 施率	85	88	98	4	有	実施内容:KDBシステムを活用して、低栄養状態ま たは健康状態不明の75歳以上の者を抽出し、電話ま たは対面(訪問、来所)での面談で保健指導を実施す る。 評価:健康状態不明者では当該住所に居住してい ない人数が増えたことで実施率が低下したが、低栄養 については連絡がつかない方のうち昨年度も対象 だった者などリスクが高いと判断した場合には訪問 したことで実施率の改善につながった。	4	8	保健指導の質の向上と均質化を目指 し、教室形式での指導を実施する。 対面(及び教室)参加者のアンケート返 信率向上を目指し、ナッジ理論を活用し た通知内容を検討する。	電話、保健所(対面での 保健指導) 対象者の自宅	実施率の算出方法 低栄養状態と健康状態不 明の初回指導実施者数÷ 各対象者合計

通し 番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考
					指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意 見を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実 施者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果が あったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				
45	妊娠期～乳 幼児期の健 康管理体制 の整備	こども政策 課	事業名:子育て支援センター における食育相談 実施内容:実施内容:市内4 か所の子育て支援センター において、栄養士相談を実施 する	R5	実施回数	24	24	100	4	無	実施内容:市内4カ所の子育て支援センターで栄養 士相談を実施。 評価:離乳食や備食等に悩んでいる保護者の悩みを 相談できる機会を提供することができ、信頼できる食 の提供に関する情報提供ができた。	4	8	より多くの方が利用できるよう、相談事 業の周知活動に努める。	茅ヶ崎駅北口子育て支援 センター、茅ヶ崎駅南口 子育て支援センター、香 川駅前子育て支援セン ター、浜竹子育て支援セ ンターのひのび	
				R6	実施回数	24	24	100	4	無	実施内容:市内4か所の子育て支援センターで栄養 士相談を実施。 評価:離乳食や備食、アレルギーに悩んでいる保護 者が多く、個別に悩み相談できる機会を提供するこ とができ、信頼できる食の提供に関する情報提供が できた。	4	8	より多くの方が利用できるよう、相談 事業の周知活動に努める。 ・2ヶ月に1回行っていた栄養士相談 を、令和7年度以降は月1回行えるよう 相談体制の強化を図る。	茅ヶ崎駅北口子育て支援 センター、茅ヶ崎駅南口 子育て支援センター、香 川駅前子育て支援セン ター、浜竹子育て支援セ ンターのひのび	
				R7	記載なし (制度変更 による)											
46	妊娠期～乳 幼児期の健 康管理体制 の整備	こども育成 相談課	事業名:乳幼児相談事業(乳 幼児健康相談、すくすく7か 月児育児相談、のびのび2 歳児歯と遊びと育児の相談) 実施内容:乳幼児の保健、栄 養、育児の相談を実施する。	R5	参加者数	1550	1725	100	4	無	実施内容:保健師・栄養士・歯科衛生士による乳幼児 の保健、栄養、育児、歯科の相談を実施した。 評価:保護者の不安を軽減し、乳幼児の発達確認を 行うことができた。	4	8	引き続き保護者の不安を軽減し、乳幼 児の発達確認を行うことができるよう取 組んでいく。	保健所	目標値の内訳 (乳幼児健康相談)350人(保健 所実施分) (すくすく7か月育児相談)750人 (のびのび2歳児歯と遊びと育 児の相談)450人 実績値の内訳 (乳幼児健康相談)275人(保健 所実施分) (すくすく7か月育児相談)788人 (のびのび2歳児歯と遊びと育 児の相談)662人
				R6	参加者数	1700	1643	89	4	無	実施内容:保健師・栄養士・歯科衛生士による乳幼児 の保健、栄養、育児、歯科の相談を実施した。 評価:保護者の不安を軽減し、乳幼児の発達確認を 行うことができた。	4	8	開催会場や回数を精査したうえで、引 き続き保護者の不安を軽減・乳幼児の 発達確認を行うことができるよう取り 組んでいく。	保健所	(令和6年度実績の内訳) 乳幼児健康相談(保健所 実施分) 639人 すくすく7か月育児相談 714人 のびのび2歳児歯と遊びと 育児の相談 280人
				R7	参加者数	1700	1564	92	4	無	保護者の不安を軽減し、乳幼児の発達確認を行うこ とができた。	4	8	開催会場や回数を精査したうえで、引 き続き保護者の不安を軽減・乳幼児の 発達確認を行うことができるよう取り 組んでいく。	保健所	(乳幼児健康相談)374人 (保健所実施分) (すくすく7か月育児相談) 660人 (のびのび2歳児歯と遊び と育児の相談)530人 令和8年1月時点

通し 番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合 はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考	
					指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意 見を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実 施者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果が あったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②					
47	妊娠期～乳 幼児期の健康 管理体制の整備	こども育成 相談課	事業名:妊産婦健康診査 実施内容:妊産婦健康診査 の費用を助成し、妊産婦の 健康管理の推進を図る。	R5	受診率	90	84	93	4	無	実施内容:妊産婦健康診査費用補助券を交付すること で、健診の費用を助成し、妊産婦の健康管理の推 進を図った。 評価:産婦健康診査費用の助成を開始し、産褥期の 心身の回復状況を確認し、必要時は産後ケア事業等 の支援につなげることができた。	4	8	引き続き妊産婦の健康管理の推進に 取り組んでいく。	実施医療機関		
				R6													変更【(増)施策2通し番 号追加2健康診断等の実 施の取組とするため】
				R7													
48	妊娠期～乳 幼児期の健康 管理体制の整備	こども育成 相談課	事業名:乳幼児健康診査事 業(4か月児健康診査、10～ 11か月児健康診査、1歳6 か月児健康診査、3歳6か月 児健康診査) 実施内容:乳幼児の身体測 定及び発育・発達の確認等 を行い、必要に応じて保健指 導の実施、精密健診のため の医療機関紹介を行う。	R5	受診率	97	92	95	4	無	実施内容:小児科医師・歯科医師による診察と看護 師による乳幼児の身体測定、保健師や心理士による 発育・発達の確認等を行い、必要に応じて保健指導 の実施、精密健診のための医療機関紹介を行った。 評価:適切な時期に受診していただけるよう勧奨す るとともに、乳幼児の身体測定及び発育・発達の確認 等で市内の乳幼児の健康状態を確認することが出来 た。	4	8	引き続き適切な時期に受診していただ けるよう取り組んでいく。	4か月児健康診査、10～ 11か月児健康診査:実 施医療機関 1歳6か月児健康診査、3 歳6か月児健康診査:保 健所		
				R6													変更【(増)施策2通し番 号追加3健康診断等の実 施の取組とするため】
				R7													変更【(増)施策2通し番 号追加3健康診断等の実 施の取組とするため】

通し番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考	
					指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意見 を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実施 者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果が あったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②					
49	妊娠期～乳 幼児期の健康 管理体制の整備	こども育成 相談課	事業名：マタニティクッキング 実施内容：母親の健康及び 乳児の健全な発育のための 基本的な栄養知識と調理技 術の普及、調理指導、試食を 実施する。	R5													変更(令和5年度はyoutubeに て妊婦の食生活改善に関する 普及啓発に変更、食育推進計 画実施3、通し番号44:妊婦の 食生活改善に関する普及啓 発)
				R6	実施回数	1	3	100	4	有	実施内容:妊娠期の食生活の改善を目的に、マタニ ティクッキングを年3回開催した。 評価: 妊娠期は体調が不安定であることや、産休に入るま で仕事を続けている妊婦の増加等の理由から参加者 集めに苦慮した。 参加された方からは、改めて食事について考えるい い機会になったと好評を得た。	4	8	実習方式の妊婦への教育には課題が あるが、食生活の普及についてこれ から生まれてくる子どもにも妊娠期 から行っていることは重要と考えることか ら、SNSやホームページを活用した妊婦 期の食生活改善の普及啓発は引き続 き行っていく。 また、妊娠期の食事についての悩みは が多様化していることから個別での栄 養相談の普及も併せて行っていく。	男女共同参画センターい こりあ		
				R7	事業変更の ため実施なし												
50	妊娠期～乳 幼児期の健康 管理体制の整備	小和田公民 館	事業名:こわだ乳幼児健康相 談 実施内容:乳幼児の心身の 健康と育児について保健師、 管理栄養士による相談を実 施(こども育成相談課と共催) 年4回開催	R5	延べ参加者 数	16	10	63	2	無	実施内容:子ども育成相談課保健師、管理栄養士に よる個別相談、身体測定 評価:コロナより予約制となっていたが、今年度途中 から予約なしとしたところ、参加者微増	3	5	更に周知を進める。	小和田公民館		
				R6	延べ参加者 数	16	30	100	4	有	実施内容:子ども育成相談課保健師、管理栄養士に よる個別相談、身体測定 評価:コロナも落ち着き、参加者は増加した。	4	8	担当課と協議し、来年度は小和田公民 館と松浪地区社会福祉協議会共催の 「子育てひろば」に保健師が隔月で参 加する形に変更して開催する。	小和田公民館		
				R7	事業変更の ため実施なし												

通し 番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合は その他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考	
					指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意見 を踏まえて評価を 記入 ※「無」の場合は実施 者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果が あったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②					
51	妊娠期～乳 幼児期の健康 管理体制の整備	松林公民館	事業名:乳幼児健康相談 実施内容:保健師や栄養士 による身体計測や育児・栄養 相談を行う。(健康増進課との 共催)	R5	実施回数	1	4	100	4	有	実施内容:保健師及び栄養士により、健康に関する 指導・助言を行う。 評価:各種相談や助言への満足度は高かった。	4	8	参加者が少し少なかったため、来年度 は案内を充実させる。	松林公民館		
				R6	実施回数	4	4	100	4	有	実施内容:保健師及び栄養士により、健康に関する 指導・助言を行う。 評価:各種相談や助言への満足度は高かった。	4	8	参加者が少なかったため、開催案内方 法を改善する。	松林公民館		
				R7	実施なし												
52	妊娠期～乳 幼児期の健康 管理体制の整備	松林公民館	事業名:Relaxままヨガ 実施内容:子育て中のママ が、自分の体をリラックスさ せるヨガを学ぶ。	R5	実施回数	2	2	100	4	有	実施内容:出産後のお母さんにヨガを通してケアを行 う。 評価:講座後のアンケートにおいて満足度が100%で あった。新しくサークルを立ち上げることが出来た。	4	8	乳幼児がいても自宅でもできるヨガの実 践ができた。子育て中のママ同士の繋 がりが増えてきた。 サークルを立ち上げたが、存続・継続 が課題。伴走支援が必要。	松林公民館		
				R6	実施なし												削除(令和6年度事業に選 定されなかったため)
				R7	実施なし												削除(令和7年度事業に選 定されなかったため)
53	妊娠期～乳 幼児期の健康 管理体制の整備	松林公民館	事業名:スマイリングままサ ロン 実施内容:産後ケアとして、 体操や栄養、ホルモンバランス について学ぶ。	R5	実施回数	3	3	100	4	有	実施内容:産後ケアとして、栄養学やホルモンバラン スを学び、産後体操を習得する。 評価:栄養学、ホルモンバランス、産後体操を習得 し、満足度も高かった。	4	8	こどもの夏風邪によるお休みが多か ったため、開催時期の精査が必要。	松林公民館		
				R6	実施回数	2	3	100	4	有	実施内容:産後ケアとして、栄養学やホルモンバラン スを学び、産後体操を習得する。 評価:栄養学、ホルモンバランス、産後体操を習得 し、満足度も高かった。	4	8	昨年度の課題を踏まえて、開催時期を 秋へと変更した。	松林公民館		
				R7	実施回数	3	3	100	4	有	実施内容:産後ケアとして、栄養学やホルモンバラン スを学び、産後体操を習得する。 評価:栄養学、ホルモンバランス、産後体操を習得 し、満足度も高かった。	4	8	好評のため継続予定	松林公民館		
54	妊娠期～乳 幼児期の健康 管理体制の整備	南湖公民館	事業名:乳幼児健康相談 実施内容:保健師・栄養士 が、乳幼児の身体測定や栄養 ・発育発達等、育児相談を行 う。健康増進課との共催事業	R5	実施回数	4	4	100	4	無	実施内容:保健師及び栄養士が、乳幼児及び保護者 の健康に関する指導及び助言を行う。 評価:利用促進のため、年度途中から予約なしで相 談を受けられることにした。	3	7	周知をしつかり行い、参加人数を増や す。	南湖公民館		
				R6	実施回数	4	4	100	4	無	実施内容:保健師および栄養士が健康(育児・栄養相 談)に関する指導及び助言を行った。 評価:一人ひとり時間をかけてゆっくりと対応するこ うできたため、参加者の心配事や問題を解消するこ うできていた。	3	7	参加人数が少ないため、翌年度は乳幼 児向けの他事業・イベント等と同日開 催し、周知する機会を増やしていく。	南湖公民館		
				R7	参加者数 (のべ組数)	20	18	90	4	有	実施内容:保健師および栄養士が健康(育児・栄養相 談)に関する指導及び助言を行った。 評価:一人ひとり時間をかけてゆっくりと対応し、問題 を解消することができていた。	4	8	参加者が少ないことから、乳幼児向け の講座と併催して実施する。	南湖公民館		

通し番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた改善点	実施場所	備考
					指標	目標値	実績値	指標の達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有無 ※「有」の場合は意見を踏まえて評価を記入 ※「無」の場合は実施者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果があったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				
55	子どもから高齢者までの予防接種の実施	健康増進課	事業名:子ども予防接種事業に係る周知 実施内容:予防接種を必要な時期に適切に受けられるよう予診票の個別送付やホームページ等を活用し、周知を図る。	R5	予診票年間送付回数	12	12	100	4	無	実施内容:予診票を年間12回送付するとともに、接種勧奨ハガキの個別送付やホームページ、こどもの健康だより等を活用し、周知した。 評価:国の動向に注視し、対象者が予防接種の機会を逃してしまうことのないよう、適切な情報を周知することができた。	4	8	令和6年度より新たな予防接種が定期接種化されるため、周知方法及び周知内容を検討し、わかりやすい情報提供に努める。	—	
				R6	予診票年間送付回数	12	12	100	4	無	実施内容:予診票を年間12回送付するとともに、接種勧奨ハガキの個別送付やホームページ、こどもの健康だより等を活用し、周知した。 評価:HPVキャッチアップ接種の最終年度にあたるため、LINE配信や市内の高等学校等へちらしを配布するなど、新たな手法による周知を実施することで、対象者が予防接種の機会を逃してしまうことのないよう、適切な情報を周知することができた。	4	8	接種率の低い予防接種の対象者やHPVキャッチアップ接種条件付き期間延長に該当する対象者等への周知方法及び周知内容を検討し、わかりやすい情報提供に努める。	—	
				R7	予診票年間送付回数	12	12	100	4	無	実施内容:予診票を年間12回送付するとともに、接種勧奨ハガキの個別送付やホームページ、こどもの健康だより、SNS配信等を活用し、周知した。 評価:HPVキャッチアップ接種やMRワクチンの接種のリマインドをハガキ送付で行うとともに、新たに二種混合ワクチンのリマインドをハガキ送付により実施した。また、夏休み前にLINEのセグメント配信を活用して保護者へ向け周知を行うなど、対象者が予防接種の機会を逃してしまうことのないよう、適切な情報を周知することができた。	4	8	送付したハガキ等に対するお問合せを減らせるよう、記載内容の見直しを行う。 令和8年度から新たに定期接種化されるワクチンや、制度の終了、ワクチンの変更等があるため、各対象者に対して適切な周知ができるよう努める。 LINE配信やホームページに加え効果的な周知方法を検討する。	特になし。	
56	子どもから高齢者までの予防接種の実施	健康増進課	事業名:おとな予防接種事業に係る周知 実施内容:高齢者インフルエンザ、高齢者肺炎球菌等の予防接種について、ちらしやホームページ、広報紙等を活用し、周知を図る。	R5	実施回数	4	9	100	4	無	実施内容:接種勧奨ハガキの個別送付やちらし、ホームページ、広報紙、エレベーターホールデジタルサイネージ等を活用し、周知した。 評価:インフルエンザの感染者が高い水準であったため、今年度は新たにメール配信を活用し、接種期間延長について周知するなど、対象者が予防接種の機会を逃してしまうことのないよう、適切な情報を周知することができた。	4	8	令和6年度より高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種の対象者が変更となるため、周知方法及び周知内容を検討し、わかりやすい情報提供に努める。	—	
				R6	実施回数	9	9	100	4	無	実施内容:接種勧奨ハガキの個別送付やちらし、ホームページ、広報紙、エレベーターホールデジタルサイネージ等を活用し、周知した。 評価:高齢者新型コロナウイルス感染症予防接種が今年度より定期接種に位置づけられたため、自治体回覧で事業の周知を行うなど、対象者が予防接種の機会を逃してしまうことのないよう、適切な情報を周知することができた。また、高齢者帯状疱疹予防接種が令和7年度より定期接種に位置づけられるため、タウンニュースを活用し、事業開始前の周知を行うことができた。	4	8	令和7年度より高齢者帯状疱疹予防接種が定期接種に位置づけられ、対象者が複雑でわかりにくいいため、周知内容を検討し、ハガキの個別送付を行うなど、わかりやすい情報提供に努める。	—	
				R7	実施回数	9	9	100	4	無	実施内容:接種案内ハガキの個別送付、ちらし、ホームページ、広報紙、広報紙、LINE、デジタルサイネージ等を活用して周知した。 評価:令和7年度から開始された帯状疱疹予防接種の対象者が複雑であったため、対象者へハガキを個別送付した。 他の予防接種についても昨年度まで実施してきた広報等を踏襲するだけでなく、Canvaなどのイラストデザインツールを用いて、対象者の目に留まり読んでもらえるように情報発信を行い、予防接種を希望する方が機会を逃してしまうことのないよう、適切に広報することができた。	4	8	今年度から始まった帯状疱疹予防接種のハガキの内容について、今年度市民からいただいた意見をもとに、制度をさらに理解しやすく且つ簡潔が生じない内容に改善する。また、令和8年度から使用するワクチンの切替・追加があるため、多くの方に伝わる周知方法で分かりやすい情報発信に努める。	特になし。	

通し 番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考
					指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意見 を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実施 者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果が あったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				
57	健康づくり のための環境整備	鶴嶺公民館	事業名:卓球開放 実施内容:健康づくりに対する意識の醸成を目的に、毎月第2・第4日曜日に、自由に卓球を楽しめる場を提供する。	R5	実施回数	24	24	100	4	有	実施内容:健康づくりに対する意識の醸成を目的に、毎月第2・第4日曜日に、自由に卓球を楽しめる場を提供した。 評価:小学生から80歳代まで幅広い世代が参加した。参加者に実施したアンケートで、「現在、健康づくりの行動をしていますか。これから健康づくりをしようと思えますか」という設問に対し、80%以上が「している・しようと思う」という回答があり、自身の健康に対する意識の醸成を図ることができた。	4	8	今後も、健康づくりの場を提供する事業として継続して開催する。	鶴嶺公民館	
				R6	実施回数	24	24	100	4	有	実施内容:健康づくりに対する意識の醸成を目的に、毎月第2・第4日曜日に、自由に卓球を楽しめる場を提供した。 評価:小学生から80歳代まで幅広い世代が参加した。参加者に実施したアンケートで、「日常生活で健康づくりの行動をしていますか。またはこれから意識して実践しますか。」という設問に対し、80%近くが「している・しようと思う」という回答があり(回答作成時点)、自身の健康に対する意識の醸成を図ることができた。	4	8	今後も、健康づくりの場を提供する事業として継続して開催する。	鶴嶺公民館	
				R7	実施回数	22	22	100	4	有	実施内容:健康づくりに対する意識の醸成を目的に、毎月第2・第4日曜日に、自由に卓球を楽しめる場を提供した。 評価:小学生から80歳代まで幅広い世代が参加した。参加者に実施したアンケートで、「今日の卓球は楽しめましたか?」という設問に対し、90%以上が「おおいに楽しめた・そこそこ楽しめた」と回答(回答作成時点)。「他の参加者の方と楽しく話げできましたか?」という設問に対しても、90%以上が「楽しく話げができた・そこそこ話げができた」と回答(回答作成時点)があり、自身の健康に対する意識と交流の場の醸成を図ることができた。	4	8	今後も、健康づくりの場を提供する事業として継続して開催する。	鶴嶺公民館	
58	健康づくり のための環境整備	香川公民館	事業名:卓球開放 実施内容:小学生以上を対象に体力向上と仲間づくり。	R5	実施回数	10	10	100	4	有	実施内容:小学生以上を対象に体力の向上と仲間づくり 評価:卓球を通じ、体力作りや交流を行った。	4	8	開催する月によって参加者にばらつきはあるものの、一定の参加があり、交流の場となっている。参加者が固定化している部分もあり、周知方法の改善が必要と考える。	香川公民館	
				R6	実施回数	10	12	100	4	有	実施内容:小学生以上を対象に体力の向上と仲間づくり 評価:卓球を通じて、小学生と地域住民の交流の場となった。また、体力の向上にもつながった。	4	8	昨年度と同様に参加者が固定化されている部分がある。引き続き周知方法の改善を検討する。	香川公民館	
				R7	実施回数	12	12	100	4	有	実施内容:小学生以上を対象に体力の向上と仲間づくり 評価:卓球を通じ、体力作りや交流を行った。	4	8	毎月一定の参加があり、交流の場となっている。その一方で、参加希望者が定員を上回ることもあるため、臨機応変に対応が必要と考える。	香川公民館	

通し 番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合 はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考
					指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意見 を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実施 者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果が あったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				
59	その他	保健予防課	事業名:ゲートキーパー養成講座 実施内容:自死(自殺)に傾く人に気づき、耳を傾け、つなぎ、見守ることを学ぶ。	R5	講座受講人数	100	160	100	4	有	実施内容:ゲートキーパー講義 評価:目標値を大幅に超えた人数を養成できた。	4	8	市民向けのみならず行政職員、相談支援職を対象とした研修の実施。	保健所	
				R6	講座受講人数	100	116	100	4	有	実施内容:自殺対策の一環としてゲートキーパー養成研修を年6回、対面とオンラインのハイブリット開催で実施した。 評価:市民向けゲートキーパー養成研修は、開催回数を年3回から年5回に増加したことにより、受講者数が増加した。加えて、新採用職員向けゲートキーパー養成研修を行い、目標値を達成することができた。	4	8	受講者が気軽に時間を気にせずに研修を受けられるように、厚生労働省のオンライン研修の動画を周知する。また、本市独自のオンライン研修動画を作成する予定。	保健所	
				R7	講座受講人数	100	189	100	4	有	実施内容:ゲートキーパー講義 市民に対してゲートキーパー養成研修を開催 ゲートキーパー養成研修受講者及び支援者に対するゲートキーパーフォローアップ研修を開催 福祉事業所、理容組合、JR職員、看護専門学校へ対するゲートキーパー養成研修を開催 評価:目標値を大幅に超えた人数を養成できた。	4	8	特になし。	茅ヶ崎市地域医療センター等複合施設 コミュニティセンター 依頼事業所 茅ヶ崎市保健所 専門学校	※ゲートキーパーフォローアップ研修及び看護専門学校への研修は開催が3月のため実績値が変わる可能性があります。
追加1	健康に関するイベントや教室	南湖公民館	事業名:健康講演会 実施内容:地域の方々へ病氣・介護予防の知識普及のため南湖地区社会福祉協議会と共催で健康にまつわる講演会を実施する。	R5	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:高齢福祉課保健師、健康増進課管理栄養士、歯科衛生士によるフレイル予防についての講演会 評価:栄養・運動・社会参加の3つの視点から測定なども実施し、自身のからだやこころの健康状態を確認することができた。	4	8	4年ぶりの開催となり、講座の認知度が下がっているため翌年度は早めに周知する。	南湖公民館	R6に新たに提出された事業のため、R5の評価点は反映しません。
				R6	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:頻尿・尿もれについて泌尿器科医師による講演 評価:夜間頻尿対策や漢方の効果、膀胱訓練等頻尿・尿漏れについて症状や治療等の医学的な視点からさまざまな知識の習得ができた。	4	8	今後も南湖地区社会福祉協議会と協議のうえ、地域のニーズにあった健康講演会を年1回開催していく。講義だけでなく、実践も交えた講座が可能かどうか検討していく。	南湖公民館	
				R7	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:成年後見制度に関する説明 評価:アンケートに基づく理解度100%	4	8	講座の周知が課題。公民館利用者にもシニア層が多いことから、今後は利用者への周知も重点的に実施。	南湖公民館	
追加2	健康に関するイベントや教室	南湖公民館	事業名:シニア体操 実施内容:家庭の事情により外出が出来ない方の運動不足、筋力の低下を防ぐ為、自宅でも出来る筋力アップのトレーニングやストレッチなどを学ぶ。	R5	実施回数	2	2	100	4	有	実施内容:元氣もりもり体操、ストレッチ&簡単ダンスで運動不足解消 評価:体操やストレッチを学び、楽しく体を動かし日頃の運動不足解消と共にリフレッシュすることができた。また、自宅で継続的に行うことでフレイル予防を目指すきっかけとすることができた。	4	8	定期的な実施や継続希望の声が多いため、回数を増やして実施する。	南湖公民館	R6に新たに提出された事業のため、R5の評価点は反映しません。
				R6	実施回数	3	3	100	4	有	実施内容:元氣もりもり体操、ストレッチ&簡単ダンスで運動不足解消 評価:男性の方の参加もあり好評であった。進行が上手な講師で楽しく気持ちよく身体を動かす事が出来た。継続を望む声も多く聞かれた。	4	8	次年度も継続して定期的の実施し、地域のシニアのフレイル予防につなげていく。	南湖公民館	
				R7	実施回数	3	3	100	4	有	実施内容:筋力アップや血液の流れをよくするためのストレッチ等 評価:アンケートに基づく満足度は94%	4	8	常連の参加が多く、初参加の人が少ないことが課題。	南湖公民館	

通し 番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考
					指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意見 を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実施 者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果が あったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				
追加3	健康に関するイベントや教室	南湖公民館	事業名:バレトン体験会 実施内容:住民同士の交流 機会のため、また、フレイル 予防、生きがいづくりのため に講座を行う。 バレトンという聞き慣れない 新たなエクササイズを経験 し、その楽しさを知る。	R5												実施なし
				R6	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:フィットネス・ヨガ・バレエを含んだエクササイズを行う。 評価:初心者でも気軽に運動することができた。	4	8	今年度は体験会とするが、来年度以降は数回の講座開催も検討する。	南湖公民館	
				R7	実施回数	3	3	100	4	有	実施内容:フィットネス・ヨガ・バレエの要素を取り込んだエクササイズ 評価:面白さ、健康維持への意識、参加者同士の交流といった視点での満足度が91%に上った。	4	8	続けてほしいとの意見があったが、サークル化を打診したところ、反応は薄かった。持続性に課題あり。	南湖公民館	
追加4	健康に関するイベントや教室	南湖公民館	事業名:はじめてのお灸 ~ お灸で身体を整える~ 実施内容:お灸について理解 を深め、自分自身の体と向き 合い、健康な体作りを目指 す。	R5												実施なし
				R6	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:一人ではツボの取り方がわからない方、お灸の効能で身体を整えたいという方へ、お灸について実践を交えて学ぶ講座 評価:ツボの取り方を学び、お灸についての知識を得ることができ、家庭でも継続できる良い学習の機会となった。	4	8	R7実施予定なし	南湖公民館	
				R7	実施なし											

通し 番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合 はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考		
					指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意 見を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実 施者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果が あったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②						
追加5	健康に関するイベントや教室	鶴嶺公民館	事業名:40歳からのヨガ教室 実施内容:加齢による運動器機能不全を防ぐためヨガ特有の呼吸等で、筋力の維持、向上につながる運動習慣を学ぶ。	R5													実施なし	
				R6	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:加齢による運動器機能不全を防ぐためヨガ特有の呼吸等で、筋力の維持、向上につながる運動習慣を学ぶ。 評価:「楽しく学ばせていただいても動かし健康になれてうれしく思います。」などの意見をいただき、40歳代から運動習慣を身につける一助となれたと考える。	4	8	今後も、運動習慣を身につける事業として継続して開催する。	鶴嶺公民館			
				R7	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:加齢による運動器機能不全を防ぐためヨガ特有の呼吸等で、筋力の維持・向上、自律神経を整えて更年期の不調の改善につながる運動習慣を学ぶ。 評価:アンケートの「今後も運動を続けますか?」という問いに対し、全員が「続けます」「続けるように努力します」と回答し、40代からの運動習慣を身につける一助となれたと考える。	4	8	今後も、運動習慣を身につける事業として継続して開催する。	鶴嶺公民館			
追加6	健康に関するイベントや教室	高齢福祉課	事業名:頭と体の元気アップ教室 実施内容:地域支援事業の一般介護予防事業普及啓発事業として、虚弱傾向及び認知機能の低下が生じやすい高齢者を対象に、おおむね4か月で柔軟体操や筋力の向上に向けた運動、及び認知機能の低下の予防にかかるプログラムなど、複合的な機能の向上を目指す教室	R5													実施なし	
				R6														実施なし
				R7	実施回数	90	143	100	4	有	実施内容:高齢者に必要な運動、認知症予防、栄養、口腔の4つの視点から、13回のコースで予防的なアプローチを行う。 評価:教室前後の体力測定等でも向上がみられ、参加者からもその実感とともに楽しかった、自宅でも体操を続けたいなどの感想が多く高評価であった。	4	8	参加希望者が多いため、初回の参加者を優先する仕組みの検討が必要である。	浜見平団地集会所・青少年会館他委託事業者会場等7会場	当初10教室の予定だったが、参加者が多く1教室増やしたため、11教室(各2回)で実施。		

通し 番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合 はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考	
					指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意 見を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実 施者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果が あったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②					
追加7	健康づくり のための環 境整備	こども育成 相談課	事業名:妊婦対象栄養相談 実施内容:妊娠届出時に妊 娠期の食生活に関するアン ケートを実施し、不安や疑問 について管理栄養士と個別 で相談できる環境を整える。	R5												実施なし	
				R6													実施なし
				R7	回答率	50	16	32	1	有	実施内容:妊娠期の食事に関するアンケート 評価:令和7年10月より本アンケートを開始した。ア ンケートの回収率は16%と目標を下回ってしまった が、アンケートの回答では、妊娠期の食事に関する知 識が深まったという意見が多く集まった。引き続き妊 婦へ対する妊娠期の食事に関する情報提供及び個 別相談での不安や疑問の解消に努める。	2	3	アンケート内容のブラッシュアップ及 び、回答方法の簡易化をすることでア ンケート回収率を上げることを目指す。	市役所	令和8年2月時点	

【施策2】【二次予防】生活習慣病の早期発見・早期治療と重症化予防対策の推進

- 【行政の主な取組】
- ・健康診断等の実施
 - ・かかりつけ医の推進
 - ・健康づくりの体制整備

指標の達成状況に対する評価

3.6 / 4

取組内容に対する評価

3.8 / 4

7.5 / 8

通し番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考
					指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意見 を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実施 者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果があったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				
60	健康診断等の 実施	保険年金課	事業名: 特定健康診査・特定 保健指導 実施内容: 国民健康保険加入 者を対象に生活習慣病や 重症化予防を目的として、特 定健康診査・特定保健指導 を行う。	R5	特定健康診 査実施率	36	32.5	90	4	無	実施内容: 通知や電話による受診勧奨等を強化した(前期はがきの送付 件数を前年度1万1379件から3万3493件、電話勧奨の件数を前年度 312件から約7500件に拡大した)。 評価: 特定健診実施率(令和6年1月暫定値)が昨年度の同時点より向 上したため、受診勧奨強化の効果があった。	4	8	引き続き通知や電話による受診勧奨 等を行っていく。特に受診率の低い40 歳代に対して、健診の必要性をわかり やすく伝える取組を進める。また、実 施医療機関からの受診勧奨を強化す る。	実施医療機関	・令和5年度の実績値 32.5%は令和6年1月暫定 値(※確定するのは、翌 年度の11月) ・令和4年度特定健康診 査実施率30.6%(令和5年1 月暫定値)
				R6	特定健康診 査実施率	38	33.5	88	3	有	実施内容: 通知および電話による受診勧奨を実施。2月追加健診は対象 者に送付した受診勧奨はがきそのまま受診券として使用できるように して受診希望者の利便性を図った。 評価: 令和5年度特定健診実施率(令和6年1月速報値)より1%高い状況 であった。	4	7	受診勧奨はがき作成については、レセ プトデータ分析も取り入れて対象者の 状況に応じた受診勧奨を実施予定。 引き続き、医師会・実施医療機関と受 診率向上に向け連携協力を依頼す る。	実施医療機関	令和6年度実績値33.5% は令和7年1月現在の速 報値(確定は令和7年11 月)
				R7	特定健診実 施率	39	32	82	3	無	実施内容: 特定健康診査対象者に5月に個別通知を行ない、6~8月に健 診を実施した。健診期間中に受診できなかった対象者には追加健診を2 月に実施した。受診勧奨として令和7年度は過去の健診状況やレセプト データを分析し個別性の高い受診勧奨はがきを送付した。勧奨はがき送 付のタイミングに合わせ電話勧奨も実施した。 評価: 令和6年度特定健康診査実施率(令和6年12月速報値)32.4%より 0.4%低い。	3	6	令和7年度は受診勧奨はがきの内容 を変更しているため、効果測定を行い 翌年度の事業内容に反映していく。	実施医療機関	実績値32%は令和7年12 月速報値である。 令和7年度の特定健診実 施率が確定するのは令 和8年11月。
61	健康診断等の 実施	保育課	事業名: 健康診査等の実施 実施内容: 児童福祉施設の 設備及び運営に関する基準 に基づき、年2回の全園児へ の健康診断と、新入園児へ の健康診断を実施する。	R5	受診率	100	100	100	4	無	実施内容: 春と秋に年2回の児童健康診断を実施した。健康診査の日が 休みの児童は保育園が直接連れて行った。 評価: 定期的な健康診断を実施することで喘息など早期に発見できる病 気があった。保育園によって、嘱託医への質問を保護者から直接もら い、嘱託医から回答を貰うなどして日々の中での困りごとなどについて相 談に乗ってもらう機会を設けた。	4	8	健康診断の日に休んだ児童を別日に 病院まで連れていく人員、時間の捻 出を今後も行っていく。	保育所、幼稚園	
				R6	受診率	100	100	100	4	無	実施内容: 春と秋に年2回の児童健康診断を実施した。健康診査の日が 休みの児童は保育園が直接連れて行った。 評価: 定期的な健康診断を実施し、共有することで病院の受診などにつ ながった。保育園によって嘱託医への質問を保護者から直接もら い、嘱託医から回答を貰うなどして日々の中での困りごとなどについて相 談に乗ってもらう機会を設けた。	4	8	健康診断の日に休んだ児童を別日に 病院まで連れていく人員や時間の捻 出を今後も行っていく。	保育所、幼稚園	
				R7	実施施設数	81	81	81	4	有	実施内容: 年2回の児童健康診断を実施した。年度途中の入園について は以前に通っていた施設があれば健康診断の受診記録を引き継ぎ、未受 診であれば必要に応じて受診している。所見があれば保護者へ受診勧 告をしている。 評価: 定期的な健康診断を実施し、共有することで病院の受診などにつ ながった。発育などの悩みがあれば事前に保護者から相談を受け、嘱託 医にメールを利用して相談をしている。嘱託医から助言などをいただき、 その旨保護者に個別で知らせている。早期発見につながるようしてい る。	4	8	全実施施設数が81であったため、目標 値を81に設定変更する	保育所、幼稚園	

通し 番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合 はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考
					指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意見 を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実施 者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果があったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				
62	健康診断等 の実施	保健予防課	事業名:特定感染症検査・相談事業 実施内容:エイズ及び性感染症対策として、HIV即日検査及びウイルス性肝炎検査を行う。	R5	検査件数	24	42	100	4	無	実施内容:月に一回保健所内で、HIV即日検査とウイルス性肝炎検査を実施した。12月には、世界エイズデーに合わせて、市役所内において、パネル展示を実施した。 評価:月により、HIVの検査件数は異なるが、ほぼ毎月受検者もいて、目標値は達成出来た。しかし、ウイルス性肝炎検査においては、検査数が少なかった。	4	8	ウイルス性肝炎に関しては、検査件数が少ないため、今後はLINE配信等を実施し、さらなる普及啓発を図る。	保健所	
				R6	検査件数	48	107	100	4	無	実施内容:月に一回保健所内で、HIV・梅毒即日検査とウイルス性肝炎検査を実施した。12月には、世界エイズデーに合わせて、市役所内において、パネル展示を実施した。 評価:受付時間の見直し、電子申請を開始したことによりHIV・梅毒・ウイルス性肝炎の受検者数が増加し、目標値を達成出来た。	4	8	検査数を月2回に変更する。受検者が気軽に受検できるようにSNS等により普及啓発を行っていく。	保健所	
				R7	検査件数	160	149	93	4	無	実施内容:月2回保健所内で、HIV・梅毒即日検査とウイルス性肝炎検査を実施した。12月に世界エイズデーに合わせて市役所内においてパネル展示を行った。 評価:月2回検査を行ったことで例年より受検数の増加が見られた。	4	8	全国的な梅毒の増加を受けて令和6年度から梅毒検査を実施したことや、コロナ禍に検査が実施できなかった時期があり、令和6年度の検査実績が増加したことから令和7年度は検査実施回数を月2回とした。令和7年度の検査実績から令和8年度は月1回としていく。	保健所	実績値は令和8年2月18日時点のもの。 令和8年度は、定員状況に即した運営計画として実施回数を見直しました。
63	健康診断等 の実施	保健予防課	事業名:風しん抗体検査事業 実施内容:妊婦周り等の対象者及び特定年齢の男性等に対して無料の風しん抗体検査を実施するにあたり、広報紙等で普及啓発を行う。	R5	実施回数	1	1	100	4	無	実施内容:妊婦周り等の対象者に対して医療機関で無料で風しん抗体検査を実施した。また、特定年齢の男性に対して医療機関で風しん抗体検査を実施した。広報紙掲載、委託による検査受診券の適切な発送により普及啓発を行った。 評価:風しんの感染予防やまん延防止を図ることができたと考える。	4	8	新たな周知啓発手法の検討。	実施医療機関	
				R6	実施回数	1	1	100	4	無	実施内容:妊婦周り等の対象者に対して医療機関で無料で風しん抗体検査を実施した。また、特定年齢の男性に対して医療機関で風しん抗体検査を実施した。ホームページやSNS、広報紙等への掲載、委託による検査受診券がはがきの適切な発送により普及啓発を行った。 評価:風しんの感染予防やまん延防止を図ることができたと考える。	4	8	特定年齢の男性等に対して行う無料の風しん抗体検査の終了に伴い、令和7年度は妊婦周り等の対象者に対する委託医療機関での無料の風しん抗体検査のみ実施。	実施医療機関	
				R7	実施回数	1	1	100	4	無	実施内容:妊婦周り等の対象者に対して医療機関で無料で風しん抗体検査を実施した。また、ホームページにより普及啓発を行った。 評価:風しんの感染予防やまん延防止を図ることができたと考える。	4	8	成人風しん予防接種事業との連携を図る。	実施医療機関	特定年齢の男性等に対して行う無料の風しん抗体検査の終了に伴い、令和7年度は妊婦周り等の対象者に対する委託医療機関での無料の風しん抗体検査のみ実施。

通し 番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合は その他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考
					指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意見 を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実施 者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果があったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				
64	健康診断等 の実施	健康増進課	事業名:高齢者の保健事業 と介護予防の一体的な実施 (ハイリスクアプローチ) 実施内容:75歳以上で健診 結果により糖尿病(糖尿病性 腎症)が疑われる方とレセプト により糖尿病の治療中断が 疑われる方へ、重症化予防、 疾病の早期発見のため、個 別に文書通知や健康相談を 実施する。	R5	健康相談実 施率	75	46	61	2	有	実施内容:KDBシステムを活用して対象者を抽出し、通知または電話で の受診勧奨を実施。 評価:委託契約の仕様上架電回数が2回に留まり、電話が繋がらなかった ことで健康相談実施率が低くなった。	4	6	アンケートの返信率の低さが実施率の 減少につながっている、まずは返信率 向上のためのナッジ理論等を活用した通 知内容を検討する。	—	実施率算出方法 対象者BDEのうち電話が 繋がった者÷対象者BDE のうちアンケートの返信 があった者
				R6	健康相談実 施率	75	82	100	4	有	実施内容:KDBシステムを活用して対象者を抽出し、通知または電話で の受診勧奨を実施。通知文について、検査数値を放置することで重症 化・合併症を招く危険性を伝えたとともに、ナッジ理論等を活用した通知 を行った。 評価:通知内容を工夫することで、アンケートの返信率が向上した。ま た、架電回数の仕様を変更したことで、架電率が向上した。	4	8	アンケートの返信率をより向上させる ための工夫。 保健指導の実施が対象者の健康づく りにつなげられるような、保健指導の 内容・体制の検討。	—	実施率算出方法 対象者BDEのうち電話が 繋がった者÷対象者BDE のうちアンケートの返信 があった者
				R7	健康相談実 施率	75	63.4	75	3	有	実施内容:KDBシステムを活用して対象者を抽出し、通知または委託事 業者により電話での受診勧奨を実施。 評価:5回架電での不通や拒否により、電話が繋がらない方が多い状 況であった。	4	7	電話による医療機関受診勧奨者の抽 出基準の見直しを行う 措置による電話勧奨も実施する。	委託先及び市役所	実施率算出方法 対象者BDEのうち電話が 繋がった者÷対象者BDE のうちアンケートの 返信があった者
65	健康診断等 の実施	健康増進課	事業名:健康診査事業 実施内容:心身の健康状態 を自覚し、健康の保持増進を 図るため、後期高齢者医療 保険加入者及び40歳以上の 生活保護受給者を対象者とし、 9月から11月まで健康診 査を実施する。	R5	受診率	43	40	93	4	無	実施内容:対象者全員に受診券・案内チラシを発送し、受診勧奨。医師会 委託により9月～11月に健診を実施した。受診にかかる自己負担は無 料。 評価:新型コロナウイルス感染症が収束してきたため、受診控えの反動 があるのではと思われたが、目標値には到達しなかった。	4	8	周知方法を見直す。 (ポスター、ホームページ等)	実施医療機関	
				R6	受診率	41	40	98	4	無	実施内容:対象者全員に受診券及び案内チラシを発送し受診勧奨。医師 会委託により9月～11月に健診を実施した。受診にかかる自己負担額 は無料。 評価:新型コロナウイルス感染症の収束により、前年比受診率は過去5 年間で一番増加したが、人口構成比上で厚みのある層の75歳到達に より対象者も増加し、受診率が目標値に達しなかった。	4	8	前年に引き続き広報媒体を利用し 受診を促す取組を実施したが、受診率は 微増にとどまった。対象年齢に効果的 な広報媒体について検討していき たい。	実施医療機関	
				R7	受診率	41	39.8	97	4	無	実施内容:医師会へ委託し、各実施医療機関で9月～11月に健康診査 を実施した。後期高齢者医療保険の加入者および40歳以上の生活保護 受給者である対象者全員に受診券・案内チラシを郵送して受診勧奨を行 うとともに広報紙やデジタルサイネージ、広報掲示板の掲載や公共施 設への案内チラシの配布により周知を行った。受診にかかる自己負担は 無料。 評価:対象者である75歳以上の人口も増加し、受診者数も前年より増加 しているが受診率は目標値に達しなかった。	4	8	引き続き対象者全員に郵送で受診勧 奨を行うとともに、今年度実施した 周知啓発に加え、LINE配信等のSNS を活用し受診率の向上に努める。ま た、周知啓発の内容を受診券だけ でなく、フレイル予防、健康寿命の延 伸等などの健康診査を受けることの 大切さが伝わるような内容にする ことを検討している。また年度の途中に75 歳の誕生日を迎える方のうち、特定検 診および職域検診の未受診者が健康 診査を受診できるように受診案内や ホームページに記載する等の工夫を 行う。	実施医療機関	受診率は令和8年2 月13日時点のもの。 の。

通し 番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合は その他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考
					指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意見 を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実施 者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果があったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				
66	健康診断等 の実施	健康増進課	事業名: 肝炎ウイルス検診事業 実施内容: 肝炎による健康被害を回避し、または症状を軽減し、進行を遅延させることを目的とし、40歳以上を対象に肝炎ウイルス検診を実施した。	R5	受診率 (40歳クーポン受診率)	6	5	83	3	無	実施内容: 対象者全員に受診券・案内チラシ発送し、受診勧奨。医師会委託により4月～翌年2月に検診を実施した。受診にかかる自己負担は無料。 評価: 令和2年度に受診率が上がり、その後も同水準の受診率を見込んだが、目標値には到達しなかった。	3	6	周知方法を見直す。 (ポスター、ホームページ等)	実施医療機関	
				R6	受診率 (40歳クーポン受診率)	5	3	60	2	無	実施内容: 対象者全員に受診券・案内チラシ発送し、受診勧奨。医師会委託により4月～翌年2月に検診を実施した。受診にかかる自己負担は無料。 評価: 昨年度に引き続き同水準の受診率を見込んだが、目標値には到達しなかった。	3	5	ポスターや市のホームページ等の周知方法を見直す。	実施医療機関	
				R7	受診率(40歳クーポン受診率)	4	3.58	90	3	無	実施内容: 対象者全員に受診券・案内チラシを発送し、受診勧奨を実施した。医師会委託により4月～翌年2月に検診を実施した。受診にかかる自己負担は無料。 評価: 昨年度に引き続き同水準の受診率を見込んだが、目標値には到達しなかった。	3	6	ポスターや市のホームページ等での周知以外に、LINE配信やエレベーターホールデジタルサイネージ等での周知を検討する。	実施医療機関	受診率は令和8年2月27日現在の実績値を元に算出。(受診者104人/対象者2902人)
67	健康診断等 の実施	健康増進課	事業名: がん検診事業 実施内容: がんの早期発見・早期治療につながることを目的として、さらなる受診率向上を目指して積極的な広報活動を行い、胃・大腸・肺・乳・子宮のがん検診を実施する。	R5	乳がん検診受診率	9.6	9.5	99	4	無	実施内容: がんの早期発見・早期治療につながることを目的として、さらなる受診率向上を目指して積極的な受診勧奨を行い、乳がん検診を実施する。 評価: 対象者に受診券を個別通知し、受診勧奨を行った。また、受診券再発行や集団検診の申込方法に電子申請を導入し利便性を高めた。ロビーサイネージ、ふれあいプラザ、ライン配信等で普及啓発を行った。	3	7	引き続き検診対象者への個別受診勧奨を行うとともに、受診券の再発行等、集団検診申込を電子申請を用いて利便性を確保する。また、ピンクリボン運動としてライトアップやライン配信等を活用し、がん検診の周知・受診率向上に努める。	実施医療機関	
				R6	乳がん検診受診率	9.6	9.57	100	4	無	実施内容: がんの早期発見・早期治療につながることを目的として、さらなる受診率向上を目指して積極的な受診勧奨を行い、乳がん検診を実施する。 評価: 対象者に受診券を個別通知し、受診勧奨を行った。また、受診券再発行や集団検診の申込方法に電子申請を導入し利便性を高めた。ピンクリボン運動としてのライトアップ、ロビーサイネージ、ふれあいプラザ、ライン配信等で普及啓発を行った。	4	8	引き続き検診対象者への個別受診勧奨を行うとともに、受診券の再発行等、集団検診申込を電子申請を用いて利便性を確保する。また、ピンクリボン運動としてライトアップやライン配信等を活用し、がん検診の周知・受診率向上に努める。	実施医療機関、保健所	
				R7	乳がん検診受診率	9.7	7.93	92	4	有	実施内容: がんの早期発見・早期治療につながることを目的として、対象者へ受診券を一斉発送し、個別受診勧奨を行うとともに、広報紙やデジタルサイネージ、LINE配信等で周知に努めた。 また、乳がん検診啓発イベントであるピンクリボン運動を実施し、市庁舎のライトアップや、参加型イベント、乳がん検診実施アンケート、プレストアウェアネスの普及啓発するなど、乳がん検診に関する意識の醸成に努めた。 評価: 検診を怖いと思って受けとけなかったが必要だと思ったなど、検診の重要性を知っていただくきっかけとなった。 また、アンケートを通してわずかながら検診を受けない理由や職域検診や人間ドックを受けている方のデータを取ることができた。	4	8	引き続き検診対象者への個別受診勧奨を行うとともに、受診券の再発行等、集団検診申込を電子申請を用いて利便性を確保する。また、ピンクリボン運動としてライトアップやLINE配信等を活用し、がん検診の周知・受診率向上に努める。ただし、これらによっても受診率の伸び悩みがあるため、未受診者への個別受診勧奨やその他の効果的な勧奨方法について検討する。	実施医療機関、保健所	2月17日時点の受診者数により計算。3350/42255件
68	その他	香川公民館	事業名: 現役世代のがん防災 実施内容: がんを告知されたときに慌てないためにも事前になんに関する情報について学ぶ。	R5	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容: がんを告知されたときに慌てないためにも事前になんに関する情報について学ぶ。 評価: 誰もがなる可能性のある病気に対しての事前の心構え、準備など、講師の実体験なども含めた講座で参加者の学びの機会となった。	4	8	対面とZOOMでの講座となり、通信環境が不安定だったため、ZOOMの設定に時間がかかった。	香川公民館	
				R6	実施回数	1	0	0	1	無	実施内容: 評価:	1	2	中止		中止(新規事業実施による予算不足のため)
				R7	予算不足のため実施予定なし											

通し 番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合は その他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考
					指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意見 を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実施 者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果があったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				
追加1	かかりつけ 医の推進	地域保健課	事業名：かかりつけ医の推進 実施内容：かかりつけ医の必要性や探し方を周知することで、病気の早期発見、早期治療、重症化予防をはかる。	R5	実施回数	4	5	100	4	無	実施内容：ホームページ、広報ちがさき、タウンニュース、本庁舎ロービーデジタルサイネージ、国保リーフレットにかかりつけ医の記事等を記載し普及啓発を実施した。 評価：様々な方法によりかかりつけ医の普及啓発を行うことができた。広報の記事を読んだ市民からの相談があった。	4	8	幅広い世代が情報を得られるよう普及啓発の方法を検討する必要がある。	市役所等	
				R6	実施回数	4	4	100	4	無	実施内容：ホームページ、広報ちがさき、本庁舎ロービーデジタルサイネージ、国保リーフレットにかかりつけ医の記事等を記載し普及啓発を実施した。 評価：昨年度に引き続き、かかりつけ医の普及啓発を行うことが出来た。様々な媒体で周知することにより少しでも多くの市民の目に触れることができた。	4	8	引き続き、幅広い世代が情報を得られるように普及啓発の方法を検討する必要がある。	市役所等	
				R7	実施回数	4	4	100	4	無	実施内容：ホームページ、広報ちがさき、本庁舎ロービーサイネージ、国保リーフレットにかかりつけ医の記事等へ掲載し普及啓発を実施した。 評価：昨年度に引き続き、かかりつけ医の普及啓発を行うことができた。紙面やSNSなど様々な媒体で周知することにより多くの市民の目に触れることができ、掲載記事を読んだ市民から相談もあった。	4	8	引き続き、幅広い世代が情報を得られる普及啓発の方法を検討していく。	市役所等	
追加2	健康診断等 の実施	こども育成 相談課	事業名：妊産婦健康診査 実施内容：妊産婦健康診査の費用を助成し、妊産婦の健康管理の推進を図る。	R5	受診率	90	84	93	4	無	実施内容：妊産婦健康診査費用補助券を交付することで、健診の費用を助成し、妊産婦の健康管理の推進を図った。 評価：産婦健康診査費用の助成を開始し、産褥期の心身の回復状況を確認し、必要時は産後ケア事業等の支援につなげることができた。	4	8	引き続き妊産婦の健康管理の推進に取り組んでいく。	実施医療機関	
				R6	受診率	90	84	91	4	無	実施内容：妊産婦健康診査費用補助券を交付することで、健診の費用を助成し、妊産婦の健康管理の推進を図った。 評価：産婦健康診査費用の助成を開始し、産褥期の心身の回復状況を確認し、必要時は産後ケア事業等の支援につなげることができた。	4	8	引き続き妊産婦の健康管理の推進に取り組んでいく。	実施医療機関	実績内訳 妊婦健康診査 84.6% 産婦健康診査 84.0%
				R7	受診率	82	84	100	4	無	実施内容：妊産婦健康診査費用補助券を交付することで、健診の費用を助成し、妊産婦の健康管理の推進を図った。 評価：妊産婦及び産褥期の心身の回復状況を確認し、必要時は産後ケア事業等の支援につなげることができた。	4	8	引き続き妊産婦の健康管理の推進に取り組んでいく。	実施医療機関	妊婦健康診査 85.8% 産婦健康診査 81.6% (令和7年12月時点)

通し 番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合 はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考
					指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意 見を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実 施者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果があったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				
追加3	健康診断等 の実施	こども育成 相談課	事業名:乳幼児健康診査事 業(4か月児健康診査、10 ~11か月児健康診査、1歳 6か月児健康診査、3歳6か 月児健康診査) 実施内容:乳幼児の身体測 定及び発育・発達の確認等 を行い、必要に応じて保健指 導の実施、精密健診のため の医療機関紹介を行う。	R5	受診率	97	92	95	4	無	実施内容:小児科医師・歯科医師による診察と看護師による乳幼児の身体測定、保健師や心理士による発育・発達の確認等を行い、必要に応じて保健指導の実施、精密健診のための医療機関紹介を行った。 評価:適切な時期に受診していただけるよう勧奨するとともに、乳幼児の身体測定及び発育・発達の確認等で市内の乳幼児の健康状態を確認することが出来た。	4	8	引き続き適切な時期に受診していただけるよう取り組んでいく。	4か月児健康診査、10 ~11か月児健康診査: 実施医療機関 1歳6か月児健康診査: 3歳6か月児健康診査: 保健所	
				R6	受診率	97	96	99	4	無	実施内容:小児科医師・歯科医師による診察と看護師による乳幼児の身体測定、保健師や心理士による発育・発達の確認等を行い、必要に応じて保健指導の実施、精密健診のための医療機関紹介を行った。 評価:適切な時期に受診していただけるよう勧奨するとともに、乳幼児の身体測定及び発育・発達の確認等で市内の乳幼児の健康状態を確認することが出来た。	4	8	引き続き適切な時期に受診していただけるよう取り組んでいく。	実績内訳 4か月児健康診査 97.9% 10~11か月児健康診査 96.8% 1歳6か月児健康診査 98.8% 3歳6か月児健康診査 91.2%	
				R7	受診率	97	97	100	4	無	実施内容:小児科医師・歯科医師による診察と看護師による乳幼児の身体測定、保健師や心理士による発育・発達の確認等を行い、必要に応じて保健指導の実施、精密健診のための医療機関紹介を行った。 評価:適切な時期に受診していただけるよう勧奨するとともに、乳幼児の身体測定及び発育・発達の確認等で市内の乳幼児の健康状態を確認することが出来た。	4	8	引き続き適切な時期に受診していただけるよう取り組んでいく。	実績内訳 4か月児健康診査、10 ~11か月児健康診査: 実施医療機関 1歳6か月児健康診査: 3歳6か月児健康診査: 保健所 97.9%(令和7年12月時 点) 96.1%(令和7年12月時 点) 98.8%(令和8年1月時 点) 93.2%(令和8年1月時 点)	

【施策1】【一次予防】生涯を通じた歯と口の健康づくりの推進

【行政の主な取組】

- ・歯と口に関するイベントや教室、学校教育などを通じた普及啓発
- ・歯と口に関する相談体制の充実

指標の達成状況に対する評価	3.9 / 4	取組内容に対する評価	3.8 / 4	7.8 / 8
---------------	---------	------------	---------	---------

通し 番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合 はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考
					指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意見 を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実施 者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果が あったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				
1	歯と口に関するイベント や教室	保険年金課	事業名: 歯と口腔の健康づくり事業 実施内容: R5特定健診結果説明会で歯科コーナーを設け、歯科健康づくりの啓発や希望者に歯科保健指導や測定等を実施	R5	実施回数	2	2	100	4	有	実施内容: 健診結果説明会で歯科コーナーを設け、歯科医師及び歯科衛生士が歯科健康づくりに関する啓発や相談、舌圧測定を実施した。 評価: 口腔ケアについて考える良い機会となったという参加者からの意見も複数あり、生活習慣病と関連のある歯と口腔の健康づくりについて周知することができた。	4	8	歯科医師会との連携を強化し、歯と口腔の健康づくりについて普及啓発を行っていく。	市役所	
				R6	実施回数	2	2	100	4	有	実施内容: 健診結果説明会で歯科コーナーを設け、歯科医師及び歯科衛生士による歯の健康づくりに関する啓発や相談、舌圧測定を実施した。 評価: アンケート結果から、歯周病と生活習慣病の関連性について理解している人は少ないため、今後も継続して啓発していく。 舌圧測定では、飲み込む力や噛む力の大切さを知ることで、歯の健康づくりの意識づけにつながった。	4	8	歯の健康づくり(歯周病と生活習慣病の関連性)について、継続して周知していく。	地域医療センター	
				R7	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容: 健康づくりスタート講座で、歯科コーナーを設け、歯科医師及び歯科衛生士が歯科健康づくりに関する啓発や相談、舌圧測定を実施した。実際の参加者(64人)のうち、舌圧測定は62人、歯科相談は12人に実施した。また、参加者全員に歯科のリーフレットを配布し、歯科医師からは全体に向けた話の中で生活習慣病と歯周病の関連性について触れる機会があった。 評価: アンケート結果によると、歯周病と生活習慣病の関連性の理解については、「分かった」「まあまあ分かった」と答えた参加者が7割以上となるなど、令和6年度よりも増えていた。また、全体に向けて、歯科医師からの周知が行われたのは昨年度と大きく違う点であったが、直接歯科医師から話しがあったことで普及啓発の効果も大きかったと思われる。なお、舌圧測定は毎年人気で、参加者の9割以上が受けている。参加者の意見も、「舌の訓練を取り入れたい」「舌圧測定を初めて経験。自分の現在の状況が分かりこれからは努力したい」、など積極的な意見もあった。総じて、本講座が、口腔の健康についても考えてもらう良い機会となっていると考えられる。	4	8	令和8年度も、10月に健康づくりスタート講座を実施予定である。引き続き、歯科医師会との連携を強化して、生活習慣病と歯周病の関連性を普及・啓発していく予定である。	地域医療センター	

通し 番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合 はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考
					指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意見 を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実 施者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果が あったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				
2	歯と口に関するイベント や教室	こども育成 相談課	事業名:1歳児の食事と歯の 教室 実施内容:1歳児の生活習 慣や口腔衛生、食事、遊び 等に関する知識の普及を行 う。	R5	参加組数	220	146	66	2	有	実施内容:栄養士・歯科衛生士・保健師からの講義による、1歳児の生活習慣や口腔衛生、食事、遊び等に関する知識の普及。 評価:離乳完了期の食事の進め方や口腔ケア、生活リズムに関する知識を普及することができた。	3	5	引き続き、歯と口腔の健康づくりの重要性について普及啓発を実施するとともに、参加人数を増やせるよう工夫する。	地域医療センター	
				R6	参加組数	220	138	63	2	有	実施内容:栄養士・歯科衛生士・保健師からの講義による、1歳児の生活習慣や口腔衛生、食事、遊び等に関する知識の普及。 評価:離乳完了期の食事の進め方や口腔ケア、生活リズムに関する知識を普及することができた。	3	5	令和7年10月より開催回数を月1回から月2回に、1回あたりの定員を2組から16組に変更した。年間の参加可能数は減となるが、開催時間を参加しやすい時間に調整したことで参加率は高まると考えられる。引き続き歯と口腔の健康づくりの重要性について普及啓発を実施する。	地域医療センター	
				R7	参加組数	173	138	80	3	有	実施内容:栄養士・歯科衛生士・保健師からの講義による、1歳児の生活習慣や口腔衛生、食事、遊び等に関する知識の普及。 評価:離乳完了期の食事の進め方や口腔ケア、生活リズムに関する知識を普及することができた。	3	6	教室内容についてブラッシュアップを行いつつ、引き続き歯と口腔の健康づくりの重要性について普及啓発を実施する。	地域医療センター	令和8年2月時点
3	歯と口に関するイベント や教室	健康増進課	事業名:歯と口の健康週間イベント「歯っぴいデー」 実施内容:歯科保健に関する普及啓発のため、講演会や歯科医師による個別相談、くち体操、歯磨き指導、お口チェックなど市民参加のイベントを実施する。	R5	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:歯科医師による講演会と個別相談会、8020体操、歯科衛生士によるブラッシング教室、顕微鏡を使用した歯周病検査、協定締結企業による健康測定会 評価:歯科医師会や協定締結企業と協力して、歯科保健に関する普及啓発を実施できた。	4	8	翌年度は「食育フェスタ」との同時開催を予定。歯と口の健康づくりと食育とを連携させた実施体制を検討する。	市役所	
				R6	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:歯科医師による講演会と個別相談会、8020体操、歯科衛生士によるブラッシング教室、顕微鏡を使用した歯周病検査、協定締結企業による健康測定会を実施。アンケート結果より、イベントの満足度の高さや、オーラルフレイル・食育の認知度を把握することができた。また、「食育フェスタ」との同時開催し、歯と口の健康づくりと食育とを連携させた実施体制とすることができた。 評価:歯科医師会や協定締結企業と協力して、歯科保健に関する普及啓発を実施できた。さらに、歯と口の健康づくりと食育とを連携させた普及啓発とすることができた。	4	8	市民の関心や課題に応じた実施内容の検討。より効果的な歯と口の健康づくりと食育とを連携させた普及啓発方法の検討。	市役所	
				R7	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:歯科医師による講演会と個別相談会、8020体操、歯科衛生士によるブラッシング教室、顕微鏡を使用した歯周病検査、舌圧測定、協定締結企業による健康測定会を実施。アンケート結果より、イベントの満足度の高さや、オーラルフレイル・食育の認知度を把握することができた。また、「食育フェスタ」と同時開催し、歯と口の健康づくりと食育とを連携させた実施体制とすることができた。 評価:歯科医師会や協定締結企業と協力して、歯科保健に関する普及啓発を実施できた。さらに、歯と口の健康づくりと食育とを連携させた普及啓発とすることができた。	4	8	市民の関心や課題に応じた実施内容の検討。より効果的な普及啓発方法の検討。	市役所	

通し 番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考		
					指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意見 を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実施 者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果が あったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②						
4	歯と口に関するイベント や教室	鶴嶺公民館	事業名:親子歯みがき教室 実施内容:子どもが歯みがきの習慣を身に着けることができる講座を実施する。(花王グループカスタマーマーケティング(株)協力)	R5	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:3~6歳の子とその保護者と対象に、正しい歯みがきの仕方を学ぶ講座を実施した。 評価:「子どもが楽しそうに歌をうたいながら歯みがきの練習をしていて良かったです。」などの意見をいただき、子どもが楽しく歯みがきの習慣を身に着ける機会を作ることができた。	4	8	近隣小学校の運動会の雨天延期日と重なり、当日キャンセルが多かった。近隣小中学校の行事に配慮する。	鶴嶺公民館			
				R6	実施なし													削除(令和6年度事業に選定されなかったため)
				R7	選定されなかったため実施なし													
5	歯と口に関するイベント や教室	鶴嶺公民館	事業名:口腔ケア講座 実施内容:シニアを対象に、正しい口腔ケアを学ぶ講座。(花王グループカスタマーマーケティング(株)協力)	R5	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:歯周病・歯が抜ける原因とメカニズムや歯と歯ぐき・舌のケアを学び、各自持参した歯ブラシで、正しい歯磨きの仕方を学ぶ講座を実施した。 評価:「必要とは感じていたが、毎日の手入れが不足していたと思った。今日から学んだ事を実践していきたい。」などの意見をいただき、歯と口の健康づくりの普及啓発を図る機会を作ることができた。	4	8	「シニアのための口腔ケア講座」という講座名で実施したが、高齢者には、「シニア」という表記に抵抗があるようだったので、シニアを対象とした事業に、「シニア」という表記は使用しない。	鶴嶺公民館	公民館5館による連携講座の他、鶴嶺公民館単独で行っている事業。令和6年度以降の実施は未定。		
				R6	実施なし												削除(令和6年度事業に選定されなかったため)	
				R7	選定されなかったため実施なし												削除(令和7年度事業に選定されなかったため)	

通し 番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合 はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考	
					指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意 見を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実 施者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果が あったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②					
6	歯と口に関するイベント や教室	松林公民館	事業名:シニアの口腔ケア 実施内容:シニアのための正しい口腔ケアを学ぶ講座。(花王と公民館5館による連携講座)	R5	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:正しい歯磨きの仕方や、舌体操等の口腔ケアを学ぶ。 評価:歯磨き粉の使い方や、磨き方の方法等が学べ評価が高かった。	4	8	関心の高い参加者が多かったため、時間が足りなかった。	松林公民館		
				R6	実施なし												削除(令和6年度事業に選定されなかったため)
				R7	選定されなかったため実施なし												
7	歯と口に関する普及啓発(学校教育などを含む)	高齢福祉課	事業名:フレイル予防教室 実施内容:早期に虚弱の兆候に気づき、予防するため、簡易的なチェックを実施する。	R5	実施回数	10	10	100	4	無	実施内容:フレイルサポーターによるイレブンチェックと深堀チェック、フレイルについての説明、介護予防体操を実施し、その中でオールフレイルに関するチェックを行う。 評価:コロナ明け、今年度から深堀チェックまですべてのフレイルチェックを実施し、参加者へのオールフレイルを含めたフレイル予防への啓発ができた。しかしフレイルチェックの結果から他の事業等へつなげる取組ができなかったことが課題。	3	7	参加者数が少ないことが課題であり、周知方法や関係する事業との連携を図っていく。またフレイルチェックの結果から他への事業や包括などの地域資源などにつなげる取組を強化していく必要がある。	公民館やコミュニティセンター等の公共施設		
				R6	実施回数	10	10	100	4	無	実施内容:フレイルサポーターによるイレブンチェックと深堀チェック、フレイルについての説明、介護予防体操を実施し、その中でオールフレイルに関するチェックを行う。 評価:昨年度と同じ事業内容だが、周知方法を健康増進課と連携した結果、参加者が大幅に増加した。また7割近くが新規参加者のため多くの市民にオールフレイルを含めたフレイル予防への啓発ができた。またフレイルハイリスク者への電話かけを行い、必要に応じて介護予防事業や包括支援センターなどの相談先などにつなげた。	4	8	令和7年度にフレイルサポーターの養成講座を実施予定。サポーターの増員に伴い、会場を増やし、さらに参加者数を増加を目指す。また早期にハイリスク者を見つけ、個別対応を進めていく。また講演会や市内ショッピングセンターでのイベントなどを通してフレイルの普及と事業の周知を進めていく。	公民館やコミュニティセンター等の公共施設		
				R7	実施回数	13	14	100	4	無	実施内容:フレイルサポーターによるフレイルに関する測定とフレイルの説明と予防方法等を実施する。 評価:昨年度よりも参加者が増加し、1会場追加で実施した。また半分以上が初めての参加者で多くの市民にフレイルの啓発ができた。またフレイルハイリスク者の把握にもつながり、必要に応じて介護予防事業や包括支援センターなどにつなげ、効果的に介護予防へつなげることができた。	4	8	次年度より高齢者の一体的実施におけるポピュレーションアプローチ事業は、フレイルチェック事業で実施していく。これに伴い今年度はサポーターの養成を行い、大幅にサポーター数が増えた。今後はサポーターが活動できるような場数の増加や地域の高齢者の集いの場などに出張できるようにサポーターへの教育等が必要となる。	公民館やコミュニティセンター等の公共施設		

通し番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考
					指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意見 を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実施 者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果が あったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				
8	歯と口に関する普及啓発(学校教育などを含む)	高齢福祉課	事業名:介護予防講演会(歯科講演会) 実施内容:茅ヶ崎歯科医師会に委託し、歯科医師による講演や口腔機能に関する簡易チェックなどを実施する。	R5	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:歯科医師会に委託し、歯科医師による講演会を実施。今回のテーマはオーラルフレイルをテーマとし、ハタカテスト(オーラルディアドコキネシス)や舌圧テストなどを実施した。 評価:アンケート結果から参加者の満足度が高く、オーラルフレイルへの認識及び進行予防へのきっかけづくりにつながった。	4	8	測定など体験しながら、受講できる講演会は人気があり、満足度が高い。次年度も測定など体験できる内容を踏まえ、歯科医師と相談しながら、内容を検討して進めていく。	地域医療センター	
				R6	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:歯科医師会に委託し、歯科医師による講演会を実施。今回は心の健康と歯の健康の関連をテーマとして講演を行った。ハタカテスト(オーラルディアドコキネシス)や舌圧テストなど、計測も実施した。 評価:心と歯の健康ということで、珍しい切り口だったこともあり、また聞きたいと声をかけてくださる方もいた。毎年楽しみにしているという参加者もあり、引き続きよいテーマ選択をしていきたい。	4	8	参加者の満足度が高い割に、参加申し込みが伸び悩む印象がある。計測等ができることは参加者にとって参加意欲につながるもので、広報周知の方法を検討していきたい。	地域医療センター	
				R7	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:歯科医師による講演会を実施する。今回はオーラルフレイルと姿勢をテーマにした講演を実施した。併せて、口腔機能測定(オーラルディアドコキネシス、舌圧テストなど)と8020運動推進員によるお口の体操も実施した。 評価:講話だけでなく、測定も実施することで参加者自身のオーラルフレイルを把握することでき、また8020運動推進員によるお口の体操を実践することで、自宅でも実施できるという意見があった。満足度が高く、今後オーラルフレイル予防に努めてもらえるような意見等があったことからオーラルフレイルの予防啓発として適切な内容であった。	4	8	参加者の満足度が高い反面、測定を実施することで参加者人数が30人までと限局的になってしまふ。ポピュレーションとして実施するために参加者を増やすことを講師と相談し、次年度もオーラルフレイル予防を中心とした講演会を実施していく。	地域医療センター	
9	歯と口に関する普及啓発(学校教育などを含む)	高齢福祉課	事業名:介護予防講演会(転倒予防教室) 実施内容:茅ヶ崎歯科医師会に委託し、転倒予防教室において歯科医師等による講話を実施する。	R5	実施回数	6	6	100	4	無	実施内容:歯科医師会への委託にて、転倒予防教室19会場のうち6会場で参加者に向けた歯科講演(15~30分)を行った。受講者には、歯科医師が用意した配布資料(冊子)を元に説明を実施した。 評価:転倒予防教室には常連の参加者があり、歯科講演会の聴講者のうち半分近くが他の会場でも受講していた。講師は、各会場で別々の歯科医師が担当し、配布資料に沿って説明することで、不変的に分かりやすく実施することができた。	3	7	転倒予防教室において、常連の参加者ではなく、新規の参加者に話すことで多くの人へ知ってもらうための対策が必要。次年度は同じ地区にならないよう、なるべく地区がばらけるよう、委託先と調整していく。	公民館やコミュニティセンター等の公共施設及び事業者会場1か所	
				R6	実施回数	6	6	100	4	無	実施内容:歯科医師会へ委託にて、転倒予防教室20会場のうち6会場で参加者に向けた歯科講演(15分程度)を行った。 受講者には、歯科医師が用意した配布資料(冊子)を元に説明を実施した。 評価:転倒予防教室には常連の参加者があり、歯科講演会の聴講者のうち半分近くが他の会場でも受講していた。講師は、各会場で別々の歯科医師が担当し、配布資料に沿って説明することで、不変的に分かりやすく実施することができた。	3	7	歯科医師の休診日と事業の日程の関係で、例年と同じ会場での開催とならなかったため、昨年度の課題解決には至らなかった。事業の見直しをし、次年度は【歯科】施策1通し番号追加2の”支援者向け介護予防講演会”として、介護予防ボランティアに対してオーラルフレイルの教育を行い、ボランティア活動から市民へオーラルフレイルの普及を進めていく。	公民館やコミュニティセンター等の公共施設及び事業者会場1か所	
				R7	事業の見直しのため実施なし											

通し 番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合は その他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考
					指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意見 を踏まえて評価を 記入 ※「無」の場合は実施 者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果が あったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				
10	歯と口に関する普及啓発(学校教育を含む)	保育課	事業名:口腔衛生についての基礎づくり 実施内容:保育の中で食後のうがいや歯磨き等に関する基礎を学ぶ場を設ける。	R5	実施施設数	79	73	92	4	無	実施内容:食事後のうがい又は歯磨きの習慣化を行った。歯磨き時の園児へ個別での声掛けや歯ブラシをくわえたまま歩かないよう指導した。 評価:食後の歯ブラシの習慣がついている。	3	7	コロナ禍で一度中止した歯磨きと復活できていない保育園が複数あったため、復活できる保育士の体制をとる。	保育所、幼稚園	
				R6	実施施設数	79	76	96	4	無	実施内容:食事後のうがい又は歯磨きの習慣化を行った。虫歯予防デー(6月4日)を設け歯垢チェック液を使用して歯磨きの大切さを伝えた。 絵本「はみがきあそび」を読み聞かせた。 評価:コロナが明けたことで去年よりも実施園が増えたと考える。食後の歯ブラシの習慣がついている。子どもにわかりやすく伝える工夫をしていることでより学べている。	3	7	指導内容に各園で温度差があるため、最低限抑えるポイントは今後共有していきたい。	保育所、幼稚園	
				R7	実施施設数	79	75	95	4	有	食事後のうがいや歯磨きの習慣化を行なった。歯磨き時の園児へ個別の声かけや歯ブラシをくわえたまま歩かないよう指導した。 食後のうがいや紙芝居、絵本などで歯の大切さを知らせる。6月4日前後には特に意識をして実施。	3	7	コロナ後、歯磨きの実施と未実施の園と対応が分かれており、保育士不足で再開することが難しいと検討中の園もある。歯磨きできなくとも、6月4日前後の口腔衛生の大切さについて各園で取り組めるよう、サポートしていく必要がある。	保育園、幼稚園	
11	歯と口に関する普及啓発(学校教育を含む)	地域保健課	事業名:8020運動推進員育成事業 実施内容:8020運動やオーラルフレイル予防対策を普及推進する歯及び口腔の健康づくりのボランティアの養成、育成を行う。	R5	実施回数	2	3	100	4	有	実施内容:コロナ禍で、書面研修となっていたが3年振りに対面による養成・育成の研修会を開催した。研修内容は口腔の機能、健口体操の意義、8020運動推進員の役割、災害に向けて唾液の重要性等について講義、実習を行った。また、8020運動推進員の活動支援及び、健口体操の普及を図るため、ミニデイサロンの健口体操のモデル事業を7か所実施した。 評価:コロナ禍で書面研修となった育成研修(2回開催)対象者のうち、76.9%の推進員が対面で受講した。3回の養成・育成研修内容の理解度の平均は98.8%、活用可能性の平均は100%だった。また、モデル事業にて6か所のミニデイサロンが自主的に実施可能となった。	4	8	ミニデイサロンのモデル事業の実施の中で、新たな8020運動推進員の養成、コロナ禍で活動休止となっていた推進員の掘り起こしを行い、推進員の拡充を図り、オーラルフレイル対策(健口体操の推進)に務める。	保健所、地域医療センター	
				R6	実施回数	3	2	67	2	有	実施内容:昨年に引き続き、対面形式の研修会を開催し新人及び現8020運動推進員の養成と活動支援を行った。健口体操普及モデル事業で介入したミニデイサロンへ事業評価のアンケートを実施した。 評価:新人8020運動推進員(4名)の養成。サロンで健口体操を継続実施した参加者の変化についてアンケートでは、積極性の向上66.7%、普段の表情が豊かになった83.3%、口腔ケアを含めた口腔への意識の向上66.7%と概ね高結果が得られた。	4	6	新人及び現8020運動推進員の養成及び活動支援。「ミニデイサロン等での健口体操普及モデル事業」について庁内関係課と情報共有等の連携、社協と連携した新規実施ミニデイサロンの拡大。	保健所、地域医療センター、市内のミニデイサロン等	
				R7	実施回数	2	3	100	4	有	実施内容:新人及び現8020運動推進員の養成及び活動支援。 評価:養成研修は引き続き実施。育成研修の時期と回数を見直し実施した。	4	8	新人及び現8020運動推進員の養成及び活動支援、オーラルフレイル対策として、関係各課と連携し「健口体操(湘南くち体操)」の普及を推進していく。	保健所、地域医療センター、市内のミニデイサロン等	

通し 番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合は その他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考
					指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意見 を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実施 者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果が あったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				
12	歯と口に関する普及啓発(学校教育などを含む)	地域保健課	事業名:在宅歯科衛生士活動支援事業 実施内容:歯科保健事業従事者等に対する研修を行い、資質の向上、地域における歯科保健指導内容の充実及び標準化を図る。	R5	実施回数	4	4	100	4	有	実施内容:地域の歯科保健の状況や課題についての研修(講義)を行った。また、市の事業や地域からの健康教育等の依頼について会員間で情報共有し、知識の向上や活動の支援を行なった。 評価:市の事業や地域で活動できる歯科衛生士が増えた。	4	8	引続き、地域における歯科保健の現状を共有し、歯科保健指導内容の充実及び標準化を図る。	保健所	
				R6	実施回数	4	4	100	4	有	実施内容:市や歯科医師会等の事業に従事した会員の活動内容についての情報交換や地域の歯科保健の現状や課題について共有する連絡会や研修会を通し活動支援を行った。 評価:新規会員の加入。市等から継続した従事依頼がある。	4	8	地域における歯科保健の現状を共有し、歯科保健指導内容の充実及び標準化を図る。	保健所	
				R7	実施回数	4	4	100	4	有	実施内容:歯科保健関係各課、歯科医師会等の事業に従事した会員の活動内容の情報交換や地域の歯科保健の現状や課題について共有する定例会(連絡・研修会)を開催し活動支援を行った。 評価:定例会への出席率が上がった。	4	8	地域における歯科保健の現状を共有し、歯科保健指導内容の充実及び標準化を図る。	保健所	
13	歯と口に関する普及啓発(学校教育などを含む)	健康増進課	事業名:歯と口の健康週間の啓発 実施内容:広報紙やサイネージ、展示、ラジオでの歯周病や歯間部清掃用具などに関する普及啓発を実施する。	R5	実施回数	2	2	100	4	無	実施内容:歯と口の健康週間に合わせた展示(6/1~6/15)を実施。さらに、歯科医師会監修のもと、FMラジオにて「定期的な歯科健診」の必要性の普及啓発を11/11に実施。 評価:歯と口の健康週間に合わせた普及啓発に加え、歯科医師会と協力して普及啓発を実施できた。	4	8	市民の関心等に応じて、普及啓発の内容を検討する必要がある。	市役所	
				R6	実施回数	2	2	100	4	無	実施内容:歯と口の健康週間に合わせた展示(6/6~6/14)を実施。さらに、歯科医師会監修のコメントを、ホームページにて掲載し「歯周病と全身の健康」の関連性の普及啓発を実施。 評価:歯と口の健康週間に合わせた普及啓発に加え、歯科医師会と協力して普及啓発を実施できた。	4	8	市民の関心・課題に応じて、普及啓発の内容を検討する必要がある。	市役所	
				R7	実施回数	2	2	100	4	無	実施内容:歯と口の健康週間に合わせた展示(6/2~6/13)を実施。さらに、歯科医師会監修のコラム「実は働き者、唾液のお話」を、ホームページにて掲載し普及啓発を実施。 評価:歯と口の健康週間に合わせた普及啓発に加え、歯科医師会と協力して普及啓発を実施できた。	4	8	市民の関心・課題に応じて、普及啓発の内容を検討する必要がある。	市役所	

通し 番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合 はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考		
					指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意見 を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実施 者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果が あったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②						
追加1	歯と口に関する普及啓発(学校教育などを含む)	高齢福祉課	事業名:歌体操教室 実施内容:主に介護予防とした、歌体操ボランティアによる体操教室で、曲を歌いながら全身運動及びお口の体操を行う。	R5	実施会場数	21	22	100	4	無	実施内容:歌体操ボランティアによる歌体操「ねぼし」を身近な会場で実施し、その中でお口の体操を実施した。 新規会場として、ハマミーナ(4月)茅ヶ崎地区コミセン(9月)、身体障害者福祉協会(農協ビル)(9月)で実施した。 評価:全会場でお口の体操を実施することができ、お口への健康意識を高めることができた。	4	8	キャンセル待ちの会場も多くなっており、新設会場の増設のためボランティアの養成を実施する予定。ニーズの高い地区から会場を開設していく。	自治会館など身近な会場			
				R6	実施会場数	23	24	100	4	無	実施内容:歌体操ボランティアによる歌体操「ねぼし」を身近な会場(自治会館など)で実施する。 新規会場として、室田自治会館(9月~)で実施した。 評価:継続して参加している方が多く、介護予防につながっていると考え。またボランティアの健康増進にもつながっている。	4	8	ボランティアが不足している会場や、参加者が職員でキャンセル待ちとなっている会場、未開設地区もある。既存会場のボランティアを増やすことや、新規会場開設のため、ボランティアの養成を実施していく必要がある。	自治会館など身近な会場			
				R7	実施会場数	25	25	100	4	無	実施内容:歌体操ボランティアによる歌体操「ねぼし」を身近な会場(自治会館など)で実施する。 新規会場として、海岸地区コミュニティセンター(10月~)で実施した。 評価:口体操を行った後、参加者から「意外と大変」等の声が上がること多く、普段使わない筋肉の活用という点で健康増進に繋がっている。	4	8	最初のボランティア養成からまもなく10年が経過する時期であり、ボランティアの高齢化が課題である。複数会場でボランティア不足となり、続けているボランティアも少ない人数の中で運営していくことへのプレッシャーを感じている人もいる。新規ボランティアの養成、若年層の確保も目指していく必要がある。	自治会館等身近な会場			
追加2	歯と口に関する普及啓発(学校教育などを含む)	高齢福祉課	事業名:支援者向け介護予防講演会(歯科講演会) 実施内容:主に介護予防とした、ボランティアに対するオーラルフレイルの普及を目的とした研修会や講演会を行う。	R5												実施なし		
				R6														実施なし
				R7	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:介護予防ボランティア(フレイルサポーター)に対し、歯科医師からオーラルフレイルに関する研修(講演)を実施する。 評価:今年度より初めて支援者に向けた講演会を実施した。参加者からの満足度が高く、またオーラルフレイルについて今後のボランティア活動に活かせると回答した人が多くいた。フレイルサポーターの活動でオーラルフレイルに関する測定や説明があるため、本研修の成果があったと評価する。	4	8	次年度は、別の介護予防ボランティアに向けた研修を検討していく。また支援者の特徴や活動内容を踏まえ、依頼先と調整して講演内容を決めていく。	地域医療センター			

通し 番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合は その他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考	
					指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意見 を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実 施者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果が あったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				取組 評価点 ①+②
追加3	歯と口に関する普及啓発(学校教育などを含む)	高齢福祉課	事業名:頭と体の元気アップ教室	R5											実施なし	
			実施内容:地域支援事業の一般介護予防事業普及啓発事業として、虚弱傾向及び認知機能の低下が生じやすい高齢者を対象に、おおむね4か月で柔軟体操や筋力の向上に向けた運動、及び認知機能の低下の予防にかかるプログラムなど、複合的な機能の向上を目指す教室	R6												実施なし
				R7	実施回数	20	22	100	4	有	実施内容:高齢者に必要な運動、認知症予防、栄養、口腔の4つの視点から、13回のコースで予防的なアプローチを行う。そのうち、歯科については1教室につき、2回実施した。 評価:教室前後の体力測定等では唾液飲み込みについては有意差はなかったが、参加者からは口腔ケアの大切を実感し、自宅でも継続していきたいとの感想が多かった。	4	8	教室の中で口腔にかかるプログラムの回数を増やすことは難しいので、内容の充実を図れるよう、受託事業者と相談していきたい。	浜見平団地集会所・青少年会館他委託事業者会場等7会場	当初10教室の予定だったが、参加者が多く1教室増やしたため、11教室(各2回)で実施。

【施策2】【二次予防】歯科口腔保健対策の推進

【行政の主な取組】

- ・歯科健康診査等の実施
- ・かかりつけ歯科医の推進
- ・歯科保健の体制整備

指標の達成状況に対する評価	3.9 / 4	取組内容に対する評価	3.9 / 4	7.8 / 8
---------------	---------	------------	---------	---------

通し 番号	取組 ※リストから選 択(該当ない場 合はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考	
					指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意 見を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実 施者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成 果があったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点を記入)	評価点 ②				取組 評価点 ①+②
14	歯科健康診 査等の実施	こども育成 相談課	事業名: 幼児歯科健康診査 事業(1歳6か月児歯科健康 診査、3歳6か月児歯科健康 診査) 実施内容: 幼児期における 口腔内の状況を確認し、う蝕 の早期発見と予防等に関する 指導を行う。	R5	受診率(%)	97	95	98	4	無	実施内容: 幼児期における口腔内の状況を確認し、う蝕の早期発見と予防等に関する指導を行った。 評価: 幼児期における口腔内の状況を確認し、母親を中心とした養育者が育児の一環として歯科保健の保持増進に継続的に努めることができるよう支援した。	4	8	引き続き乳幼児の歯科保健の保持増進に継続的に努めることができるよう取り組んでいく。	保健所	
				R6	受診率(%)	97	94	97	4	無	実施内容: 幼児期における口腔内の状況を確認し、う蝕の早期発見と予防等に関する指導を行った。 評価: 幼児期における口腔内の状況を確認し、母親を中心とした養育者が育児の一環として歯科保健の保持増進に継続的に努めることができるよう支援した。	4	8	引き続き乳幼児の歯科保健の保持増進を継続的に行っていく。	保健所	
				R7	受診率(%)	97	96	99	4	無	実施内容: 幼児期における口腔内の状況を確認し、う蝕の早期発見と予防等に関する指導を行った。 評価: 幼児期における口腔内の状況を確認し、母親を中心とした養育者が育児の一環として歯科保健の保持増進に継続的に努めることができるよう支援した。	4	8	引き続き乳幼児の歯科保健の保持増進を継続的に行っていく。	保健所	1歳6か月児健康診査・・・98.6% 3歳6か月児健康診査・・・93.2%

通し 番号	取組 ※リストから選 択(該当ない場 合はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考	
					指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意 見を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実 施者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成 果があったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				取組 評価点 ①+②
15	歯科健康診 査等の実施	こども育成 相談課	事業名:妊婦歯科(歯周病) 健康診査 実施内容:妊娠期における 口腔内の状況を確認し、う蝕 の早期発見と予防等に関する 指導を行う。	R5	受診率(%)	35	9	26	1	無	実施内容:早流産や低出生体重児の原因の一つ に歯周病が挙げられていることから、歯周病の 予防・早期発見を行い、適切な治療に結びつけ ることで、妊娠・出産が安心してできるように支援 する。 評価:歯周病の予防・早期発見を行い、適切な治 療に結びつけることで、妊娠・出産が安心してで きるように支援した。	3	4	引き続き受診率を延ばせるよう周知等 取り組んでいく。	実施医療機関	実績値は令和5 年度7月(事業開 始月)~3月実施 分まで。(133件)
				R6	受診率(%)	35	28	80	3	無	実施内容:早流産や低出生体重児の原因の一つ に歯周病が挙げられていることから、歯周病の 予防・早期発見を行い、適切な治療に結びつけ ることで、妊娠・出産が安心してできるように支援 する。 評価:妊娠届出時に専門職から検査を行うよう、 周知した。歯周病の予防・早期発見を行い、適切 な治療に結びつけることで、妊娠・出産が安心し てできるように支援した。	4	7	受診率が高まり、必要な方が適切な治 療に結びつけるよう、妊娠届出時や事 業等で引き続き周知を行っていく。	実施医療機関	
				R7	受診率(%)	35	46	100	4	無	実施内容:早流産や低出生体重児の原因の一つ に歯周病が挙げられていることから、歯周病の 予防・早期発見を行い、適切な治療に結びつけ ることで、妊娠・出産が安心してできるように支援 する。 評価:歯周病の予防・早期発見を行い、適切な治 療に結びつけることで、妊娠・出産が安心してで きるように支援した。	4	8	引き続き乳幼児の歯科保健の保持増 進を継続的にやっていく。	実施医療機関	実績値は令和7 年4月~12月末 実施分まで。 (569件)
16	歯科健康診 査等の実施	保育課	事業名:嘱託歯科医による 定期的な歯科検診の実施 実施内容:児童福祉施設 の設備及び運営に関する基準 に基づき、嘱託歯科医の設 置、定期的な歯科検診を行 う。	R5	実施施設数	80	80	100	4	無	実施内容:年2回の園医による歯科検診を実施し た。治療が必要と診断された園児については保 護者へ情報共有した。 評価:虫歯等の早期発見ができた。	4	8	受診の勧めをした後、受診・治療に至 ったかの確認が取れていないため、確認 を行っていく。	保育所、幼稚園	
				R6	実施施設数	80	80	100	4	無	実施内容:年2回の園医による歯科検診を実施 した。治療が必要と診断された園児については 保護者へ情報共有した。 評価:虫歯等の早期発見ができた。	4	8	受診の勧めをした後、受診・治療に至 ったかの確認が取れていないため、確認 を行っていく。	保育所、幼稚園	
				R7	実施施設数	80	80	100	4	有	実施内容:年2回の園医による歯科検診を実施 した。治療が必要と診断された園児については 保護者へ情報共有した。 評価:年2回の実施。治療が必要だったり歯並び などについて歯科医から声をかけられた児童の 保護者へ情報共有をした。	4	8	各園での検診内容の統一を検討してい く。	保育園、幼稚園	

通し番号	取組 ※リストから選択(該当ない場合はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた改善点	実施場所	備考
					指標	目標値	実績値	指標の達成状況(%)	評価点①	参加者意見の有無 ※「有」の場合は意見を踏まえて評価を記入 ※「無」の場合は実施者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果があったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価(工夫・改善した点等を記入)	評価点②				
17	歯科健康診査等の実施	地域保健課	事業名:重度う蝕ハイリスク幼児予防対策事業 実施内容:口腔内診査、歯科保健指導、フッ化物局所応用によるう蝕予防処置等を継続的に行い、必要に応じて保健師・栄養士等による総合的な保健指導・育児支援を行う。	R5	開催回数	48	48	100	4	無	実施内容:各種感染症の感染リスク対策のため、コロナ禍以降継続して個別の予約体制で事業を実施。児及び保護者に対し口腔を通じての育児支援を実施した。また、市町の母子保健担当課との連携強化のため、年度当初にヒアリングを行い、課題の共有を行った。 評価:個別予約により、受診者は待つ時間もなく他の受診者との接触リスクもなく受診可能となった。	4	8	管内の母子歯科保健状況を把握し引き続き母子保健担当課との連携強化に努め、口腔を通じての育児支援を実施していく。	保健所	
				R6	開催回数	48	48	100	4	無	実施内容:重度う蝕の要因を有する児及び保護者に対し、口腔を通じて育児支援を実施した。また、市町の母子保健担当課との連携強化のため、10月に母子保健連絡会を開催し課題の共有等を行った。 評価:母子歯科保健連絡会を開催することで、連携課の歯科保健推進状況や課題等の共有が出来た。	4	8	管内の母子歯科保健状況を把握し引き続き母子保健担当課との連携強化に努め、口腔を通じての育児支援を実施していく。	保健所	
				R7	開催回数	48	48	100	4	無	実施内容:重度う蝕の要因を有する児及び保護者に対し、口腔を通じて育児支援を実施した。 評価:重度う蝕につながる可能性のある要対協等のケースについて、保健師と連携し多職種による支援を行った。	4	8	管内の母子保健状況を把握し、引き続き母子保健担当課との連携強化に努め、口腔を通じての育児支援を実施していく。	保健所	
18	歯科健康診査等の実施	地域保健課	事業名:障害児者等歯科保健事業 実施内容:口腔内診査、歯科保健指導、フッ化物局所応用によるう蝕予防処置等、摂食機能発達支援を継続的に行い、必要に応じて保健師・栄養士等による総合的な保健指導・育児支援を行う。	R5	開催回数	10	10	100	4	無	実施内容:疾患を有する児や療育を必要とする児の継続的なう蝕予防と共に摂食機能発達へのサポートを実施。母子保健担当課保健師の依頼により同行家庭訪問も実施した。疾患を有する児や療育を必要とする児への支援は(特に摂食機能発達支援)保健師、栄養士等の多職種と連携が重要となるため、当該保健師と連携し摂食機能発達の研修会を開催。また、摂食機能発達支援有無のチェックシートの作成も行った。 評価:保健師からの相談・連携の流れが構築されつつある。	4	8	引き続き、支援が必要な児と保護者に対し、母子保健担当課を始めとした多職種との連携を強化し、総合的な歯科保健の推進を図る。また、今年度の受診者の予約状況等から事業実施回数を見直す。	保健所	
				R6	開催回数	7	7	100	4	無	実施内容:疾患を有する児や療育を必要とする児の継続的なう蝕予防と共に摂食機能発達へのサポートを実施。特に摂食機能発達支援においては、児の保護者や支援者(保健師等)との連携が重要であるため、「摂食機能発達相談の必要性チェックシート」を作成し、支援の必要性を認識するための資料を整備した。 評価:保健師からの相談や連携する機会の増加。	4	8	引き続き、支援が必要な児と保護者に対し、母子保健担当課をはじめとした他職種との連携を強化し、総合的な歯科保健推進を図る。	保健所	
				R7	開催回数	5	5	100	4	無	実施内容:疾患を有する児や保護者に対し継続的なう蝕予防と共に摂食機能発達へのサポートを実施。特に摂食機能発達支援において保護者や支援者(保健師等)との情報共有ツールを作成し支援の効率化を図った。 評価:摂食機能発達支援について保健師からの相談依頼件数が増加した。	4	8	引き続き、支援が必要な児と保護者に対し、母子保健担当課をはじめとした他職種との連携を強化し、総合的な歯科保健推進を図る。	保健所	

通し番号	取組 ※リストから選択(該当ない場合はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた改善点	実施場所	備考
					指標	目標値	実績値	指標の達成状況(%)	評価点 ①	参加者意見の有無 ※「有」の場合は意見を踏まえて評価を記入 ※「無」の場合は実施者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果があったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価(工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				
19	歯科保健の体制整備	地域保健課	事業名: 歯科保健推進会議 実施内容: 関係機関、関係団体と地域の歯科保健の課題の共有や情報交換を行い、効果的かつ円滑な歯科保健の推進を図る。	R5	開催回数	1	1	100	4	有	実施内容: 3年ぶりに対面での会議を実施。市町の歯科保健担当部署の歯科保健事業についての情報共有や、摂食機能発達支援相談事業の連携、オーラルフレイル対策等について意見交換を行った。 評価: 関係部署との連携した事業の足掛かりとなった。	4	8	管内の歯科保健状況について、データ等を基に課題を診断し、関係部署との連携を図り、地域の歯科保健の推進について引き続き取り組んでいく。	保健所、地域医療センター	
				R6	開催回数	1	1	100	4	有	実施内容: 市町の歯科保健担当部署と管内の歯科保健の現状、摂食機能発達支援相談、オーラルフレイル対策、災害時の歯科保健等について情報共有と意見交換を実施した。また、薬剤師会に対しフッ化物洗口普及啓発事業における協力薬局名簿の更新を依頼し事業の推進を図った。 評価: 関係部署や団体と歯科保健について確認することで、継続的な連携を図る機会となった。	4	8	管内の歯科保健状況について、データ等を基に課題を診断し、関係部署との連携を図り、地域の歯科保健の推進について引き続き取り組んでいく。	保健所、地域医療センター	
				R7	開催回数	1	1	100	4	無	実施内容: 歯科保健担当部署、関連団体(歯科医師会、薬剤師会、在宅歯衛生士の会)と管内の歯科保健の状況、摂食機能発達支援相談、オーラルフレイル対策について情報共有と意見交換を行った。 評価: 関係部署や団体と歯科保健について確認することで、継続的な連携を図る機会となった。	4	8	管内の歯科保健状況について、データ等を基に課題を診断し関係部署との連携を図り、地域の歯科保健の推進について引き続き取り組んでいく。	地域医療センター	
20	歯科健康診査等の実施	健康増進課	事業名: 成人歯科歯周病検診 実施内容: 口腔内の健康を保つため、歯科健康診査を実施する。	R5	受診率(%)	1	0.77	77	3	無	実施内容: 口腔内の健康を保つため、歯科健康診査を実施した。 評価: 受診を促すため、ライン配信やロビーサイネージ、ふれあいプラザでの歯科に関するイベント等での画像放映を行った。また、対象者には受診券を個別送付し、受診勧奨を行った。	3	6	国の指針に合わせ、対象者を大幅に縮小したため、受診率が前年度よりも低下してしまった。次年度へ向け、受診勧奨の方法等検討していきたい。	実施医療機関	
				R6	受診率(%)	1	0.77	77	3	無	実施内容: 口腔内の健康を保つため、歯科健康診査を実施した。歯科医師会委託により6月~11月に検診を実施。受診にかかる自己負担額は500円。 評価: 対象者全員に受診券及び案内チラシを発送し受診勧奨。受診を促すため、LINE配信やエレベーターサイネージ等で画像放映を行った。	3	6	前年に引き続き広報媒体を利用し受診を促す取組を実施したが、受診率はほぼ横ばいとなった。対象年齢に効果的な広報媒体について検討していきたい。	実施医療機関	
				R7	受診率(%)	1	0.83	83	3	無	実施内容: 口腔内の健康を保つため、歯科健康診査を実施した。歯科医師会委託により6月~11月に検診を実施。受診にかかる自己負担額は500円。 評価: 対象者全員に受診券及び案内チラシを発送し受診勧奨。受診を促すため、LINE配信やエレベーターサイネージ等で画像放映を行った。わずかに受診率は上がったが、まだ目標値には届いていないため引き続きの啓発が必要。	3	6	前年に引き続き広報媒体を利用し受診を促す取組を実施したが、受診率はほぼ横ばいとなった。対象年齢に効果的な広報媒体について検討していきたい。	実施医療機関	

通し 番号	取組 ※リストから選 択(該当ない場 合はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考
					指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意 見を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実 施者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成 果があったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				
21	歯科健康診 査等の実施	健康増進課	事業名：口腔がん検診 実施内容：口腔がんや前が ん病変を早期発見することを 目的に実施する。	R5	開催回数	2	2	100	4	無	実施内容：口腔がんや前がん病変を早期発見す ることを目的に実施する。 評価：委託先の茅ヶ崎歯科医師会が口腔がんの 専門医を招聘し、歯科医師会会員医師とチーム を組んで検診を行った。	4	8	申込者数を増加させるため、周知方法 や申込方法を改善させたい。	保健所	
				R6	開催回数	2	2	100	4	無	実施内容：口腔がんや前がん病変を早期発見す ることを目的に実施する。 評価：委託先の茅ヶ崎歯科医師会が口腔がんの 専門医を招聘し、歯科医師会会員医師とチーム を組んで検診を行った。	4	8	申込者数を更に増加させるため、周知 方法や申込方法を改善させたい。	保健所	
				R7	開催回数	2	2	100	4	無	実施内容：口腔がんや前がん病変を早期発見す ることを目的に実施する。 評価：委託先の茅ヶ崎歯科医師会が口腔がんの 専門医を招聘し、歯科医師会会員医師とチーム を組んで検診を行った。	4	8	申込者数を更に増加させるため、周知 方法や申込方法を改善させたい。	保健所	